12　品目別調査結果　その他品目

1.　野菜(きゅうり・トマト・アスパラガス・さやいんげん・ねぎ・ブロッコリー・グリーンピース)
2.　きのこ類(しいたけ・なめこ)
3.　果物(梨・りんご・ぶどう)
4.　水産物(カツオ・カレイ類・シラス・マアナゴ)
5.　畜産物(豚肉・鶏肉・牛乳)

その他の品目に関する掲載内容

- 野菜７品目、きのこ２品目、果物３品目、水産物４品目、畜産物３品目の計19品目について、概要調査とアンケート調査の内容を記載している。
  - 品目によって収集可能なデータが違っているため、掲載内容も異なる。
  - 野菜ときのこについては、概要調査のデータを幅広く収集して記載している。

品目ごとの掲載内容（野菜・きのこ）

	きゅうり	トマト	アスパラガス	さやいんげん	ねぎ	ブロッコリー	グリーンピース	しいたけ	なめこ
出荷量※1(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	-	○	○
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	○	○
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	-	○	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	△（※３）	○	○
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△（※２）	△（※２）	○	△（※２）	△（※２）	△（※２）	△（※２）	△（※２）
東京市場と大阪市場における価格	○	△（※２）	△（※２）	○	△（※２）	△（※２）	△（※２）	△（※２）	△（※２）
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※１：しいたけ・なめこは生産量。　※２：東京市場のみ。　※３：一部の市場のみ。

その他の品目に関する掲載内容

- 果物と水産物については、おおむね野菜・きのこと同様の内容を掲載している。
- 畜産物については、政府統計が存在しない（更新が停止されている）などの理由から概要調査の情報は限られている。

品目ごとの掲載内容（果物・水産物・畜産物）

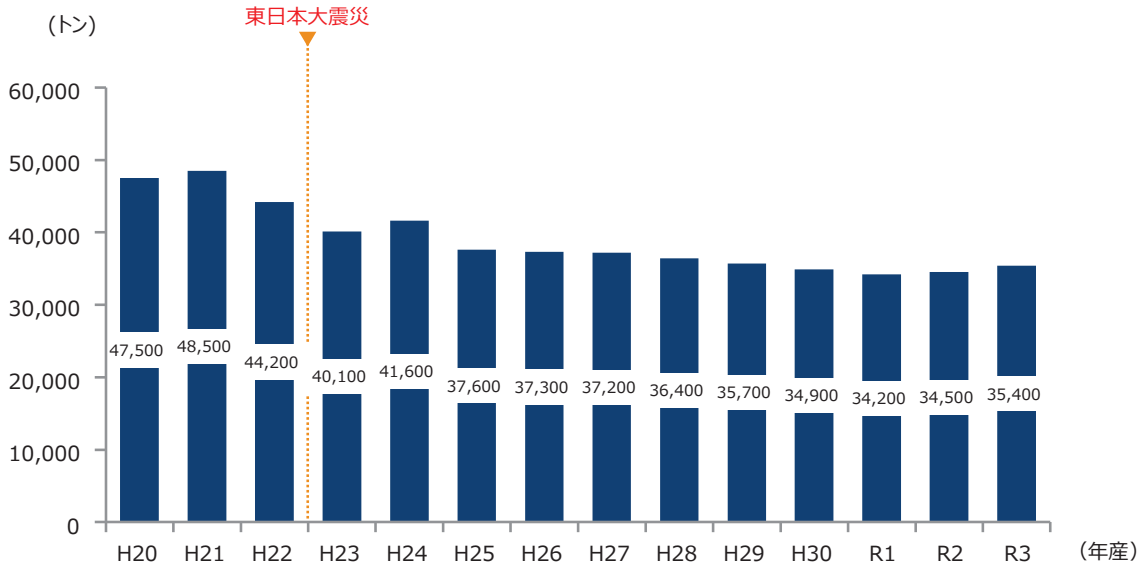
	梨	りんご	ぶどう	カツオ	カレイ類	シラス	マアナゴ	豚肉	鶏肉	牛乳
出荷量(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	○	○	△(※2)	△(※3)
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	○	△(※1)	○	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	-	-
東京市場と大阪市場における価格	○	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	-	-
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※１：東京市場のみ。　※2：平成26年までのデータのみ。　※3：系統出荷分のみ。

福島県産きゅうりの出荷量の推移

福島県産きゅうりの出荷量は、震災前と比較して減少した。平成24年産に前年産の出荷量を上回ったものの、近年は35,000トン前後で推移している。

福島県産きゅうりの出荷量の推移

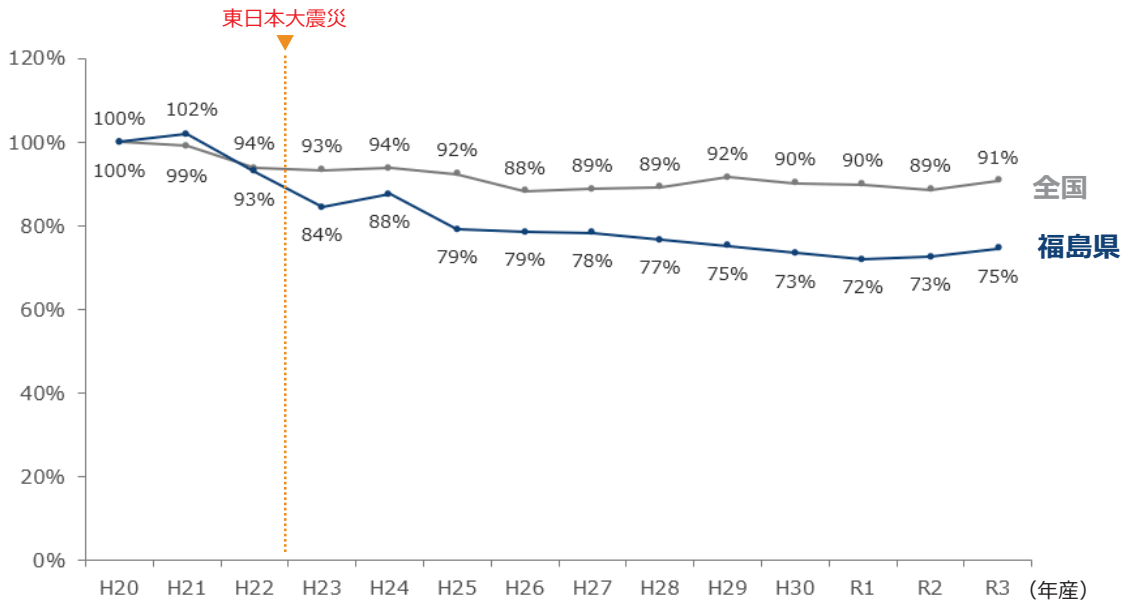


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移

全国のきゅうりの出荷量は、近年おおむね横ばいで推移している。一方で、福島県産きゅうりの出荷量は令和元年産まで減少傾向で推移し、以降は微増となっている。

全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

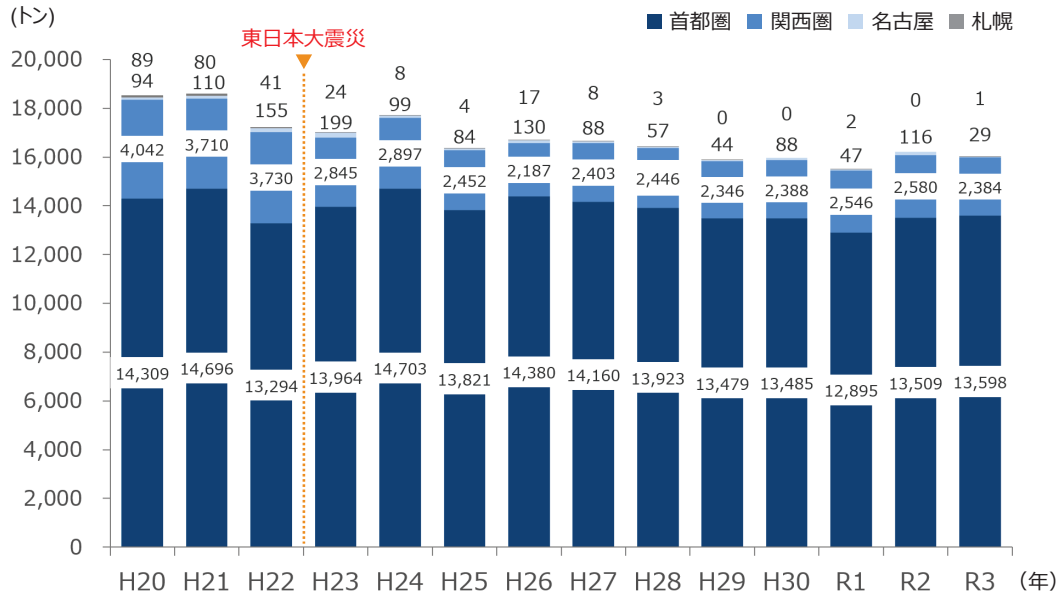


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産きゅうりは、主に首都圏で取り扱われており、震災後、関西圏への出荷は減少している。また、名古屋・札幌での流通は震災前から少ない。

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、7月～9月は福島県産きゅうりのシェアが１位であった。横浜市中央卸売市場では、6月～10月で福島県産きゅうりのシェアが１位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	1%	3%	14%	41%	43%	25%	14%	2%	0%	10,710
群馬	7%	17%	25%	25%	26%	25%	7%	3%	15%	28%	22%	10%	13,501
埼玉	4%	4%	14%	23%	26%	25%	4%	0%	10%	22%	25%	11%	11,003
宮崎	44%	32%	20%	15%	11%	2%	1%	0%	0%	3%	23%	44%	10,284
千葉	15%	19%	17%	13%	10%	8%	4%	2%	2%	3%	8%	16%	6,990
総量	**4,711**	**4,797**	**6,137**	**7,417**	**7,633**	**7,534**	**8,177**	**7,943**	**6,813**	**5,767**	**5,191**	**4,532**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	4%	11%	27%	47%	47%	36%	33%	12%	0%	2,888
高知	51%	43%	35%	25%	20%	9%	1%	0%	0%	4%	26%	44%	2,645
群馬	1%	9%	19%	22%	22%	16%	0%	1%	11%	22%	22%	5%	1,736
宮崎	30%	23%	14%	13%	9%	4%	0%	0%	0%	2%	16%	31%	1,431
千葉	14%	17%	16%	13%	9%	8%	5%	3%	2%	2%	6%	15%	1,206
総量	**911**	**922**	**1,119**	**1,330**	**1,321**	**1,231**	**1,506**	**1,553**	**1,250**	**1,040**	**1,023**	**853**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、7月～9月は福島県産きゅうりのシェアが１位であった。京都市中央卸売市場では、7月～8月は福島県産きゅうりのシェアが２位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	12%	33%	36%	27%	4%	0%	0%	2,062
宮崎	40%	36%	40%	45%	49%	32%	5%	1%	7%	32%	55%	45%	5,432
高知	22%	24%	22%	19%	13%	13%	1%	1%	0%	3%	17%	22%	2,154
徳島	16%	16%	14%	12%	9%	7%	1%	0%	0%	0%	1%	11%	1,188
総量	**1,095**	**1,124**	**1,377**	**1,697**	**1,585**	**1,815**	**2,079**	**1,853**	**1,581**	**1,385**	**1,221**	**1,252**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	1%	21%	25%	8%	0%	0%	0%	322
宮崎	62%	60%	52%	44%	37%	24%	4%	1%	2%	12%	42%	57%	2,052
滋賀	6%	5%	10%	15%	19%	20%	5%	1%	9%	20%	20%	13%	801
高知	20%	19%	14%	12%	9%	12%	1%	0%	0%	4%	15%	19%	643
京都	1%	0%	0%	0%	1%	9%	25%	31%	19%	9%	3%	1%	581
佐賀	2%	5%	6%	8%	9%	8%	3%	2%	10%	15%	8%	1%	442
総量	**439**	**442**	**524**	**629**	**622**	**683**	**595**	**547**	**624**	**529**	**492**	**455**	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場において、福島県産きゅうりは、年間を通して、取扱いがわずかであった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産きゅうりの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	29
愛知	57%	61%	56%	48%	38%	31%	6%	2%	1%	5%	35%	53%	5,704
長野	0%	0%	1%	5%	7%	20%	52%	56%	31%	20%	6%	1%	3,126
宮崎	20%	16%	16%	17%	16%	9%	1%	0%	0%	5%	14%	17%	1,912
群馬	0%	2%	7%	11%	15%	16%	2%	0%	10%	31%	22%	0%	1,706
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	29%	26%	32%	16%	3%	0%	1,610
総量	**1,235**	**1,210**	**1,539**	**1,934**	**1,852**	**1,762**	**1,719**	**1,560**	**1,403**	**1,213**	**1,190**	**1,143**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
北海道	0%	0%	1%	2%	8%	77%	100%	100%	100%	80%	18%	0%	4,626
宮崎	87%	75%	65%	67%	57%	15%	0%	0%	0%	12%	74%	93%	2,559
千葉	12%	24%	25%	20%	17%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	519
埼玉	0%	0%	2%	1%	8%	2%	0%	0%	0%	6%	7%	2%	151
群馬	0%	0%	5%	4%	2%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	74
総量	**382**	**355**	**464**	**609**	**592**	**930**	**1,500**	**1,060**	**822**	**470**	**468**	**398**	

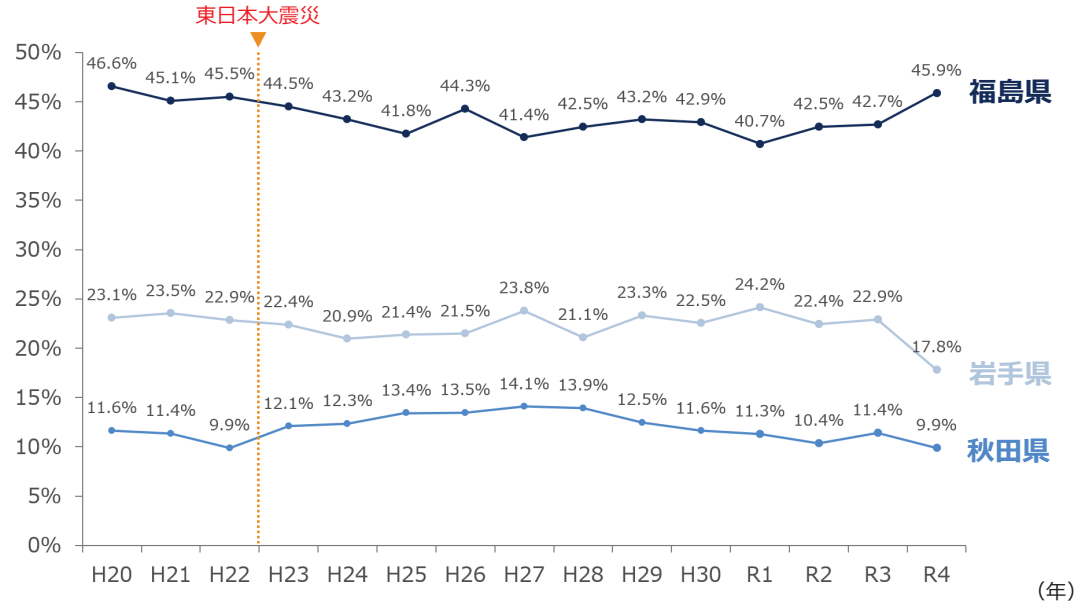
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産きゅうりは、震災後にシェアが微減したものの、40%以上のシェアを維持している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

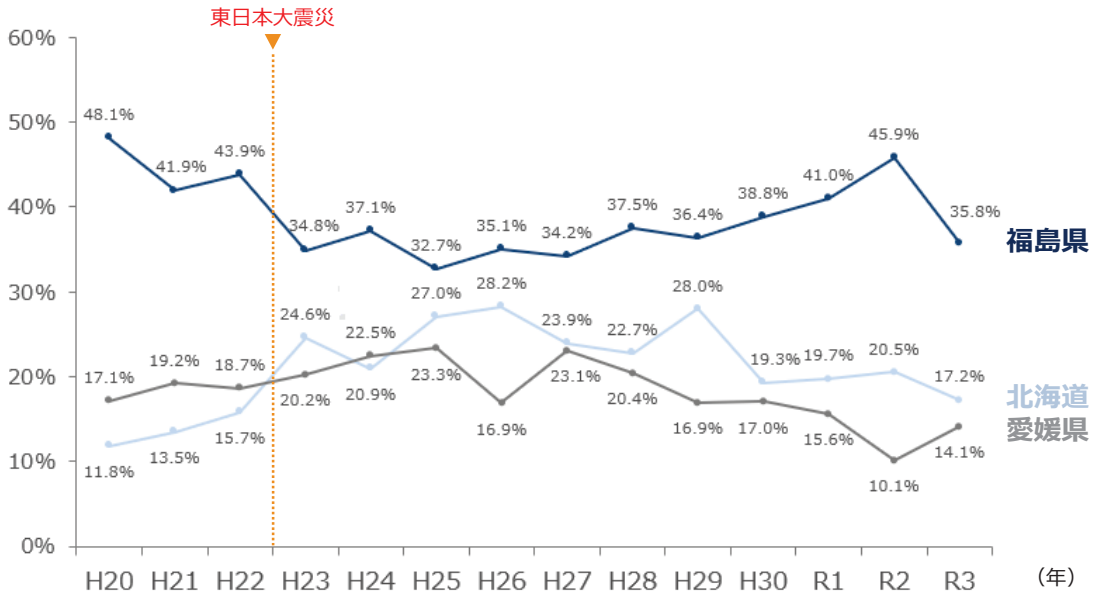


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

大阪市中央卸売市場の8月の福島県産きゅうりは、震災後にシェアが縮小し、北海道産のシェアが拡大する状況が続いていた。平成25年～令和2年は、福島県産のシェアが拡大したが、令和3年は再び縮小した。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

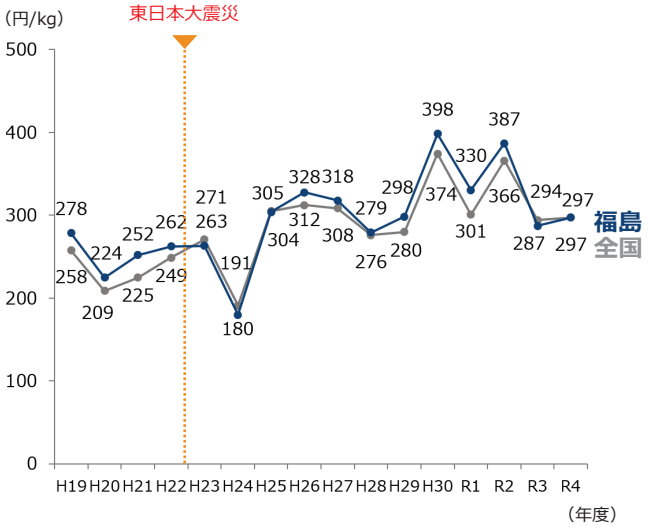


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

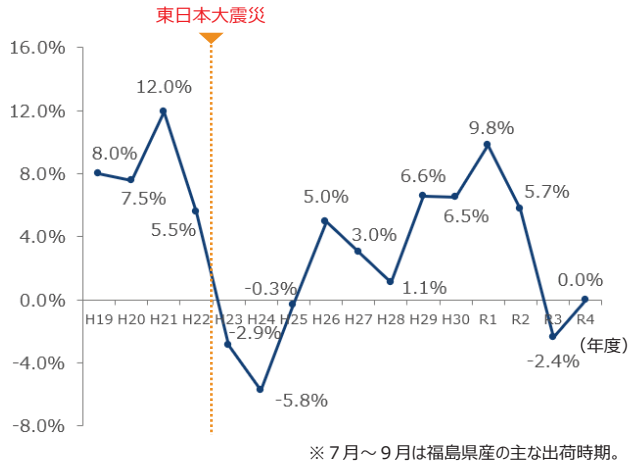
福島県産きゅうりの価格回復概況（夏秋きゅうり（７月～９月）全国平均との価格差）

東京都中央卸売市場における7月から9月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後３年間は全国平均を下回っていたが、平成26年度以降は令和3年度を除いて全国平均と同水準以上となっている。

東京都中央卸売市場における平均単価推移（夏秋きゅうり）



全国平均との価格差推移（夏秋きゅうり）



→ 震災前(平成22年度)：262円/kg

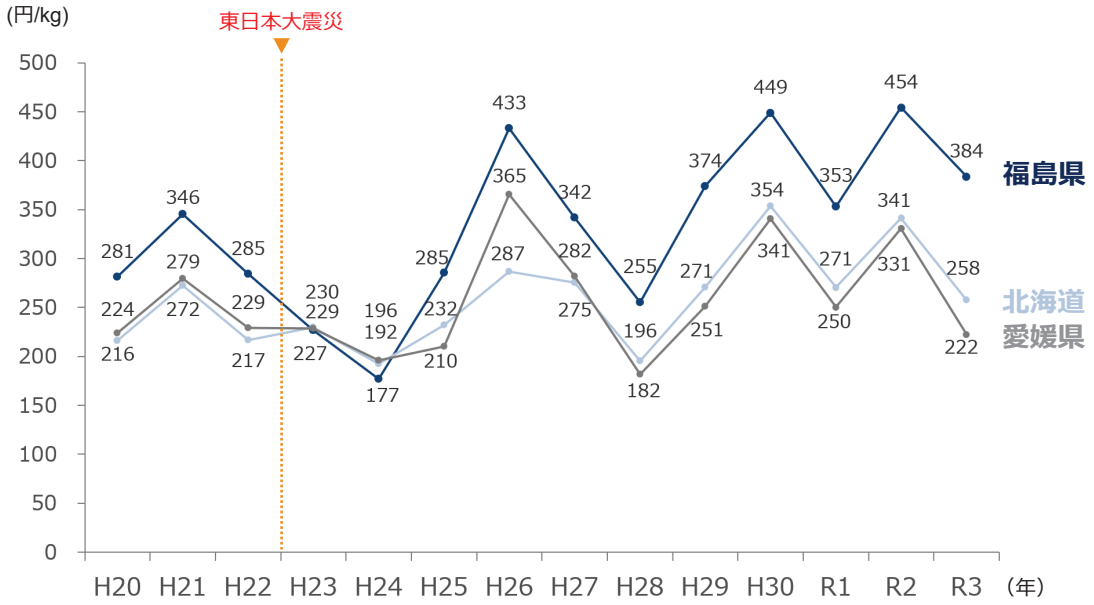
→ 震災後(令和4年度)：297円/kg(+35円/kg)

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりの単価の推移

大阪市中央卸売市場の８月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後2年間は他道県産を下回っていたが、平成25年以降は他道県産を上回る水準で推移している。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)

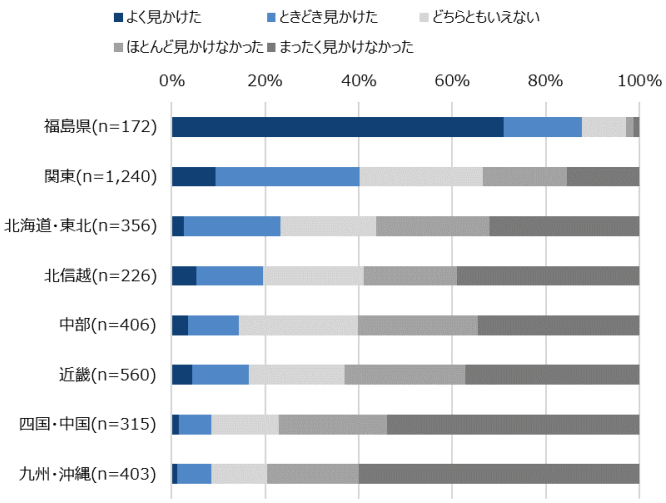


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

福島県産きゅうりを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

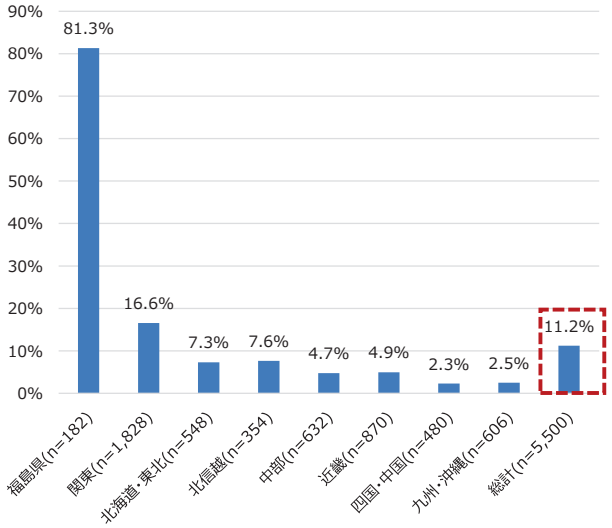
福島県産きゅうりをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産きゅうりを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では11.2%であった。

福島県産きゅうりを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産きゅうりの購買経験率

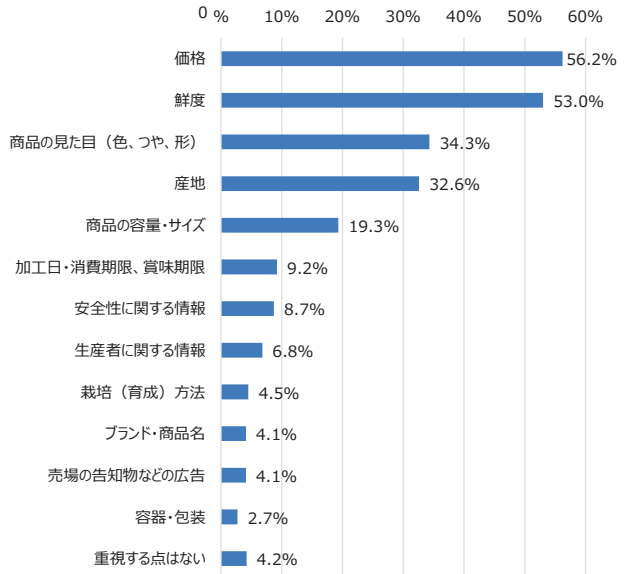


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

きゅうり購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

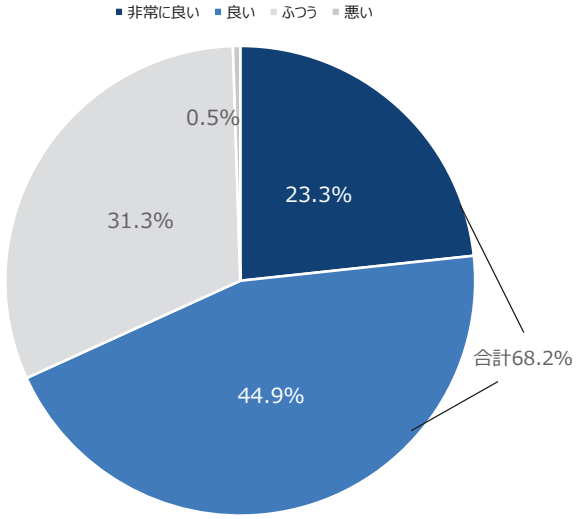
福島県産に限らず、きゅうり購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産きゅうりの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が68.2%であった。

きゅうり購買時の重視点（n=4,542、複数回答）



※きゅうり購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上きゅうりを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産きゅうり購買者の評価（n=617）

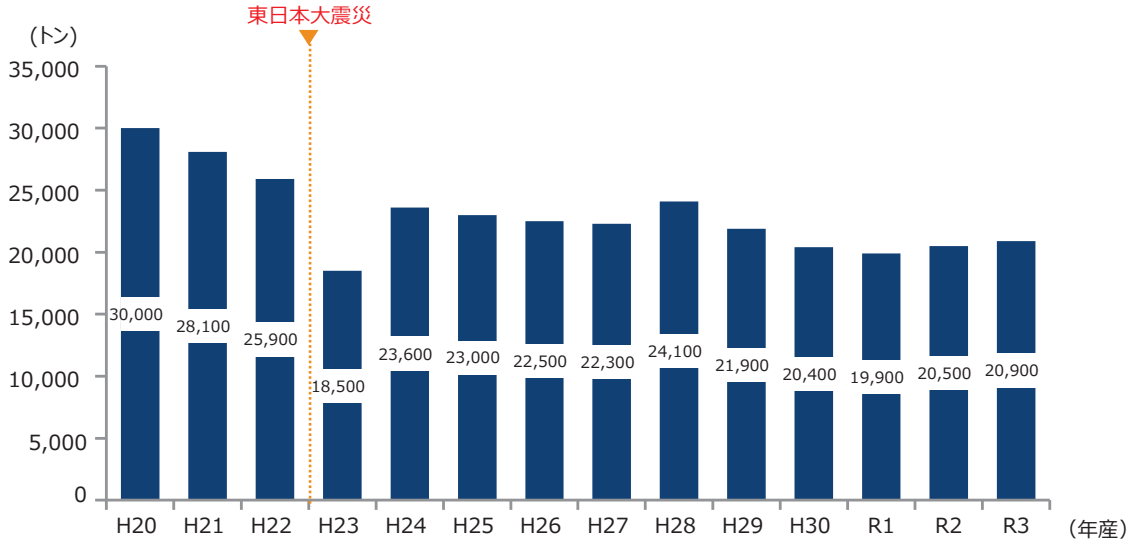


※福島県産きゅうりを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トマトの出荷量の推移

福島県産トマトの出荷量は、震災直後に急落した後に回復し、その後緩やかな減少傾向にあったが、令和2年産以降は微増した。

福島県産トマトの出荷量の推移

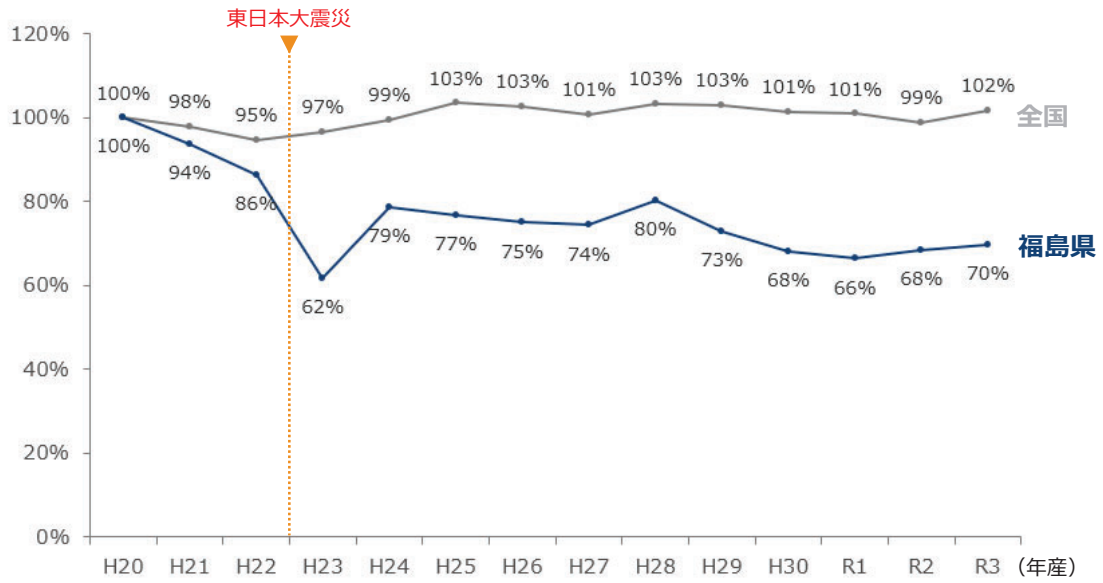


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産トマトの出荷量の推移

全国のトマトの出荷量はおおむね横ばいで推移している。一方で、福島県産トマトの出荷量は震災以前と比べて低い水準で推移している。

全国・福島県産トマトの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

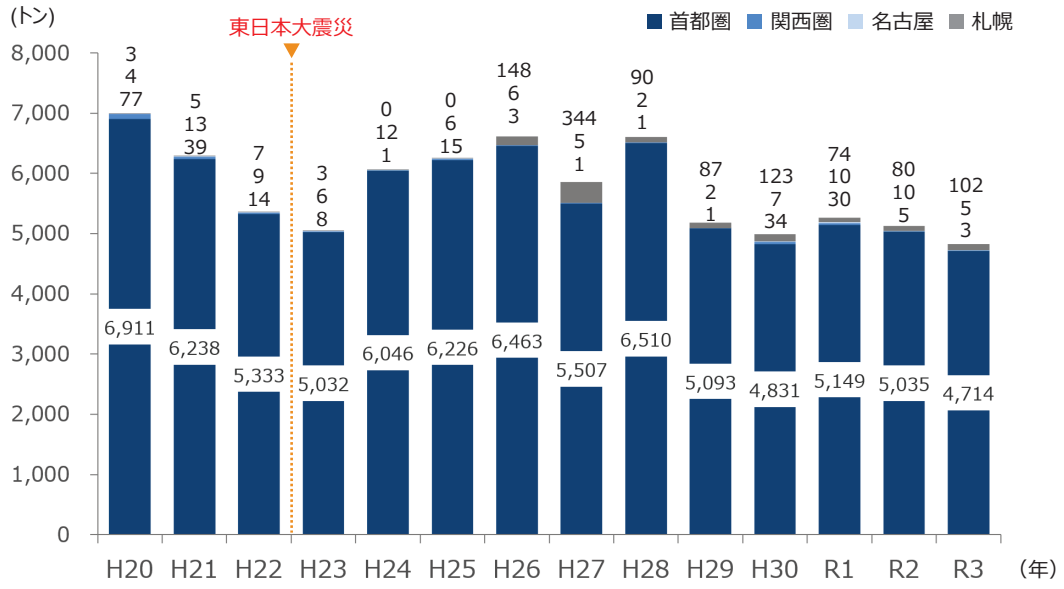


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産トマトは、震災前後を問わず、多くが首都圏で取り扱われている。札幌では、震災後に取扱量が増えている。

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるトマトの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、８月～10月は福島県産トマトのシェアが10~20%程度まで高まったが、それ以外の月では取扱いがほとんど見られなかった。横浜市中央卸売市場では、７月・８月で市場シェアで３位以内となった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	1%	0%	1%	1%	6%	18%	15%	11%	2%	1%	3,851
熊本	48%	37%	35%	35%	30%	17%	5%	4%	2%	11%	23%	40%	17,879
栃木	16%	21%	23%	24%	23%	23%	9%	1%	2%	3%	11%	18%	11,410
愛知	13%	13%	11%	11%	11%	10%	4%	0%	1%	6%	15%	17%	6,923
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	6%	17%	23%	21%	16%	5%	0%	6,104
千葉	3%	3%	4%	6%	7%	10%	5%	2%	14%	15%	18%	6%	5,794
総量	**5,937**	**5,448**	**6,294**	**7,346**	**9,097**	**7,249**	**8,005**	**8,199**	**5,902**	**5,825**	**4,478**	**4,478**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	3%	15%	19%	14%	8%	2%	0%	864
熊本	76%	70%	66%	66%	60%	37%	6%	10%	2%	22%	49%	73%	7,034
千葉	5%	5%	6%	6%	7%	7%	4%	4%	22%	21%	21%	7%	1,445
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	7%	25%	27%	19%	16%	6%	0%	1,399
栃木	10%	14%	15%	14%	13%	14%	2%	0%	0%	0%	4%	8%	1,315
青森	0%	0%	0%	0%	0%	5%	20%	19%	16%	8%	2%	0%	980
総量	**1,291**	**1,105**	**1,325**	**1,571**	**1,872**	**1,345**	**1,551**	**1,560**	**1,157**	**1,279**	**978**	**1,026**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるトマトの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、福島県産トマトの取扱いはほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では、１年を通じて福島県産トマトの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3
熊本	84%	81%	82%	80%	77%	49%	11%	3%	2%	22%	57%	79%	9,424
北海道	0%	0%	0%	0%	2%	21%	46%	37%	37%	24%	2%	0%	3,366
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	1%	20%	42%	42%	35%	17%	0%	3,010
愛知	6%	8%	7%	6%	8%	13%	6%	0%	0%	3%	7%	9%	1,122
福岡	5%	6%	6%	9%	7%	3%	0%	0%	0%	4%	6%	5%	775
総量	**1,285**	**1,363**	**1,502**	**1,749**	**2,058**	**1,715**	**2,076**	**2,485**	**1,940**	**1,536**	**1,082**	**1,121**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
熊本	67%	60%	57%	54%	54%	39%	11%	10%	3%	12%	35%	61%	4,719
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	18%	51%	42%	39%	32%	3%	0%	2,632
福岡	20%	22%	24%	28%	23%	16%	4%	0%	0%	11%	20%	18%	1,905
岐阜	0%	0%	1%	0%	0%	1%	18%	43%	34%	20%	3%	0%	1,727
三重	3%	5%	5%	6%	9%	10%	3%	0%	0%	0%	1%	6%	517
総量	**865**	**733**	**901**	**1,225**	**1,384**	**1,155**	**1,595**	**1,706**	**1,256**	**1,114**	**811**	**878**	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるトマトの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産トマトの取扱いはほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、1月～3月、5月～7月、11月～12月にシェアが３位以内となったが、北海道産トマトや熊本県産トマトに比べ、取扱量はわずかであった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5
熊本	57%	53%	58%	60%	55%	34%	5%	0%	1%	11%	26%	45%	5,285
岐阜	12%	11%	13%	13%	11%	13%	36%	67%	66%	51%	26%	11%	4,463
愛知	17%	22%	17%	14%	21%	29%	24%	10%	9%	13%	25%	23%	2,960
三重	11%	11%	11%	12%	13%	14%	4%	0%	0%	4%	18%	19%	1,455
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	19%	15%	13%	12%	0%	0%	921
総量	**1,247**	**1,039**	**1,183**	**1,541**	**2,009**	**1,468**	**1,578**	**1,755**	**1,181**	**1,209**	**842**	**840**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	2%	2%	3%	5%	5%	3%	1%	0%	0%	0%	2%	2%	102
北海道	0%	0%	1%	10%	56%	91%	99%	100%	100%	99%	84%	3%	3,784
熊本	93%	84%	78%	74%	37%	5%	0%	0%	0%	1%	14%	92%	1,270
長崎	0%	9%	14%	8%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	79
千葉	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	16
総量	**240**	**207**	**226**	**318**	**476**	**704**	**961**	**628**	**542**	**451**	**332**	**214**	

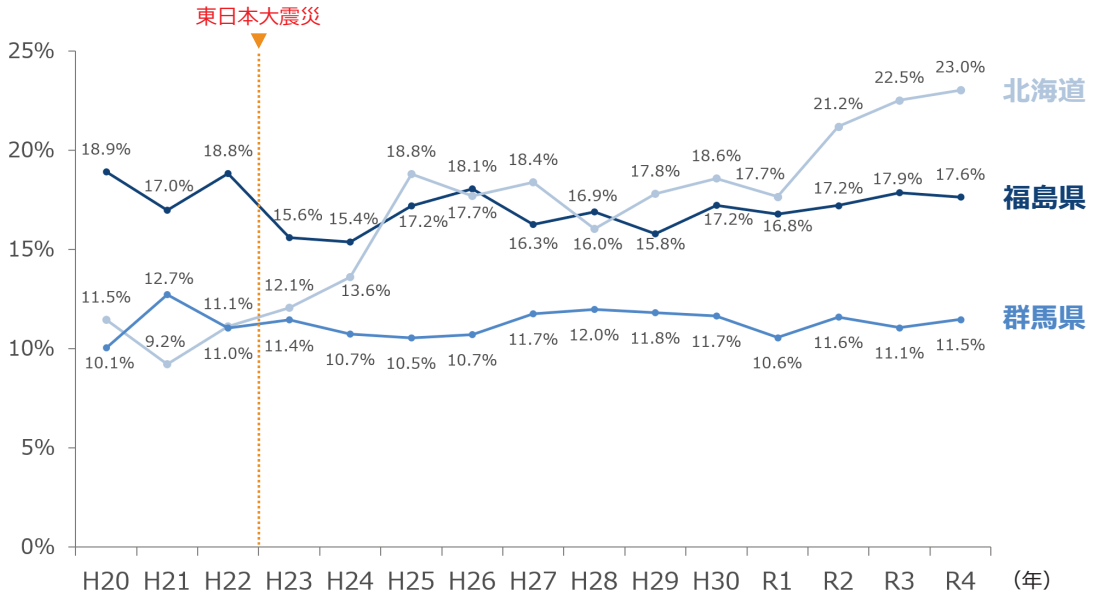
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産トマトのシェアの推移

東京都中央卸売市場の８月の福島県産トマトは、震災後にシェアが微減したものの、近年では震災前の水準まで戻った。北海道産トマトのシェアは震災後に拡大し続けて、福島県産を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

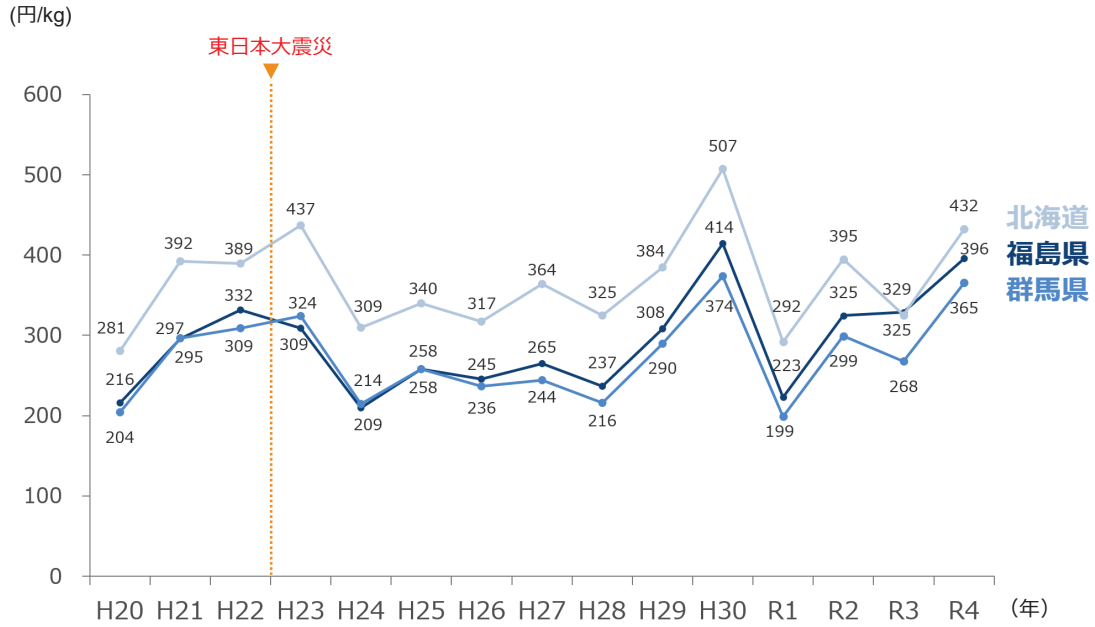


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産トマトの単価の推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産トマトの平均単価は、震災後下落した後、平成25年以降は群馬県産の価格を上回っている。近年は、北海道産との価格差は縮小している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)

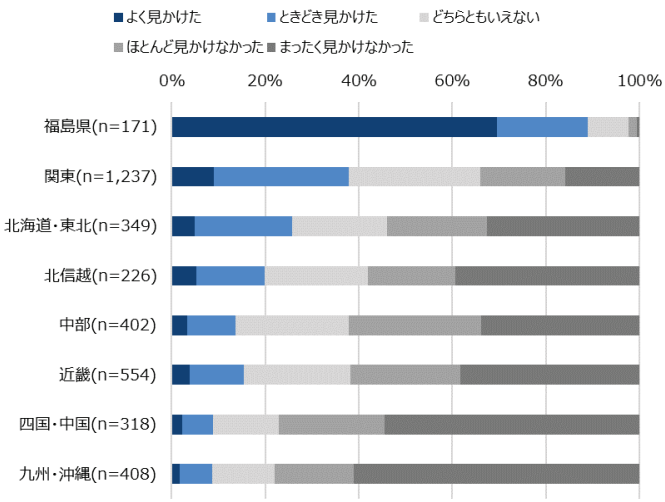


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産トマトを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

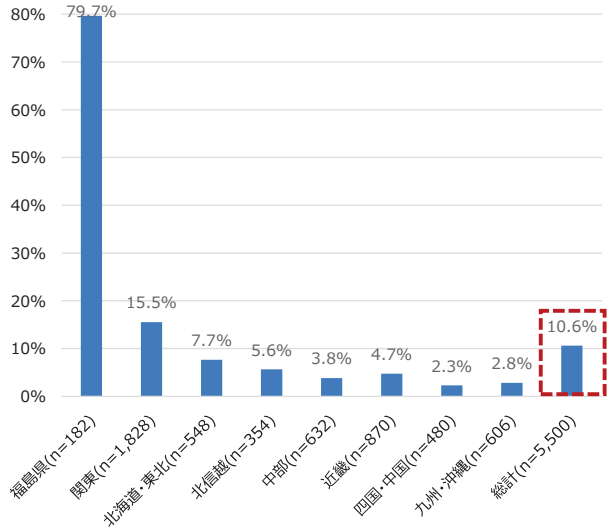
福島県産トマトをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産トマトを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では10.6%であった。

福島県産トマトを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トマトの購買経験率

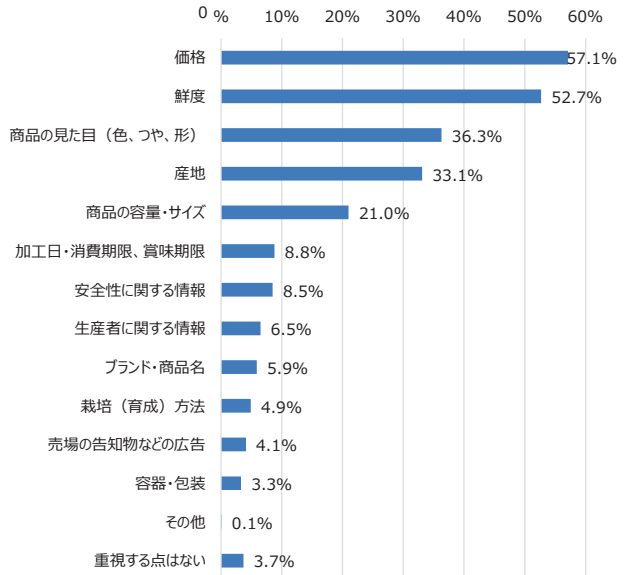


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

トマト購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

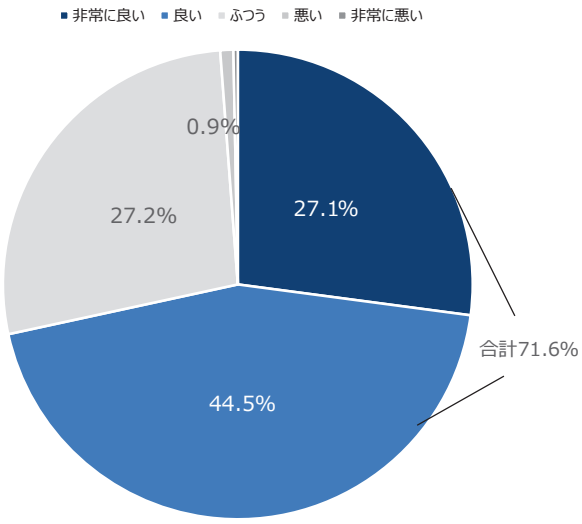
福島県産に限らず、トマト購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産トマトの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が71.6%であった。

トマト購買時の重視点（n=4,639、複数回答）



※トマト購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上トマトを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トマト購買者の評価（n=584）

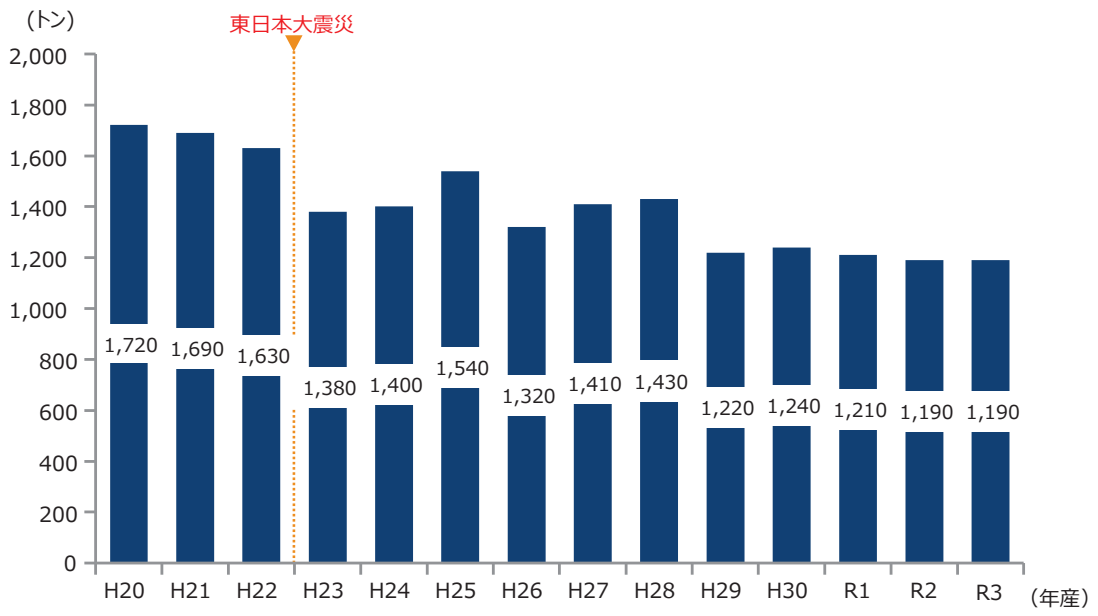


※福島県産トマトを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産アスパラガスの出荷量の推移

福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後に減少し、平成29年産以降はほぼ横ばいの傾向であり、現在も震災前の水準に回復していない。

福島県産アスパラガスの出荷量の推移

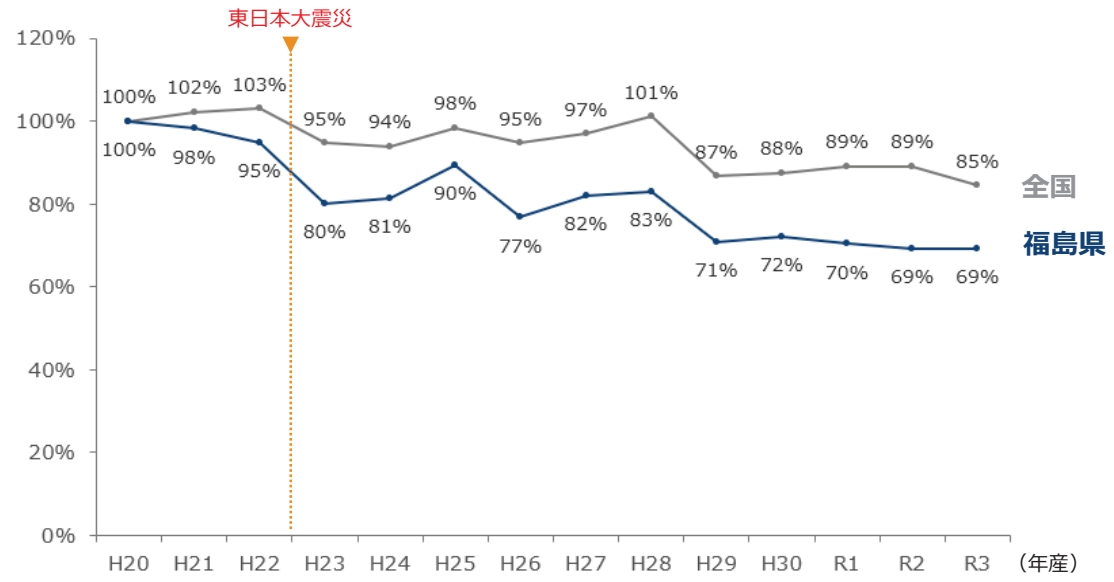


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移

全国のアスパラガスの出荷量は、近年は平成20年産より1割以上減少して推移している。福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後に減少し、平成28年産までは平成20年産の80%前後で推移していた。令和3年産は、平成20年産の69%の出荷量であった。

全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

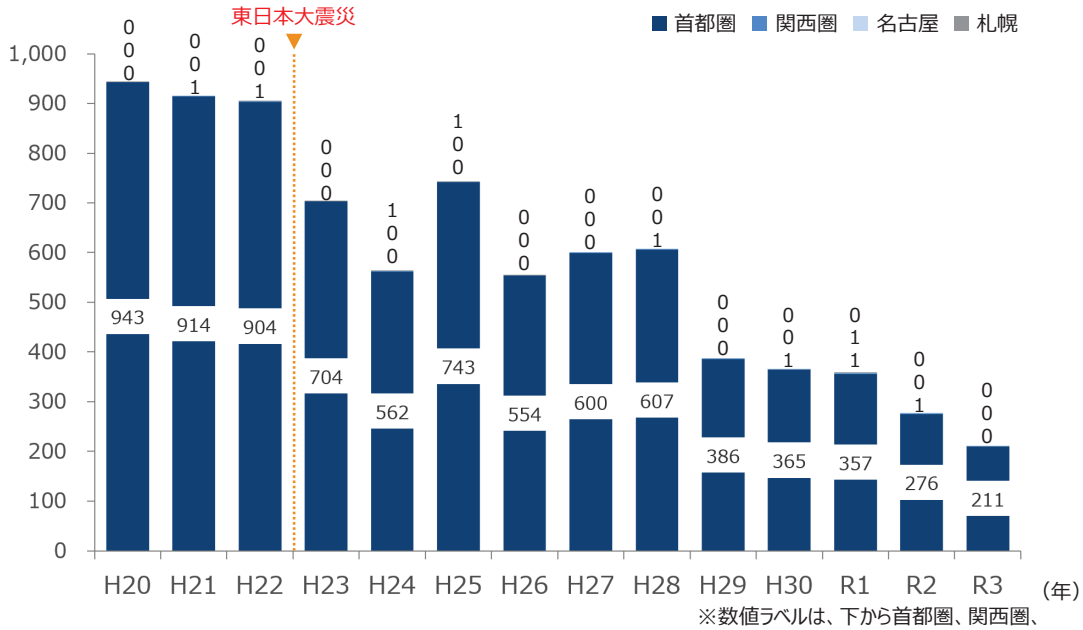


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産アスパラガスの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産アスパラガスは、ほとんどが首都圏で取り扱われており、関西圏や他地域での取扱いは極めて少量である。震災以降、首都圏における市場での取扱量には波があり、平成29年以降は震災前の半分以下となっている。

各市場における福島県産アスパラガスの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場及び横浜市中央卸売市場では、4月から9月にかけて福島県産アスパラガスの取扱いがあるものの、いずれの月もシェアは3位以下であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	7%	7%	2%	5%	6%	4%	0%	0%	0%	160
メキシコ	74%	64%	38%	27%	16%	5%	1%	0%	7%	40%	80%	93%	1,218
栃木	1%	4%	7%	28%	20%	10%	23%	30%	22%	6%	1%	0%	757
佐賀	2%	13%	18%	6%	9%	26%	26%	18%	15%	7%	0%	0%	692
長崎	0%	5%	22%	11%	4%	13%	18%	16%	13%	8%	0%	0%	555
福岡	0%	8%	5%	2%	3%	9%	7%	4%	5%	1%	0%	0%	220
総量	**102**	**366**	**607**	**521**	**501**	**502**	**624**	**566**	**332**	**239**	**220**	**143**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	7%	12%	4%	7%	9%	8%	2%	0%	0%	51
メキシコ	88%	76%	47%	31%	13%	9%	1%	0%	5%	56%	93%	94%	287
佐賀	2%	17%	21%	6%	9%	32%	27%	16%	17%	12%	0%	0%	151
熊本	0%	2%	21%	30%	7%	10%	18%	19%	17%	2%	0%	0%	138
栃木	0%	0%	0%	16%	15%	9%	19%	20%	16%	5%	0%	0%	104
秋田	5%	1%	0%	2%	23%	11%	9%	17%	14%	1%	0%	2%	80
総量	**18**	**59**	**126**	**123**	**101**	**83**	**119**	**122**	**73**	**48**	**48**	**34**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場年間では、年間を通して、福島県産アスパラガスの取扱いは見られなかった。京都市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アスパラガスの取扱いはほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長崎	0%	12%	40%	25%	12%	35%	45%	44%	37%	19%	0%	0%	152
メキシコ	93%	50%	18%	22%	17%	12%	2%	1%	10%	52%	99%	96%	112
福岡	4%	35%	22%	8%	18%	31%	27%	26%	30%	18%	1%	0%	111
広島	0%	0%	0%	14%	11%	2%	10%	13%	13%	2%	0%	0%	34
熊本	0%	1%	11%	9%	5%	6%	5%	5%	2%	2%	0%	0%	27
総量	**10**	**30**	**70**	**48**	**51**	**68**	**85**	**58**	**30**	**22**	**18**	**13**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福岡	1%	24%	39%	32%	21%	33%	34%	36%	35%	33%	0%	0%	112
佐賀	4%	28%	19%	15%	18%	35%	32%	26%	24%	30%	0%	0%	87
長崎	0%	0%	22%	10%	3%	8%	11%	12%	10%	6%	0%	0%	37
愛媛	0%	10%	10%	8%	7%	7%	7%	10%	9%	4%	0%	0%	28
メキシコ	85%	32%	4%	7%	4%	0%	0%	0%	0%	19%	100%	96%	27
総量	**4**	**17**	**56**	**35**	**29**	**45**	**71**	**50**	**23**	**12**	**6**	**5**	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場及び札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アスパラガスの取扱いは見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	1%	1%	12%	46%	49%	25%	36%	48%	50%	18%	0%	0%	257
熊本	0%	14%	40%	20%	20%	44%	42%	36%	30%	11%	0%	0%	240
メキシコ	91%	73%	24%	15%	11%	3%	0%	0%	2%	45%	96%	98%	165
佐賀	1%	4%	10%	6%	4%	10%	9%	6%	6%	5%	0%	0%	54
愛知	0%	3%	7%	4%	4%	5%	5%	4%	5%	5%	0%	0%	35
総量	**15**	**49**	**99**	**93**	**82**	**92**	**135**	**111**	**57**	**36**	**28**	**21**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	33%	8%	16%	78%	96%	99%	87%	96%	46%	0%	0%	16%	417
メキシコ	58%	85%	63%	18%	3%	1%	0%	0%	29%	77%	95%	82%	126
熊本	0%	1%	6%	0%	0%	0%	3%	3%	11%	6%	0%	0%	8
佐賀	0%	2%	4%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	5
総量	**7**	**31**	**55**	**114**	**134**	**94**	**52**	**41**	**13**	**11**	**15**	**10**	

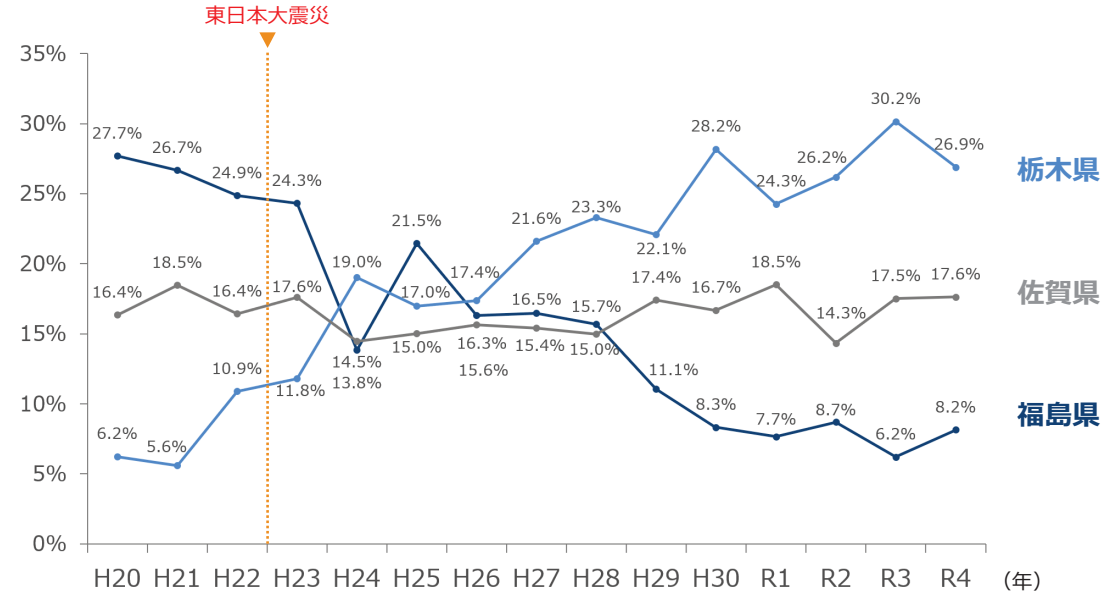
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスのシェアの推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産アスパラガスは、震災以降、徐々にシェアが縮小しており、平成29年以降は佐賀県産を下回るようになった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

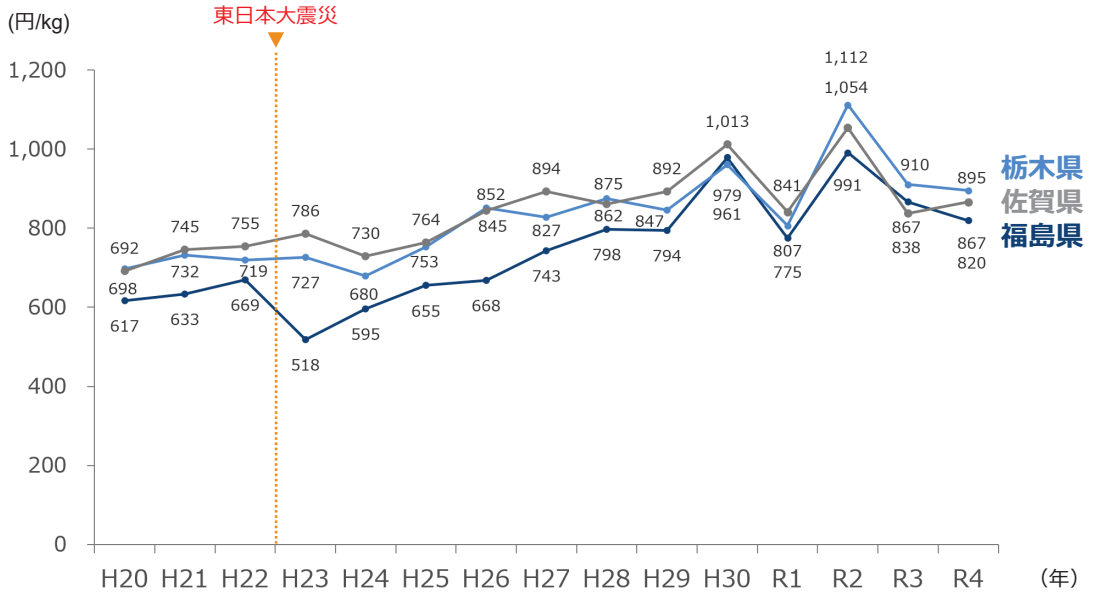


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスの単価の推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産アスパラガスの平均単価は、震災前から概ね継続して上昇しており、栃木県産・佐賀県産の価格に近い水準となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)

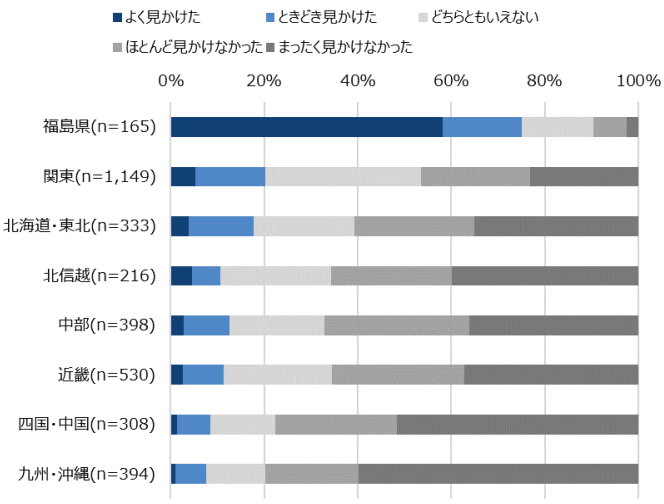


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産アスパラガスを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

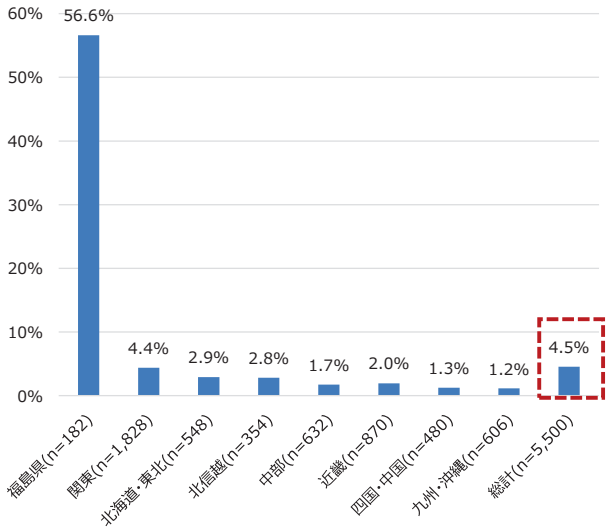
福島県産アスパラガスをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産アスパラガスを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.5%であった。

福島県産アスパラガスを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産アスパラガスを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産アスパラガスの購買経験率

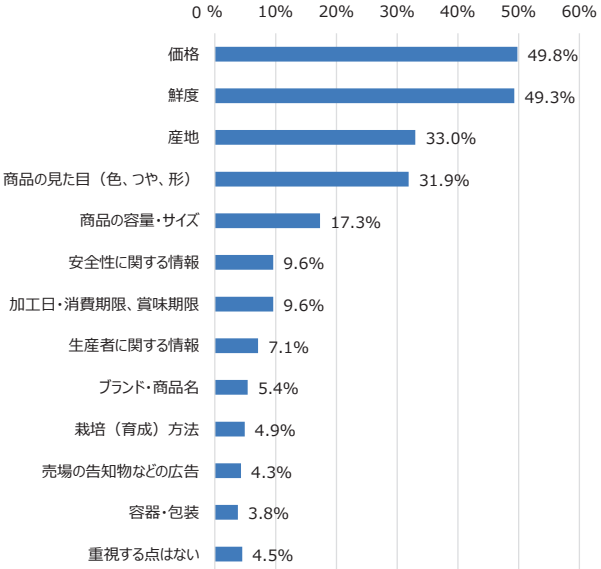


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

アスパラガス購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

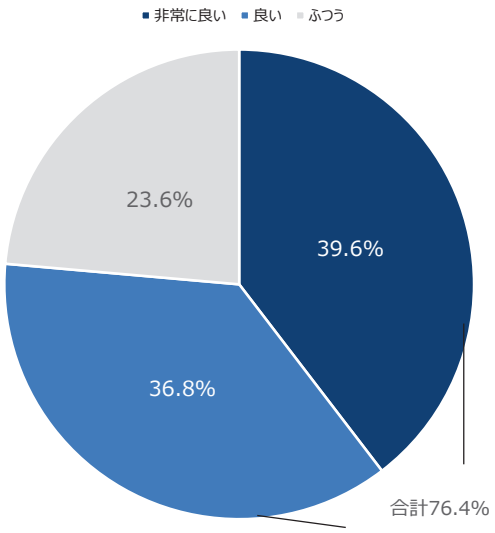
福島県産に限らず、アスパラガス購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産アスパラガスの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が76.4%であった。

アスパラガス購買時の重視点（n=2,792、複数回答）



※アスパラガス購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上アスパラガスを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産アスパラガス購買者の評価（n=250）

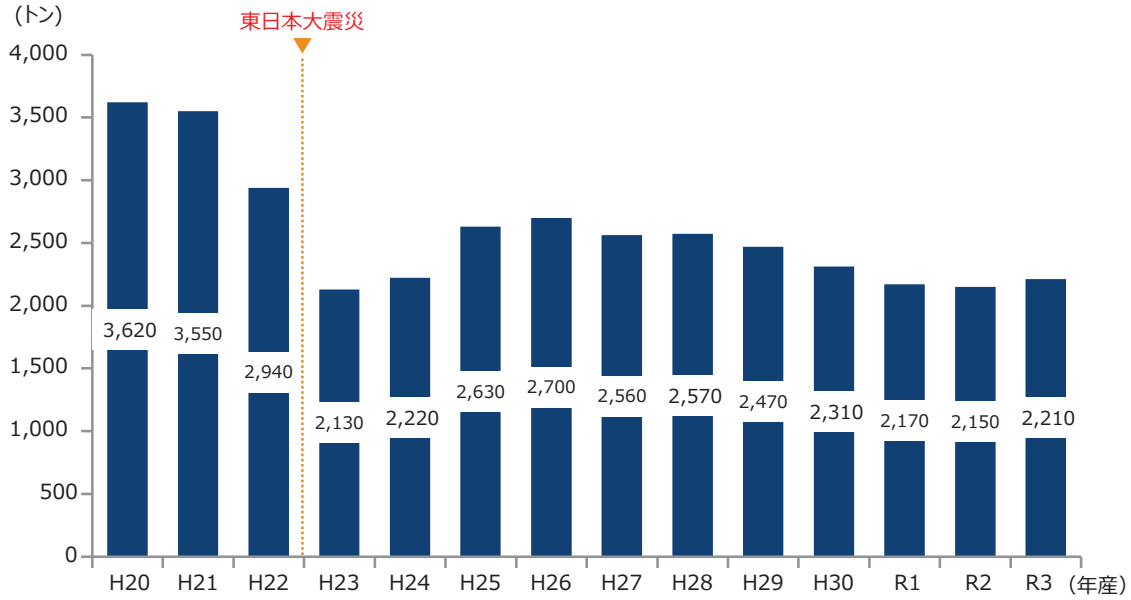


※福島県産アスパラガスを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

福島県産さやいんげんは、震災後出荷量が減少した後に回復したが、平成28年産以降は令和2年産まで減少傾向にあった。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

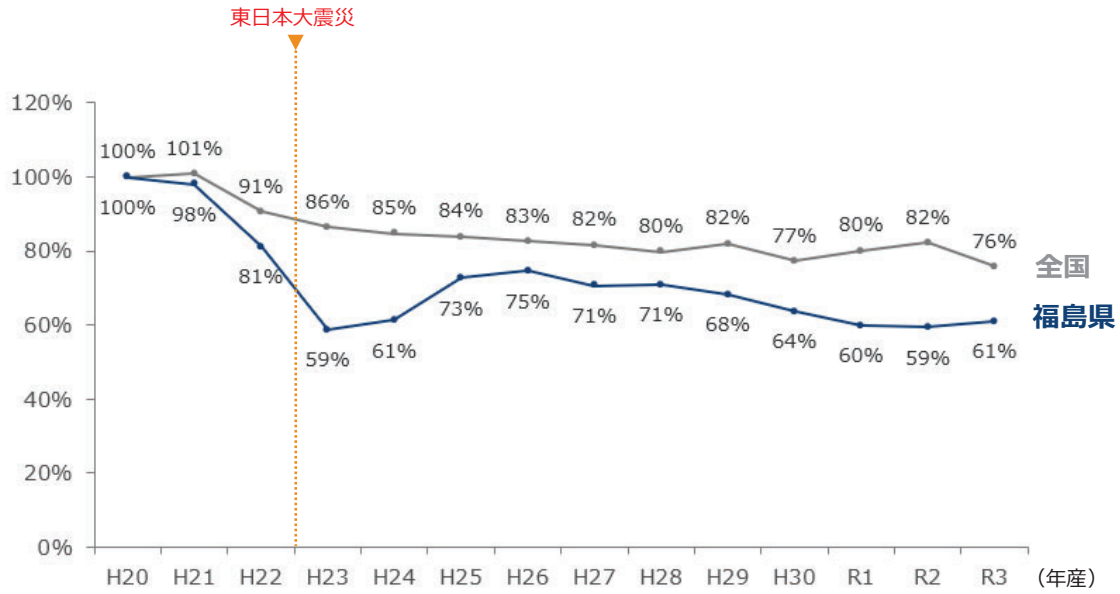


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移

全国のさやいんげんの出荷量は緩やかに減少し、近年は平成20年産の80%程度で推移している。一方、福島県産さやいんげんは震災直後に出荷量が急減した後にやや回復したが、平成27年産以降緩やかに減少し、近年は60%前後で推移している。

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

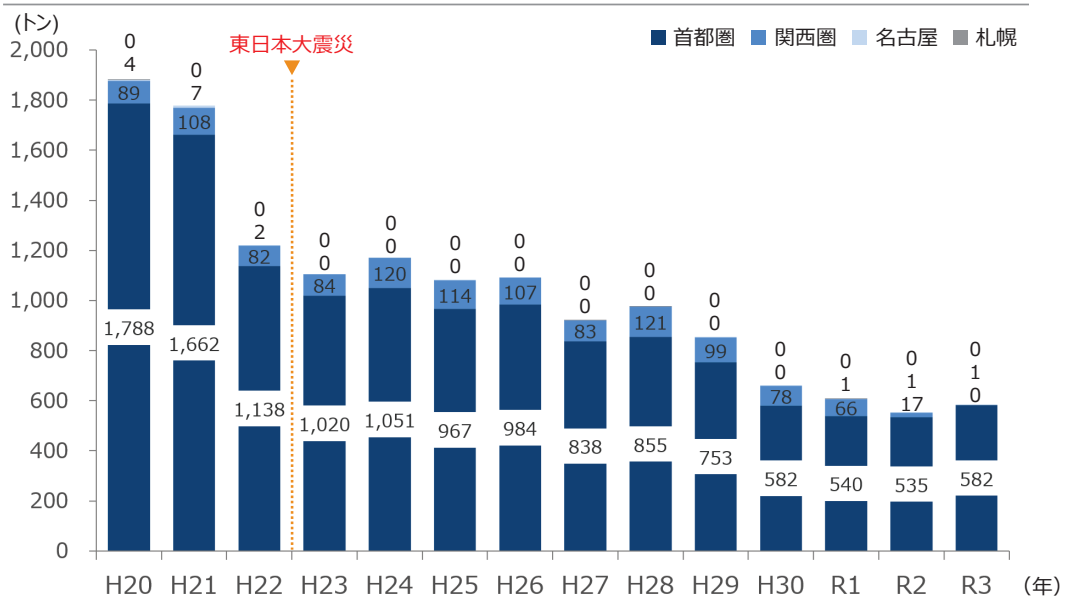


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産さやいんげんは、主に首都圏で取り扱われているが、その取扱量は震災前から徐々に減少している。

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても、７月～10月に福島県産さやいんげんのシェアが１位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	3%	3%	3%	5%	5%	10%	50%	50%	48%	26%	4%	4%	468
沖縄	72%	74%	74%	59%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	58%	683
千葉	0%	0%	1%	12%	40%	33%	4%	1%	0%	7%	10%	1%	256
鹿児島	10%	3%	6%	15%	21%	4%	0%	0%	0%	8%	33%	22%	245
茨城	0%	0%	0%	1%	9%	33%	20%	3%	5%	19%	5%	1%	238
総量	**148**	**156**	**245**	**217**	**232**	**261**	**341**	**159**	**178**	**199**	**171**	**208**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	10%	56%	64%	70%	39%	3%	0%	115
沖縄	82%	78%	91%	78%	11%	0%	1%	2%	0%	0%	9%	66%	199
鹿児島	4%	3%	3%	12%	38%	10%	1%	0%	0%	9%	39%	25%	68
茨城	0%	0%	0%	1%	8%	48%	23%	2%	0%	10%	5%	0%	59
千葉	0%	0%	1%	9%	32%	14%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	29
総量	**37**	**35**	**57**	**54**	**45**	**61**	**79**	**28**	**39**	**44**	**44**	**56**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、７月～９月に福島県産さやいんげんの市場シェアが２位であった。京都市中央卸売市場では、年間を通して、取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	28%	20%	8%	2%	0%	0%	10
オマーン	71%	80%	72%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	52%	73
鹿児島	23%	12%	15%	47%	77%	26%	0%	0%	2%	37%	76%	42%	54
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	7%	31%	39%	66%	24%	0%	0%	27
沖縄	1%	8%	12%	25%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	10
総量	**17**	**23**	**38**	**12**	**9**	**11**	**22**	**13**	**17**	**14**	**13**	**26**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	19%	6%	16%	34%	51%	26%	1%	0%	5%	49%	62%	50%	78
沖縄	32%	44%	46%	45%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	25%	56
その他	27%	35%	24%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	26
高知	15%	14%	11%	11%	11%	8%	3%	0%	0%	2%	5%	8%	23
熊本	8%	1%	3%	10%	24%	14%	0%	0%	0%	4%	14%	7%	21
総量	**22**	**29**	**34**	**29**	**26**	**20**	**16**	**9**	**13**	**21**	**26**	**22**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産さやいんげんの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産さやいんげんの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	1%	1%	0%	0%	1
鹿児島	37%	24%	37%	60%	74%	24%	2%	0%	7%	48%	81%	55%	144
沖縄	34%	35%	39%	27%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	21%	48
徳島	0%	0%	0%	0%	1%	33%	40%	7%	13%	20%	4%	3%	32
高知	22%	20%	11%	9%	9%	11%	4%	0%	0%	1%	10%	16%	32
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	31%	52%	31%	13%	1%	0%	27
総量	**22**	**19**	**37**	**40**	**38**	**29**	**26**	**16**	**18**	**32**	**32**	**26**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	22%	98%	99%	100%	100%	99%	13%	1%	44
高知	64%	59%	67%	63%	57%	0%	0%	0%	0%	0%	46%	60%	16
沖縄	0%	18%	11%	10%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
オマーン	7%	10%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
総量	**3**	**3**	**4**	**4**	**5**	**8**	**9**	**6**	**11**	**9**	**4**	**5**	

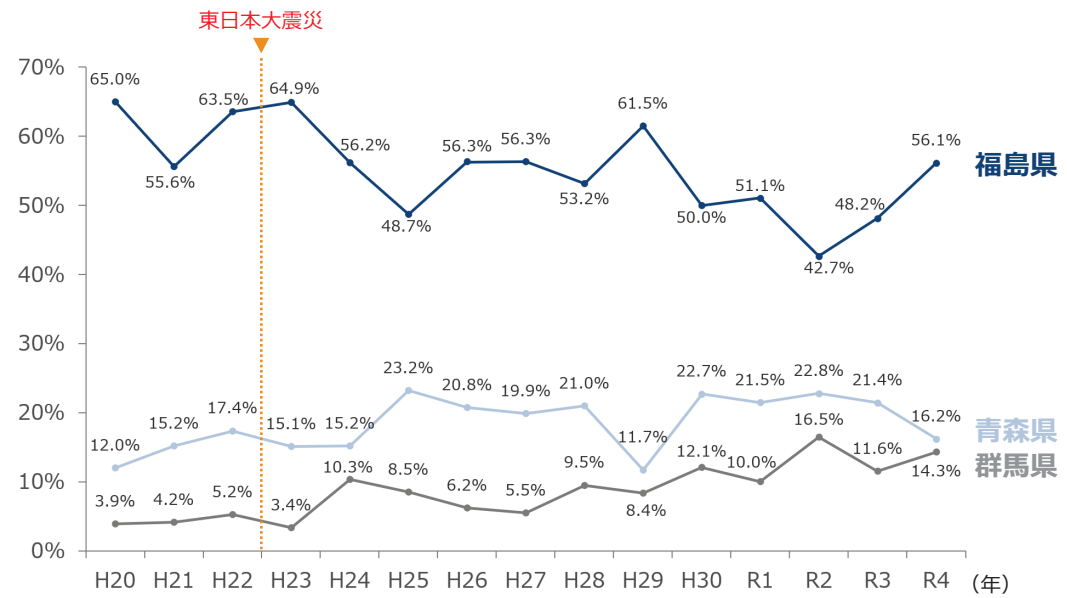
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんのシェアの推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産さやいんげんは、震災前からシェアが圧倒的に高く、震災後に低下したものの、高いシェアを維持している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

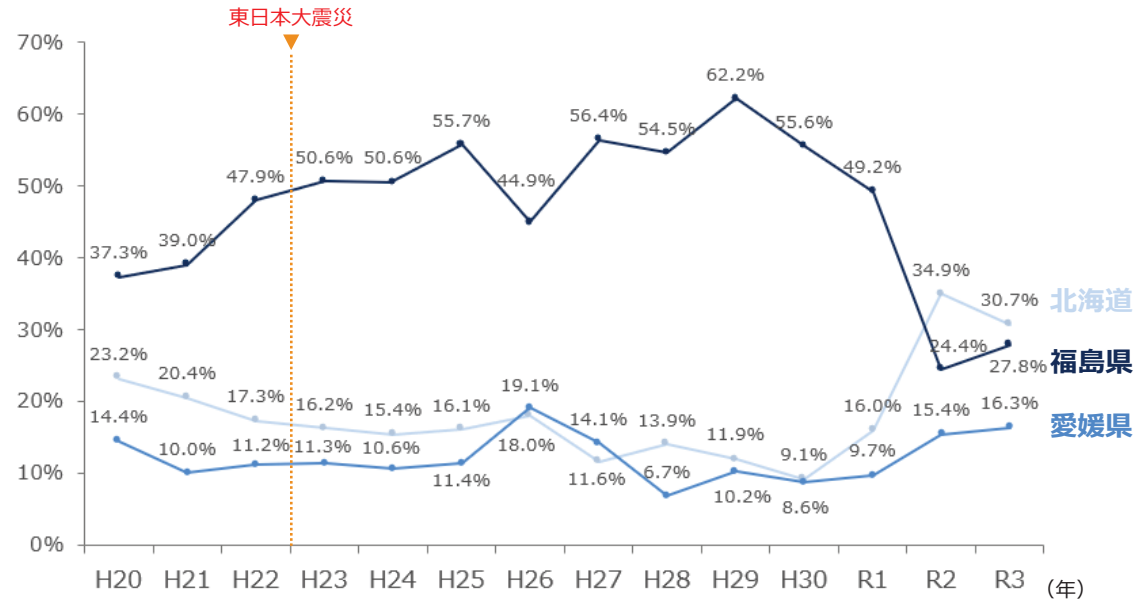


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産さやいんげんのシェアの推移

大阪市中央卸売市場の７月の福島県産さやいんげんは、平成23年から令和元年にかけて50%前後の高いシェアを有していた。令和2年は大幅に減少し、令和3年は微増したが、北海道産を下回った。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(7月)

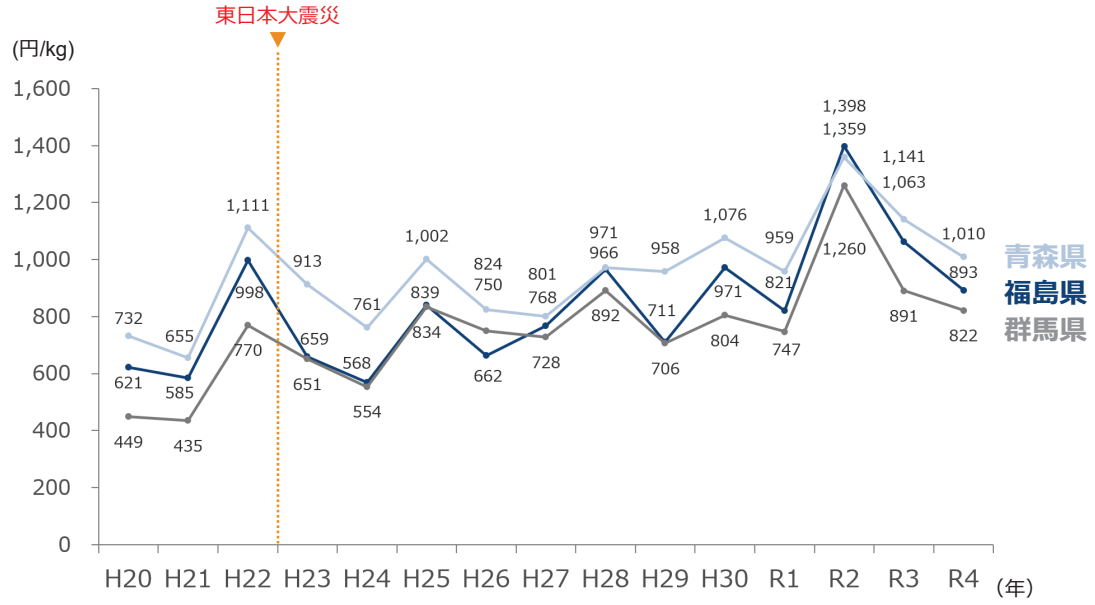


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんの単価の推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産さやいんげんの平均単価は、平成23年に大きく下落して以降は、変動しつつも令和2年は震災以降で最も高い水準となった。令和3年以降は各県とも前年より下落している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

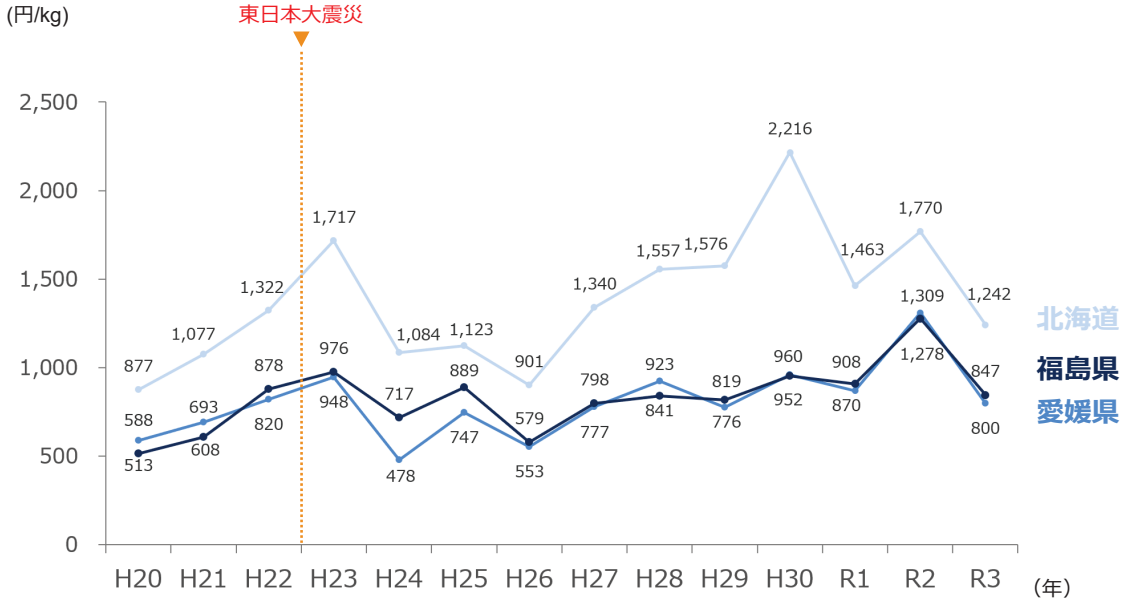


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産さやいんげんの単価の推移

大阪市中央卸売市場の7月の福島県産さやいんげんの平均単価は、震災前の平成20年から北海道産よりも安価な状態が続いている。平成26年以降は愛媛県産とほぼ同じ単価で推移している。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(7月)

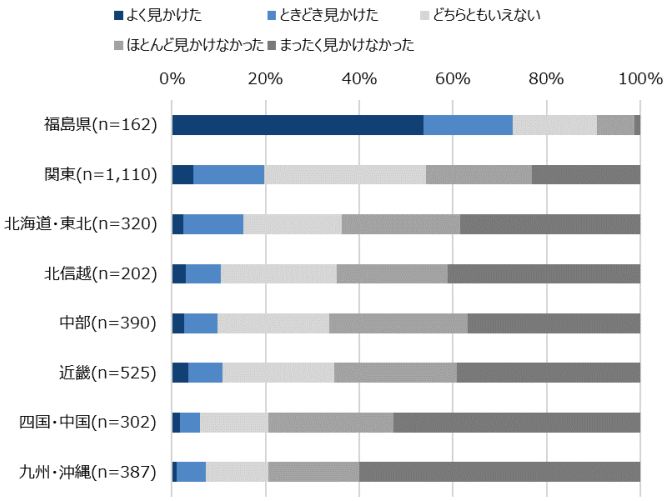


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

福島県産さやいんげんを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

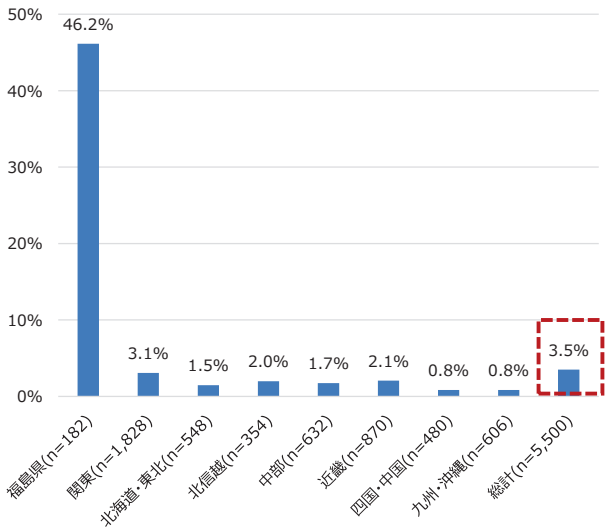
福島県産さやいんげんをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５％に満たない。福島県産さやいんげんを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.5%であった。

福島県産さやいんげんを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産さやいんげんを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産さやいんげんの購買経験率

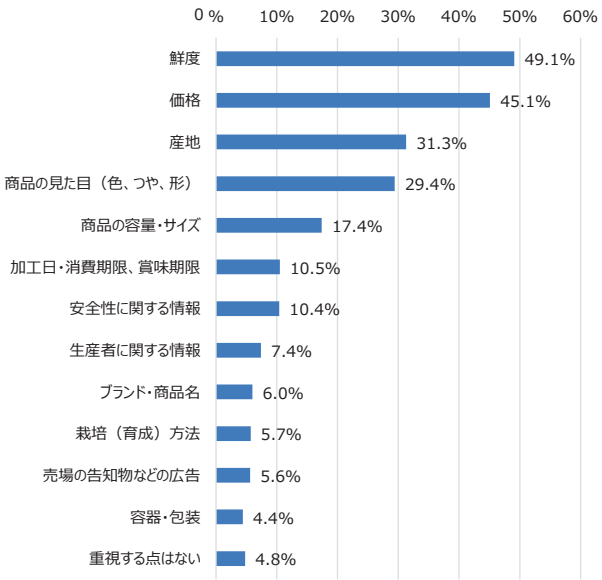


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

さやいんげん購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

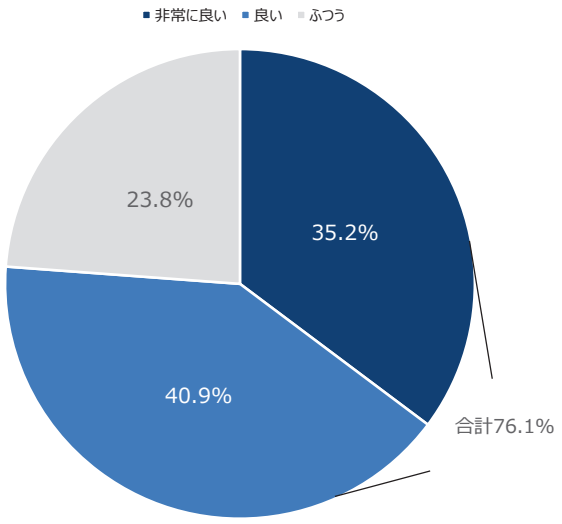
福島県産に限らず、さやいんげん購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産さやいんげんの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が76.1%であった。

さやいんげん購買時の重視点（n=1,961、複数回答）



※さやいんげん購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上さやいんげんを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産さやいんげん購買者の評価（n=193）

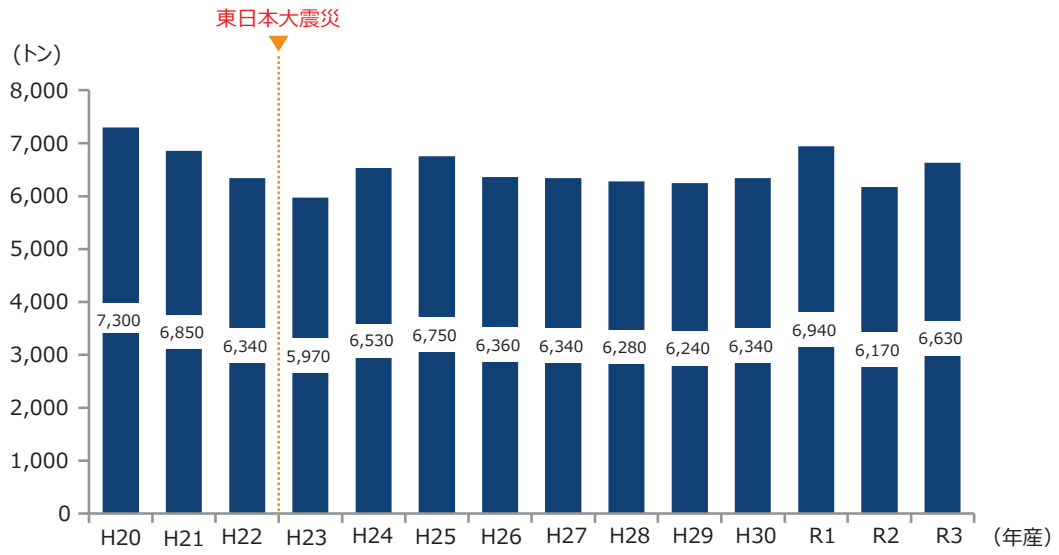


※福島県産さやいんげんを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ねぎの出荷量の推移

福島県産ねぎの出荷量は震災直後に減少したが、平成23年産から平成25年産にかけて徐々に増加し、平成26年産以降は、令和元年産を除き、ほぼ横ばいで推移している。

福島県産ねぎの出荷量の推移

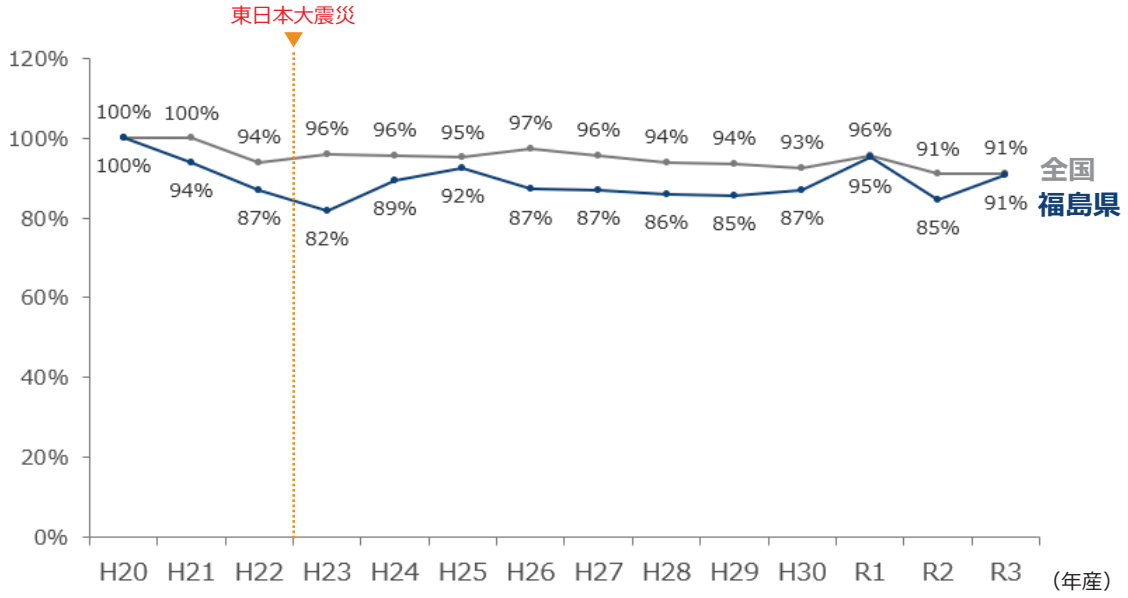


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移

全国のねぎの出荷量は、平成27年産以降、令和元年を除き、緩やかな減少傾向にある。福島県産ねぎについては、平成27年産以降、令和元年を除き、ほぼ横ばいで推移している。

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

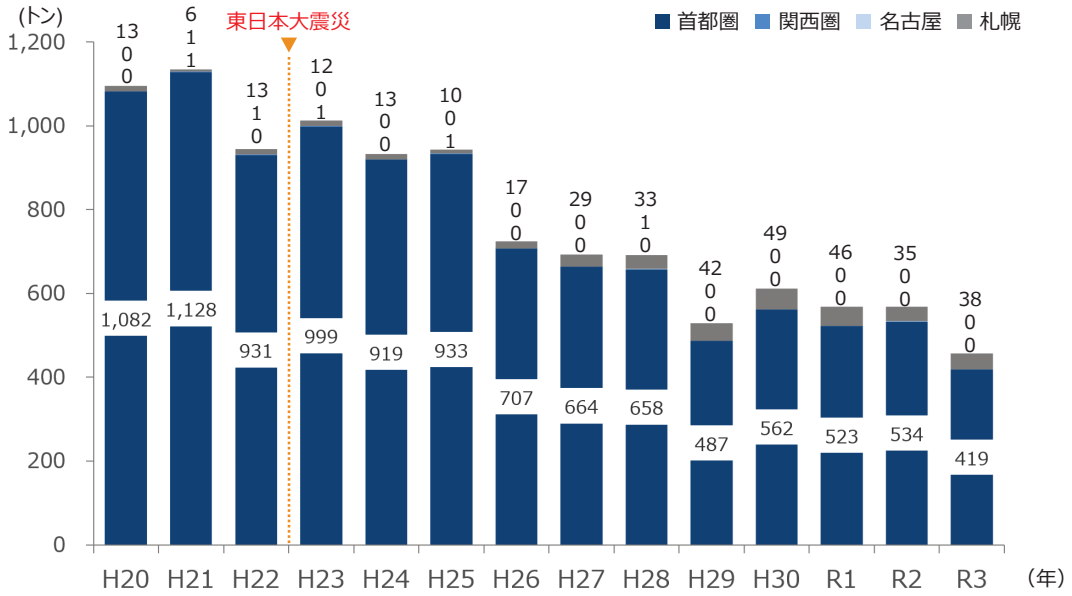


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産ねぎは、ほとんどが首都圏で取引されている。その取引量は減少傾向にあり、令和3年は平成22年の約45%まで減少している。

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるねぎの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産ねぎのシェアは少なかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	1%	328
茨城	23%	14%	18%	22%	58%	67%	57%	25%	6%	7%	12%	22%	12,822
秋田	3%	2%	2%	2%	3%	2%	7%	21%	25%	22%	18%	8%	4,970
埼玉	21%	18%	17%	16%	4%	3%	3%	2%	1%	1%	6%	16%	4,461
栃木	10%	9%	9%	12%	7%	3%	5%	4%	4%	6%	9%	12%	3,810
総量	**4,576**	**3,513**	**3,477**	**3,253**	**3,763**	**3,608**	**3,521**	**3,453**	**4,195**	**4,934**	**5,395**	**5,696**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	6%	5%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	91
千葉	56%	62%	68%	63%	31%	31%	11%	2%	1%	2%	9%	36%	1,888
秋田	0%	0%	0%	1%	3%	1%	9%	25%	29%	28%	28%	17%	973
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	14%	20%	22%	9%	539
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	10%	17%	17%	17%	8%	0%	460
総量	**527**	**448**	**449**	**433**	**458**	**433**	**480**	**513**	**706**	**750**	**806**	**810**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるねぎの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産ねぎの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鳥取	19%	31%	38%	40%	30%	26%	29%	20%	10%	12%	18%	23%	1,980
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	14%	36%	45%	48%	25%	0%	1,271
群馬	29%	13%	4%	8%	12%	1%	1%	2%	3%	1%	12%	31%	961
長野	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	14%	25%	26%	21%	5%	765
大分	10%	18%	18%	16%	7%	8%	7%	0%	0%	0%	0%	6%	599
総量	**793**	**785**	**674**	**621**	**483**	**430**	**445**	**480**	**720**	**937**	**957**	**1,073**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
京都	20%	21%	25%	28%	31%	29%	28%	22%	17%	13%	14%	17%	726
鳥取	13%	20%	23%	32%	22%	22%	26%	16%	10%	15%	17%	18%	654
大分	27%	27%	25%	19%	22%	26%	24%	8%	1%	2%	8%	17%	579
滋賀	18%	18%	17%	10%	8%	3%	3%	6%	7%	10%	12%	13%	390
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	35%	44%	32%	13%	0%	367
総量	**345**	**301**	**299**	**254**	**207**	**212**	**217**	**213**	**256**	**356**	**389**	**422**	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるねぎの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ねぎの取扱いが見られなかった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ねぎの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	51%	56%	48%	28%	1%	1,839
大分	30%	35%	39%	35%	34%	37%	33%	4%	0%	0%	2%	16%	1,734
長野	9%	5%	1%	1%	0%	0%	7%	18%	26%	27%	30%	22%	1,464
静岡	20%	20%	13%	6%	5%	10%	6%	1%	0%	0%	2%	11%	692
愛知	8%	5%	7%	13%	21%	20%	12%	3%	1%	2%	3%	5%	635
総量	**788**	**714**	**653**	**599**	**466**	**502**	**573**	**652**	**874**	**1,202**	**1,265**	**1,175**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	4%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	38
北海道	1%	1%	1%	4%	13%	46%	89%	97%	100%	99%	93%	36%	3,017
茨城	33%	16%	22%	32%	66%	49%	8%	0%	0%	0%	0%	14%	824
群馬	8%	8%	6%	9%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	6%	136
大分	1%	9%	22%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	108
総量	**283**	**255**	**321**	**340**	**305**	**392**	**459**	**504**	**570**	**621**	**537**	**535**	

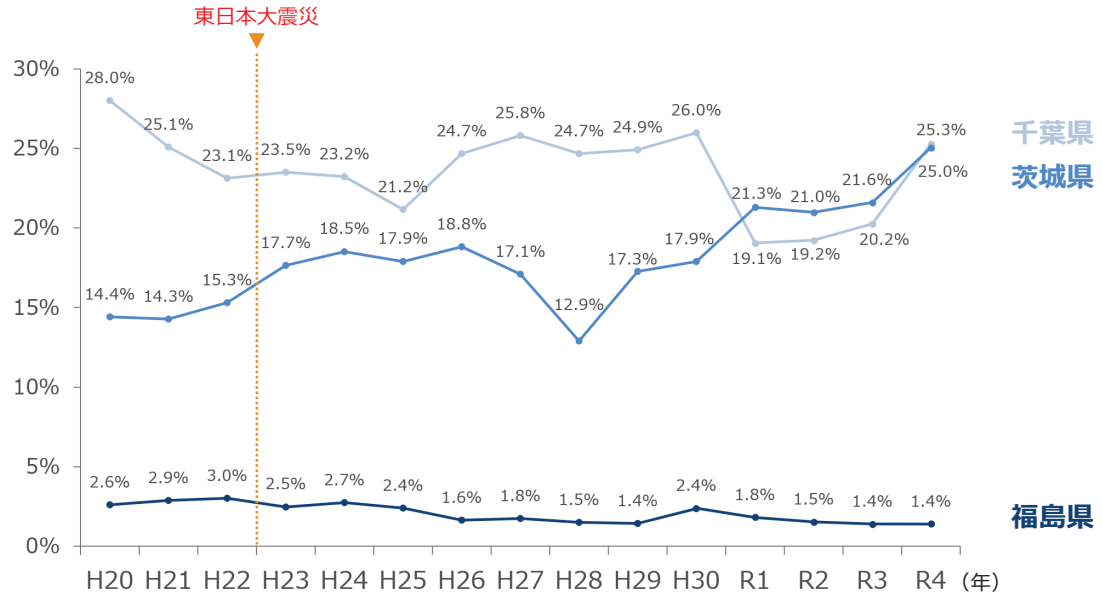
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎのシェアの推移

東京都中央卸売市場の12月の福島県産ねぎは、震災後に徐々にシェアが低下し、令和4年は震災前の半分程度のシェアとなっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(12月)

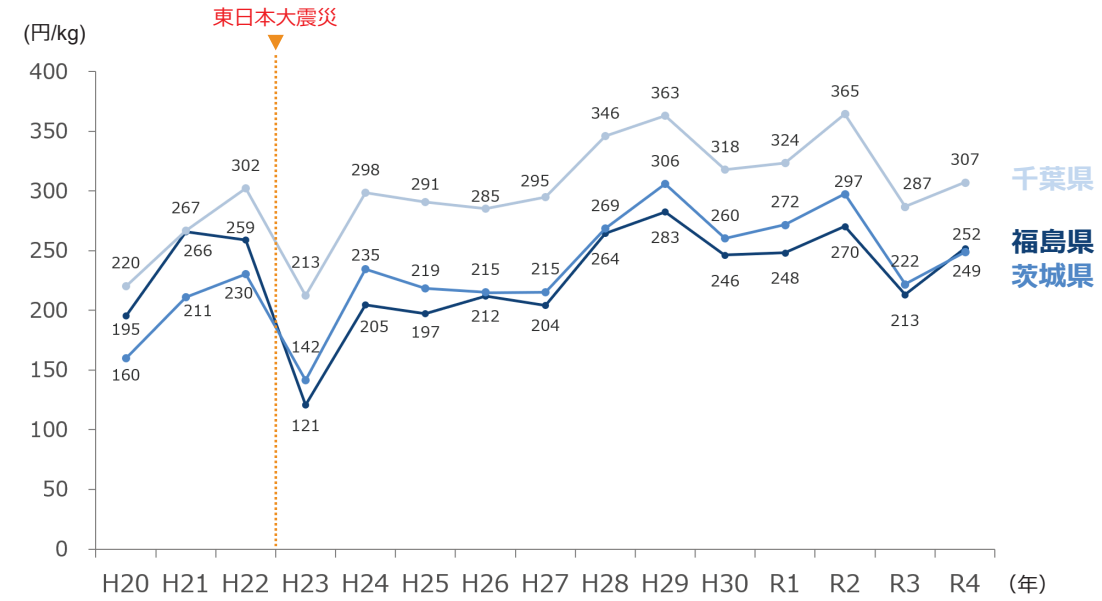


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎの単価の推移

東京都中央卸売市場の12月の福島県産ねぎの平均単価は、震災前は茨城県産より高く、千葉県産より低い水準であったが、震災後は茨城県産を下回るようになった。令和4年は茨城県産をわずか上回った。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(12月)

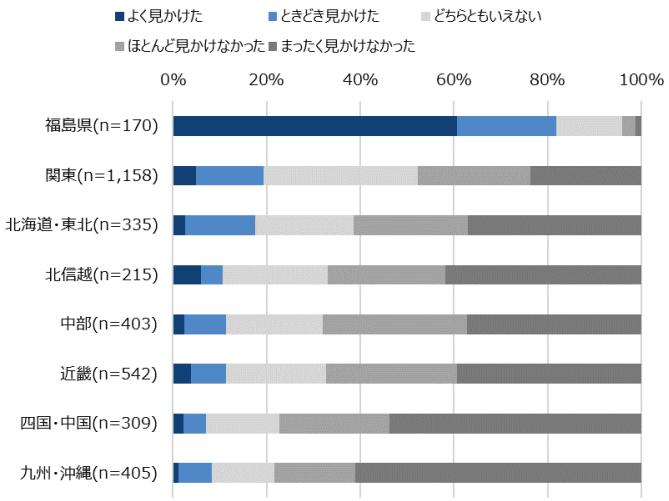


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産ねぎを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

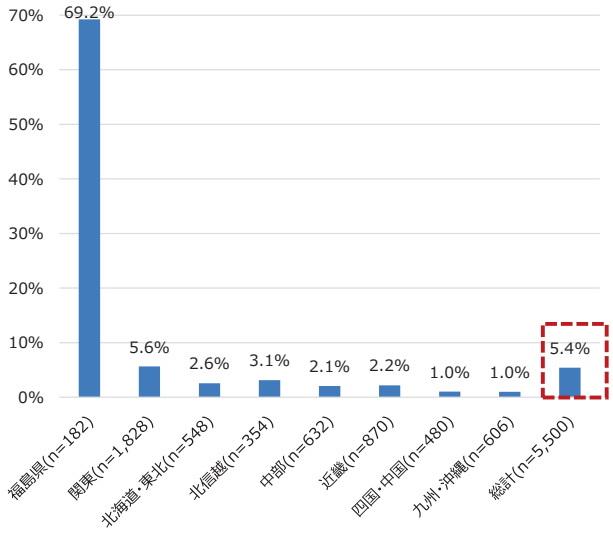
福島県産ねぎをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産ねぎを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.4%であった。

福島県産ねぎを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ねぎを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ねぎの購買経験率

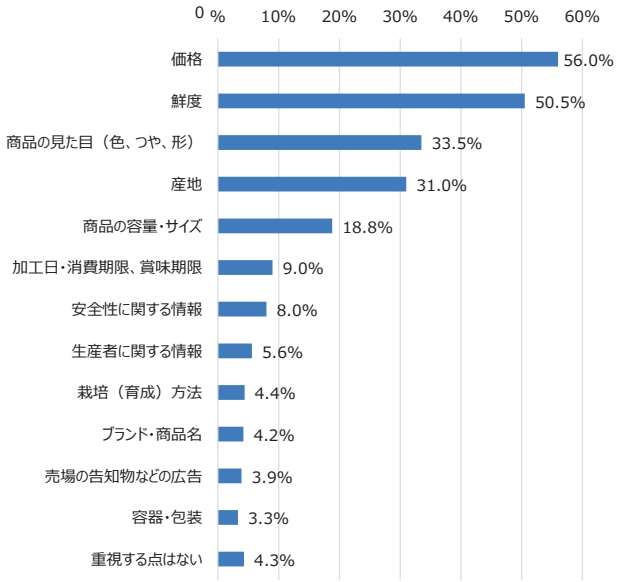


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

ねぎ購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

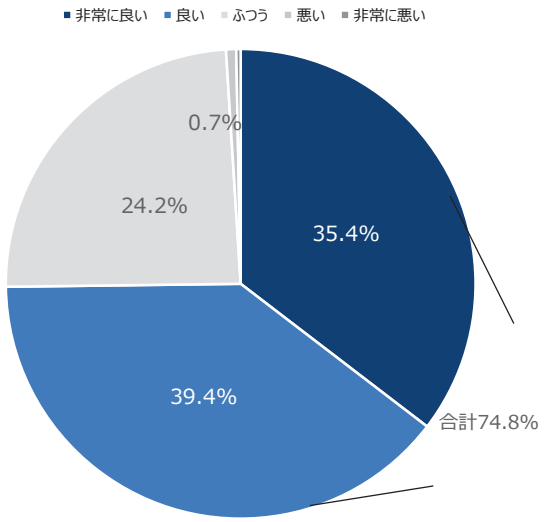
福島県産に限らず、ねぎ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産ねぎの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.8%であった。

ねぎ購買時の重視点（n=4,459、複数回答）



※ねぎ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ねぎを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ねぎ購買者の評価（n=297）

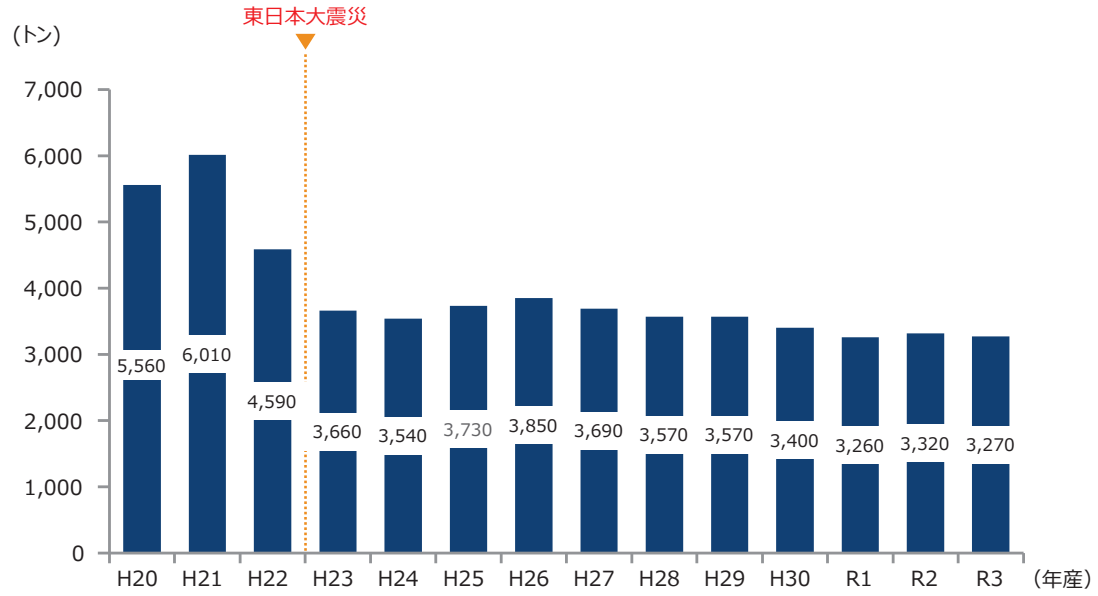


※福島県産ねぎを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

福島県産ブロッコリーの出荷量については、平成22年産・平成23年産に大きく減少し、その後は微減で推移している。

福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

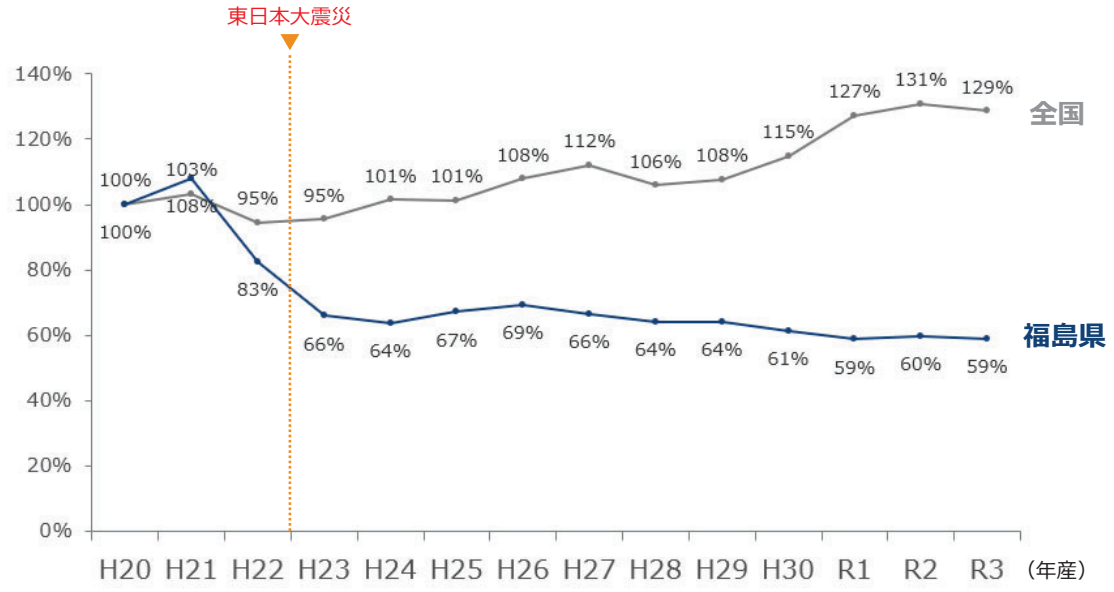


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

全国のブロッコリー出荷量は、平成23年産から増加傾向にある一方で、福島県産ブロッコリーは、平成21年産をピークに平成22年産・平成23年産に大きく減少し、その後は微減で推移している。

全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

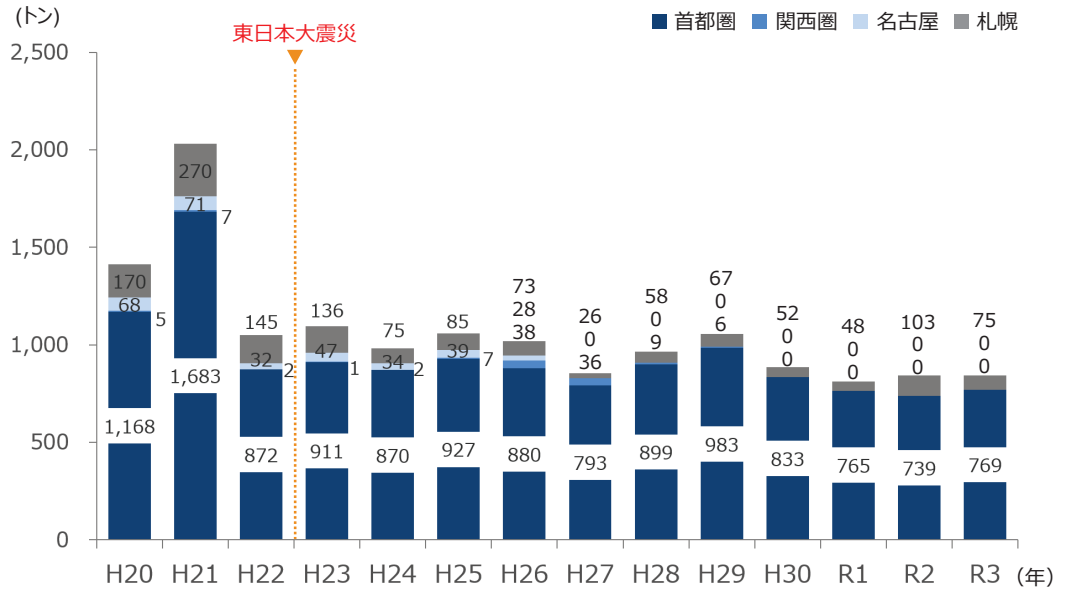


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産ブロッコリーは、主に首都圏で取り扱われており、震災直前の平成22年から平成29年まで、取扱量はほぼ横ばいとなっている。

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、福島県産ブロッコリーのシェアは6月に高まり3位となったが、それ以外の月は5月を除き５％以下であった。横浜市中央卸売市場では、5～6月、10月に3位となった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	7%	11%	0%	0%	0%	3%	2%	1%	618
北海道	3%	2%	2%	2%	2%	25%	67%	77%	75%	55%	8%	2%	7,456
熊本	17%	23%	22%	24%	17%	0%	0%	0%	0%	1%	13%	17%	4,705
愛知	27%	24%	18%	6%	6%	0%	0%	0%	0%	1%	10%	13%	3,618
長崎	10%	11%	11%	16%	11%	3%	0%	0%	0%	2%	9%	10%	2,806
総量	**2,841**	**3,765**	**4,177**	**3,528**	**3,043**	**2,209**	**2,776**	**1,798**	**1,972**	**2,576**	**3,492**	**3,346**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	12%	10%	0%	0%	0%	8%	6%	0%	151
香川	40%	43%	56%	44%	39%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	29%	1,435
長野	0%	0%	0%	0%	5%	63%	48%	25%	34%	37%	6%	0%	812
長崎	13%	14%	16%	23%	18%	4%	0%	0%	0%	2%	17%	13%	631
愛知	23%	20%	13%	9%	7%	0%	0%	0%	0%	1%	12%	19%	548
総量	**437**	**594**	**666**	**523**	**429**	**324**	**448**	**261**	**326**	**433**	**547**	**533**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場においては、年間を通して、福島県産ブロッコリーの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	37%	39%	49%	45%	43%	17%	2%	8%	10%	14%	41%	39%	2,250
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	5%	60%	68%	62%	53%	6%	2%	1,413
長野	0%	0%	0%	0%	2%	38%	32%	20%	23%	23%	3%	0%	779
鳥取	9%	9%	4%	4%	22%	24%	2%	0%	0%	3%	18%	20%	712
香川	14%	13%	18%	15%	12%	2%	0%	0%	0%	1%	7%	7%	604
総量	**523**	**739**	**790**	**673**	**685**	**508**	**621**	**465**	**500**	**635**	**658**	**624**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	22%	81%	91%	89%	64%	8%	0%	821
徳島	35%	37%	52%	42%	42%	15%	0%	0%	0%	5%	34%	28%	797
鳥取	16%	15%	13%	6%	32%	31%	0%	0%	0%	8%	18%	23%	422
長崎	14%	15%	18%	21%	9%	2%	0%	0%	0%	3%	11%	11%	281
長野	0%	0%	0%	0%	1%	21%	19%	9%	11%	13%	2%	0%	183
総量	**208**	**307**	**318**	**263**	**282**	**225**	**290**	**199**	**189**	**256**	**297**	**246**	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ブロッコリーの取扱いが見られなかった。札幌市中央卸売市場では、福島県産ブロッコリーのシェアが11月～12月に3位だったが、2月～10月までは取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
愛知	48%	40%	35%	24%	15%	3%	0%	0%	0%	5%	27%	37%	1,778
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	6%	59%	69%	68%	45%	1%	0%	1,359
香川	13%	21%	23%	34%	35%	3%	0%	0%	0%	2%	13%	19%	1,262
長野	0%	0%	0%	0%	4%	52%	40%	30%	32%	35%	9%	1%	1,166
鳥取	17%	18%	15%	2%	20%	23%	0%	0%	0%	5%	19%	17%	1,005
総量	**574**	**791**	**845**	**776**	**789**	**512**	**723**	**381**	**488**	**645**	**960**	**753**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	18%	75
北海道	0%	0%	0%	0%	34%	100%	100%	100%	100%	100%	80%	3%	4,606
熊本	34%	51%	52%	48%	35%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	23%	446
愛知	29%	24%	15%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	10%	135
徳島	8%	8%	10%	10%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	76
総量	**120**	**181**	**196**	**170**	**139**	**378**	**1,321**	**810**	**883**	**861**	**375**	**198**	

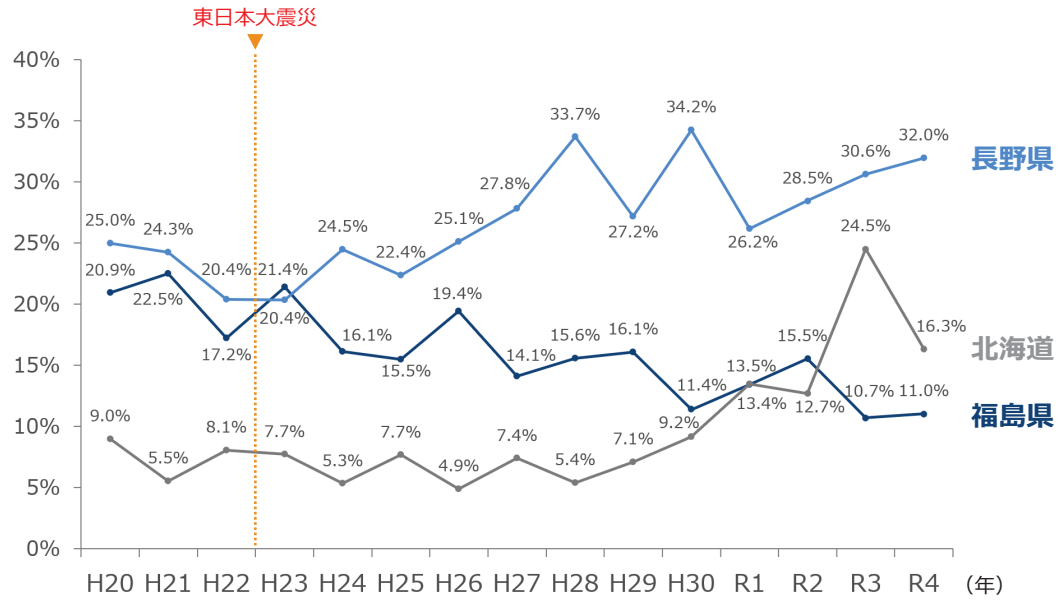
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーのシェアの推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産ブロッコリーは、震災以前に比べてシェアが縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(6月)

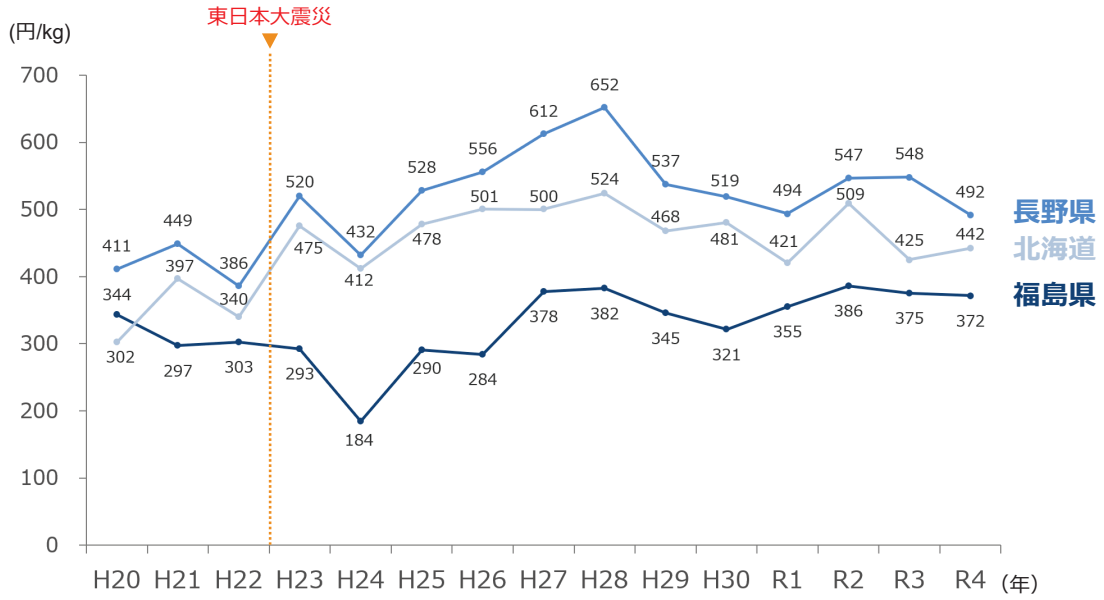


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーの単価の推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産ブロッコリーの平均単価は、震災前から他県産よりも低い。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(6月)

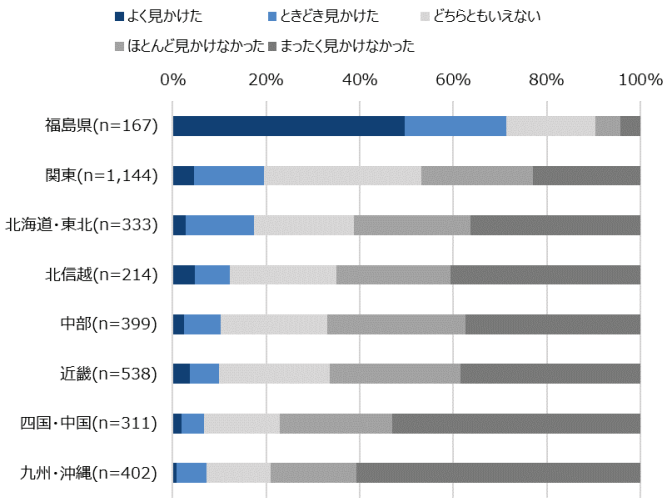


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産ブロッコリーを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

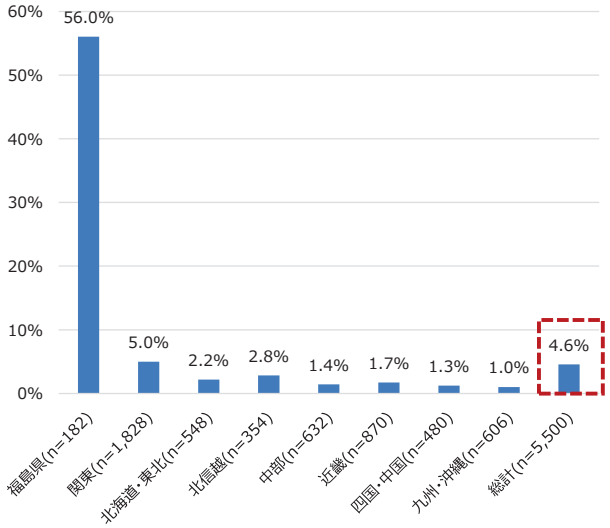
福島県産ブロッコリーをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産ブロッコリーを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.6%であった。

福島県産ブロッコリーを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ブロッコリーを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ブロッコリーの購買経験率

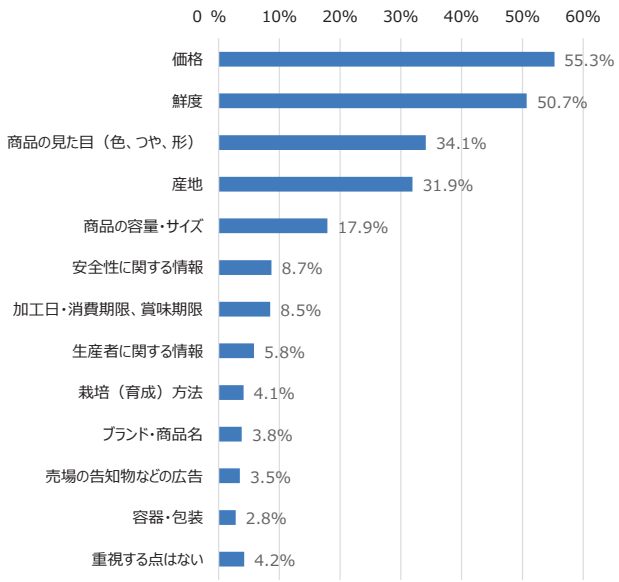


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

ブロッコリー購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

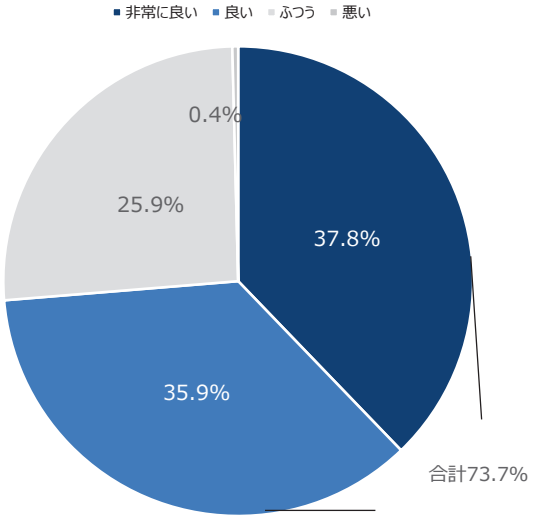
福島県産に限らず、ブロッコリー購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産ブロッコリーの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が73.7%であった。

ブロッコリー購買時の重視点（n=4,049、複数回答）



※ブロッコリー購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ブロッコリーを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ブロッコリー購買者の評価（n=251）



※福島県産ブロッコリーを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

各市場におけるグリーンピースの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場・横浜市中央卸売市場いずれにおいても、福島県産グリーンピースは主に5月～6月に流通しており、高いシェアを占めている。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	6%	15%	73%	2%	0%	0%	0%	1%	0%	31
鹿児島	79%	79%	70%	53%	14%	6%	14%	0%	0%	14%	44%	70%	221
長崎	9%	12%	20%	19%	2%	0%	0%	0%	0%	36%	46%	24%	61
和歌山	7%	5%	5%	8%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	5%	23
茨城	0%	0%	1%	6%	23%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	21
総量	**33**	**56**	**96**	**86**	**65**	**22**	**4**	**1**	**2**	**3**	**12**	**32**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	12%	31%	36%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	16
鹿児島	77%	73%	64%	27%	4%	0%	0%	0%	0%	5%	54%	77%	159
愛知	11%	15%	17%	28%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	38
熊本	7%	10%	15%	19%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	8%	30
秋田	0%	0%	0%	1%	9%	41%	69%	0%	56%	50%	4%	0%	17
総量	**31**	**57**	**80**	**31**	**21**	**16**	**8**	**1**	**1**	**4**	**9**	**37**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるグリーンピースの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産グリーンピースは5月・6月にのみ流通しており、6月は市場シェア3位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	5%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4
鹿児島	73%	74%	67%	34%	10%	0%	0%	0%	0%	2%	71%	78%	216
熊本	19%	16%	20%	27%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	14%	63
和歌山	5%	7%	11%	29%	27%	1%	0%	0%	0%	0%	6%	5%	44
岐阜	0%	0%	0%	0%	4%	56%	22%	0%	5%	80%	10%	0%	20
徳島	0%	0%	0%	2%	34%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11
総量	**44**	**76**	**105**	**51**	**27**	**24**	**8**	**2**	**3**	**3**	**7**	**41**	

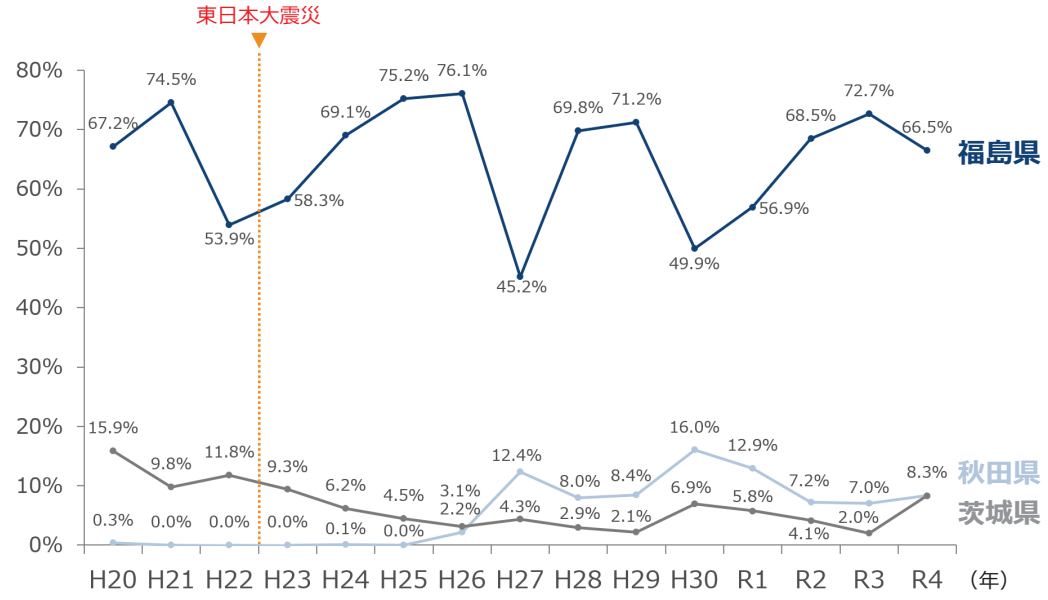
※大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場・札幌市中央卸売市場は該当データが存在しない。
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産グリーンピースのシェアの推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産グリーンピースは、平成27年と平成30年でシェアが一時的に低くなっているものの、震災以降は7割程度の高いシェアを占めている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(6月)

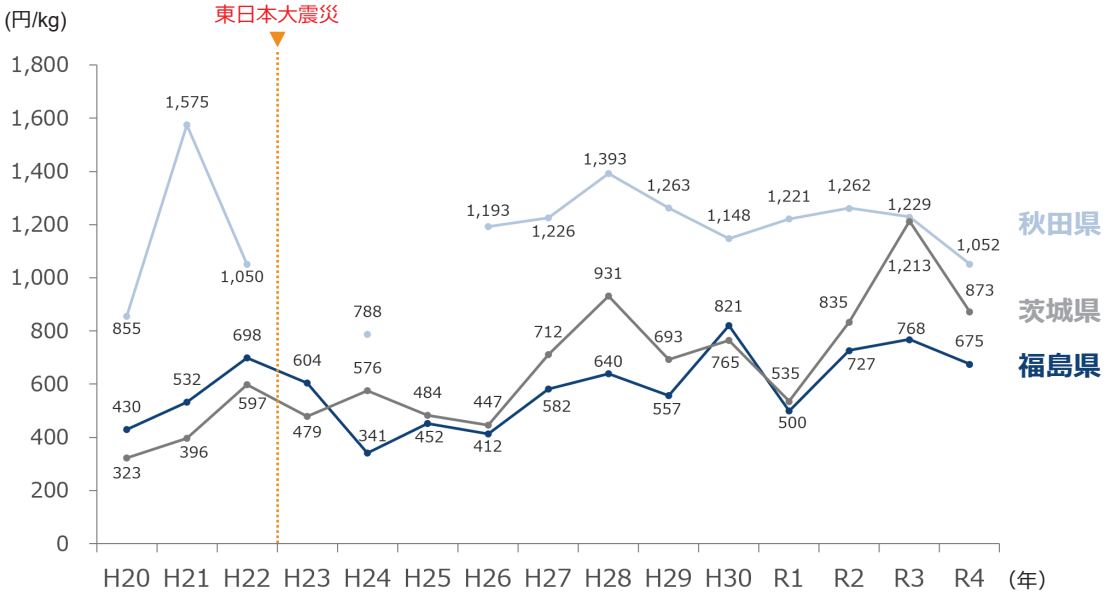


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産グリーンピースの単価の推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産グリーンピースの平均単価は、震災後に一時下落したが、その後回復傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(6月)



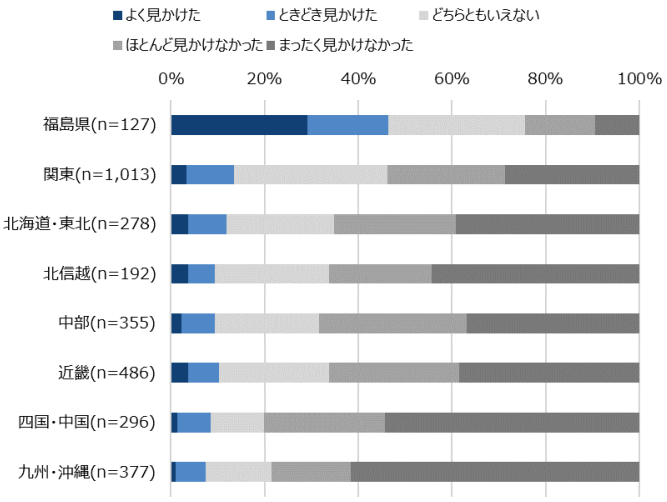
※平成23年と平成25年は秋田県のデータがないため、掲載していない。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産グリーンピースを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

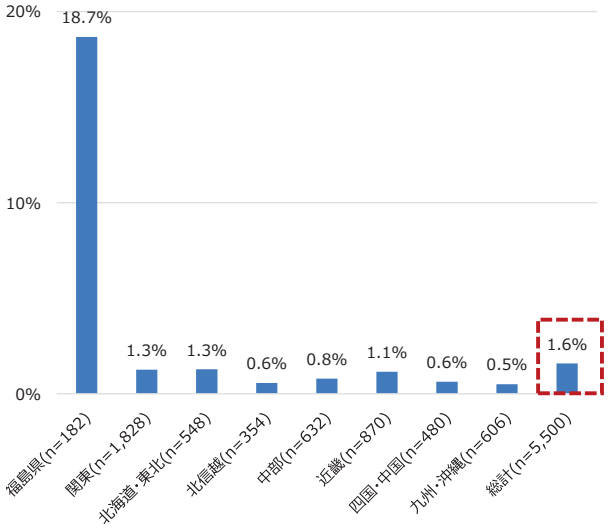
福島県産グリーンピースをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５％に満たない。福島県産グリーンピースを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では1.6%であった。

福島県産グリーンピースを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産グリーンピースを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産グリーンピースの購買経験率

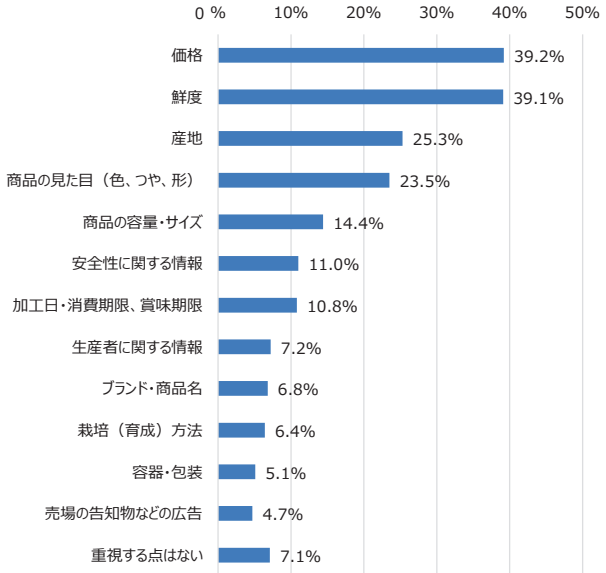


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

グリーンピース購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

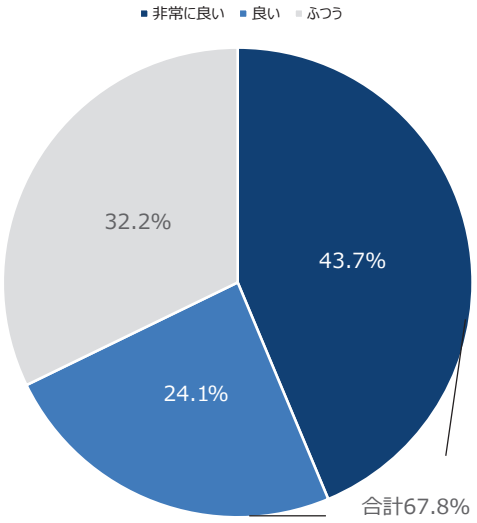
福島県産に限らず、グリーンピース購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産グリーンピースの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が67.8%であった。

グリーンピース購買時の重視点（n=1,440、複数回答）



※グリーンピース購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上グリーンピースを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産グリーンピース購買者の評価（n=87）

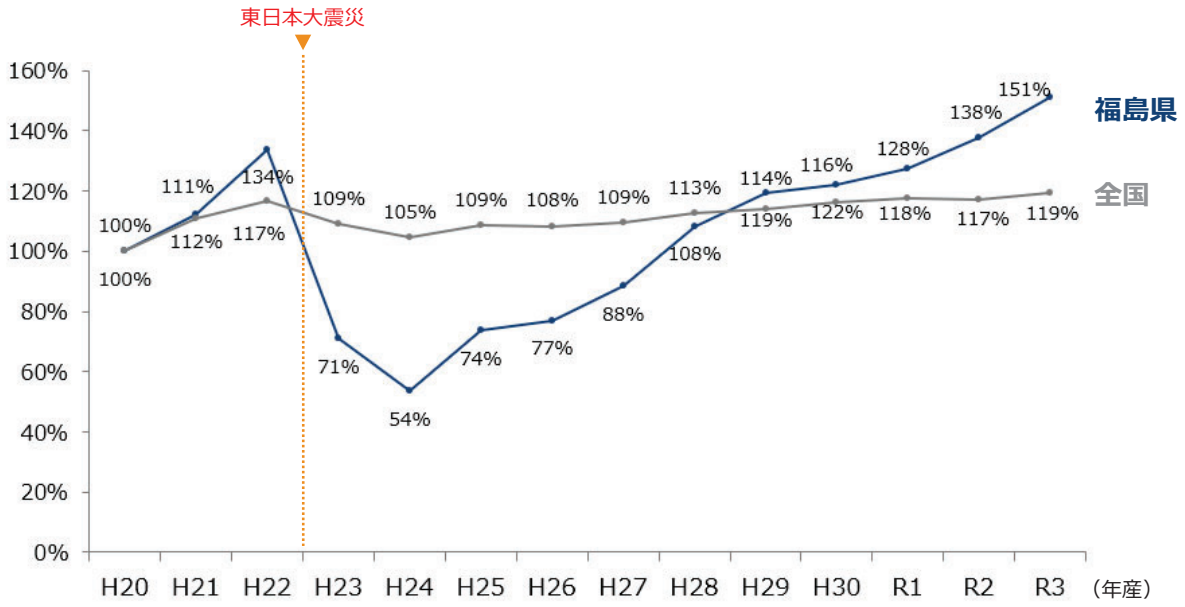


※福島県産グリーンピースを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移

福島県産菌床しいたけの生産量は、震災後に大きく減少したが徐々に回復し、平成28年産に震災前の平成20年産の生産量を上回り、増加傾向にある。

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)

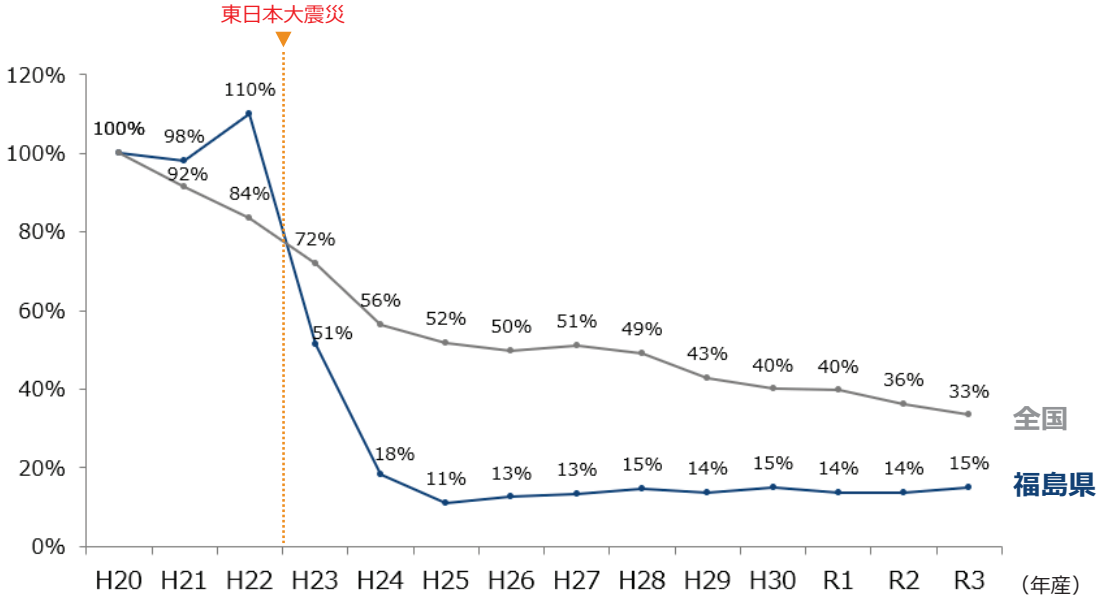


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」　※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移

福島県産原木しいたけの生産量は、震災後に大幅に減少し、現在は平成20年産の15%程度となっている。

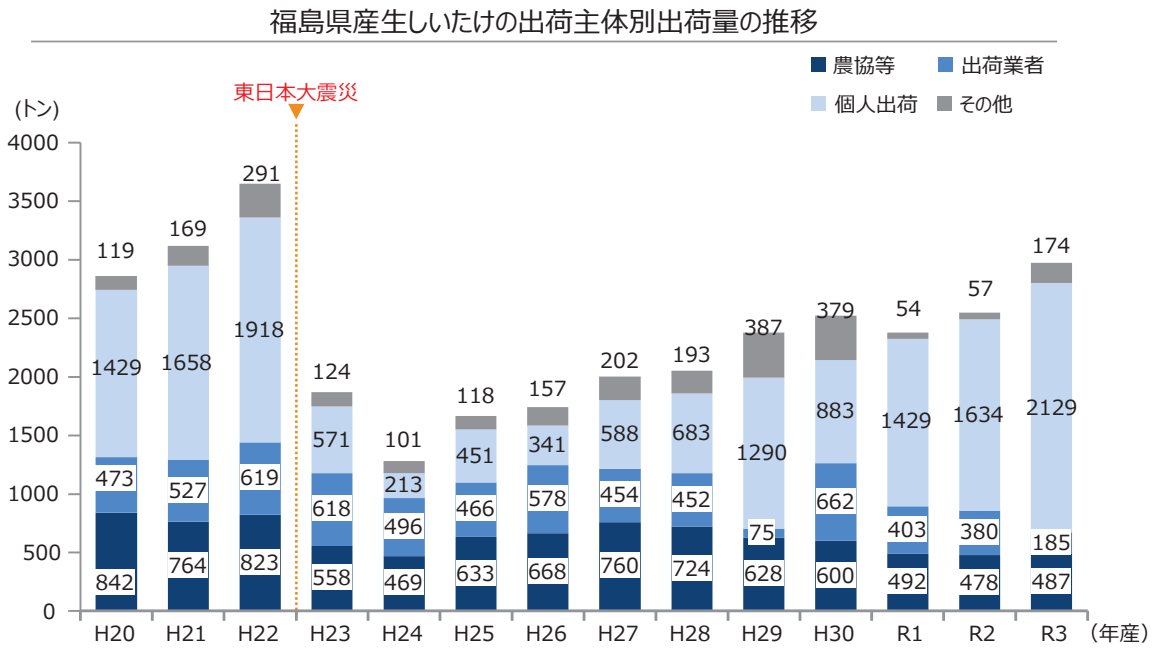
全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)



データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」　※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

福島県産生しいたけの出荷主体別出荷量の推移

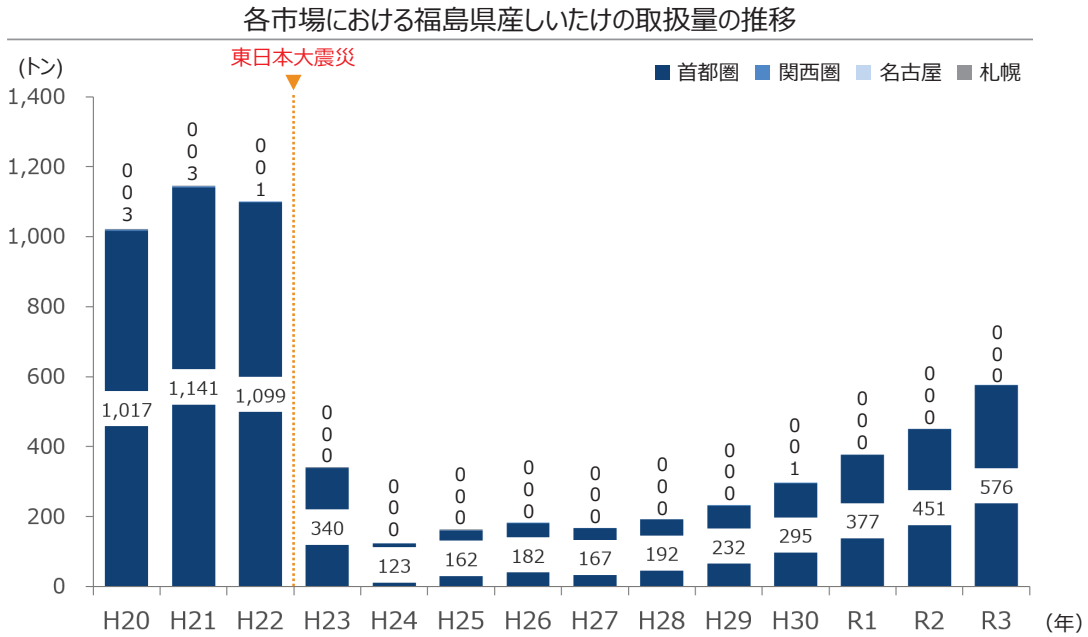
福島県産生しいたけは、震災後、個人での出荷量が特に大きく減少し、平成24年産は平成22年産の約11%の水準であった。その後再び増加し、令和3年産は平成22年産の約111%となった。一方で、農協等出荷は平成27年産以降、減少傾向にある。



データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産しいたけはほとんどが首都圏で取り扱われている。震災後に取扱量が大きく減少したが、平成25年以降は少しずつ回復傾向にあり、令和3年には平成22年の約52%まで回復した。



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場において、福島県産しいたけの市場シェアは、年間を通して、3%から10%程度であった。横浜市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産の市場シェアが３位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	3%	4%	5%	6%	8%	10%	10%	8%	5%	6%	4%	4%	434
千葉	25%	20%	18%	19%	22%	22%	18%	26%	26%	19%	18%	20%	1,570
秋田	15%	17%	16%	16%	15%	16%	16%	17%	15%	18%	20%	18%	1,248
栃木	11%	12%	15%	14%	13%	12%	13%	11%	11%	13%	16%	13%	976
総量	**762**	**615**	**665**	**601**	**552**	**518**	**511**	**440**	**531**	**678**	**801**	**815**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	8%	9%	8%	7%	6%	8%	7%	6%	8%	10%	9%	8%	142
秋田	54%	53%	55%	55%	54%	56%	59%	61%	58%	54%	56%	56%	1,010
岩手	27%	26%	25%	25%	29%	27%	25%	23%	25%	25%	24%	24%	460
山形	5%	5%	5%	5%	5%	4%	3%	4%	3%	5%	5%	5%	82
総量	**154**	**144**	**161**	**146**	**136**	**142**	**132**	**110**	**138**	**170**	**201**	**178**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産の取扱いは見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	65%	70%	76%	78%	76%	81%	81%	82%	78%	79%	75%	71%	2,110
岐阜	19%	15%	11%	8%	5%	4%	3%	4%	4%	3%	12%	17%	267
秋田	5%	5%	2%	1%	2%	2%	1%	1%	6%	6%	5%	5%	95
長崎	1%	2%	3%	3%	3%	3%	4%	3%	3%	2%	1%	1%	62
総量	**253**	**238**	**248**	**226**	**187**	**190**	**201**	**183**	**192**	**232**	**302**	**342**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	29%	32%	29%	30%	30%	35%	32%	35%	31%	32%	37%	41%	594
三重	19%	14%	9%	12%	9%	10%	6%	11%	23%	22%	20%	21%	270
長崎	15%	15%	14%	13%	16%	14%	16%	16%	13%	12%	10%	7%	237
和歌山	9%	9%	15%	12%	13%	13%	14%	12%	10%	12%	10%	11%	210
広島	8%	8%	7%	5%	6%	9%	7%	7%	8%	7%	6%	4%	122
総量	**151**	**141**	**157**	**157**	**147**	**132**	**134**	**127**	**138**	**155**	**169**	**192**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	37%	33%	33%	33%	32%	33%	35%	39%	39%	43%	38%	38%	947
岐阜	16%	14%	14%	12%	15%	16%	13%	11%	9%	9%	12%	16%	346
広島	12%	10%	10%	12%	14%	13%	15%	15%	15%	13%	11%	12%	326
北海道	6%	7%	7%	13%	12%	10%	10%	10%	11%	9%	9%	7%	239
愛知	11%	15%	15%	8%	3%	3%	3%	3%	3%	5%	12%	8%	202
総量	**238**	**216**	**237**	**219**	**188**	**173**	**189**	**179**	**181**	**229**	**272**	**297**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	472
栃木	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
大分	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
京都	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**46**	**40**	**35**	**39**	**36**	**33**	**35**	**36**	**39**	**41**	**42**	**50**	

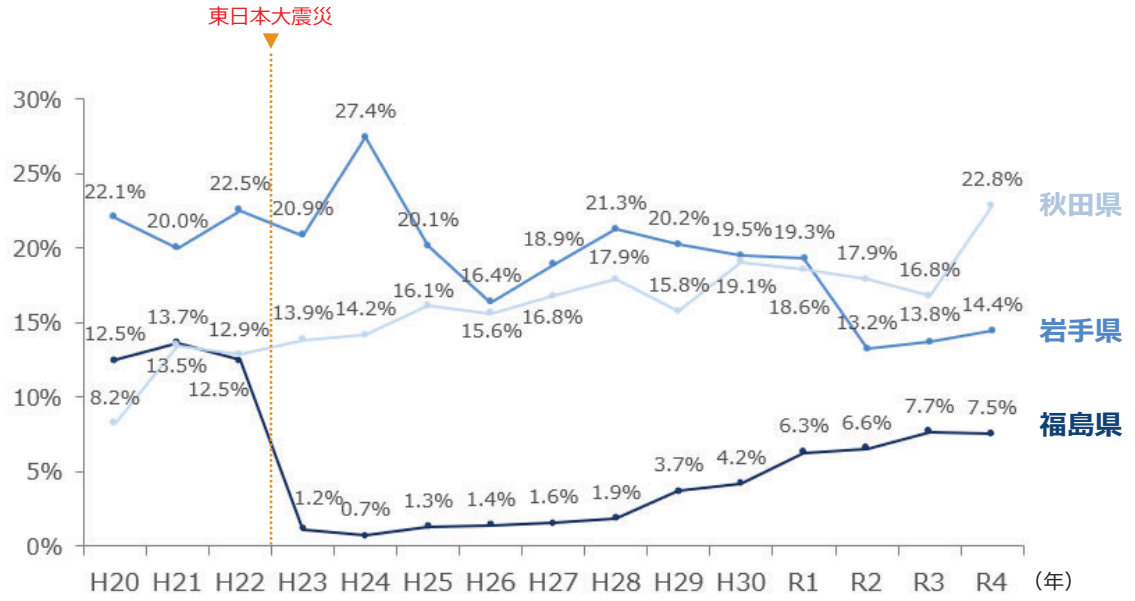
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

東京都中央卸売市場における福島県産しいたけのシェアの推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産しいたけは、震災後の平成23年にシェアが大きく縮小した。以降は少しずつ回復傾向にあり、令和4年は7.5%まで回復した。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

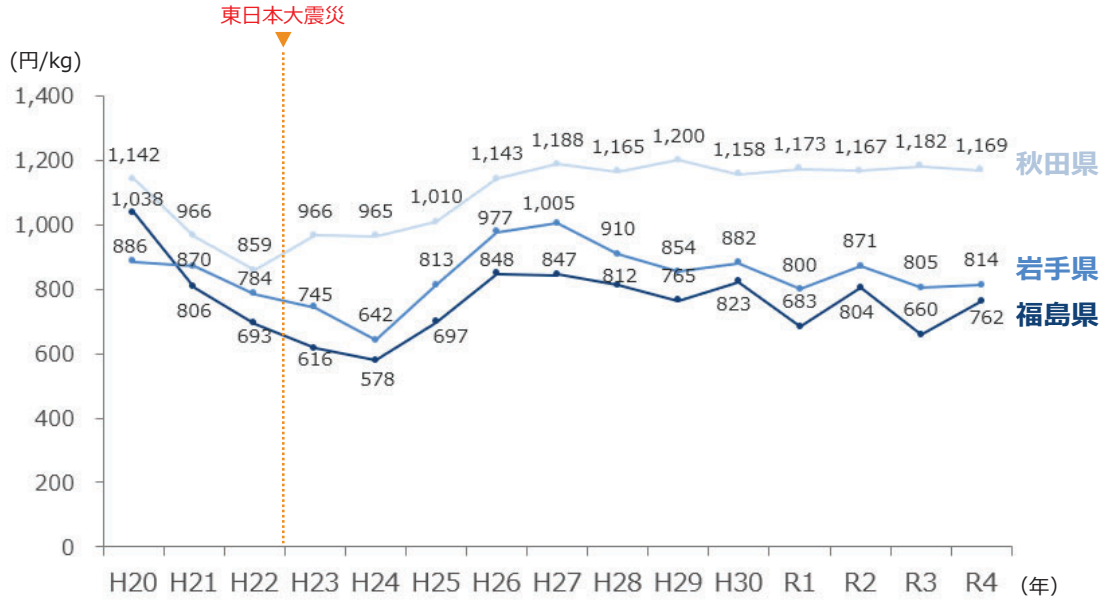


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産しいたけの単価の推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産しいたけの平均単価は、岩手県産、秋田県産を下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)

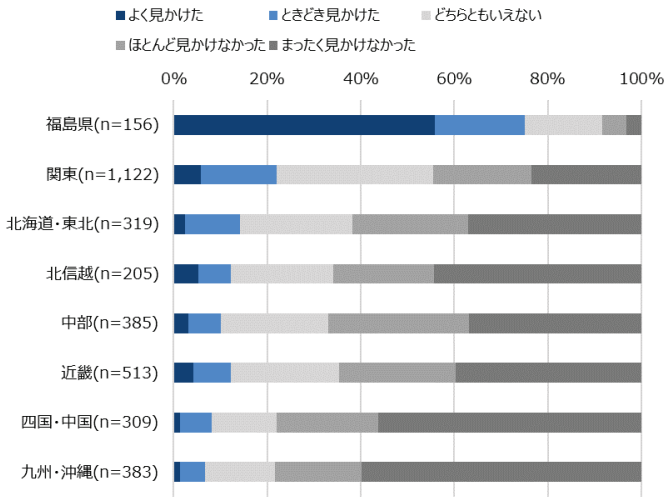


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産しいたけを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

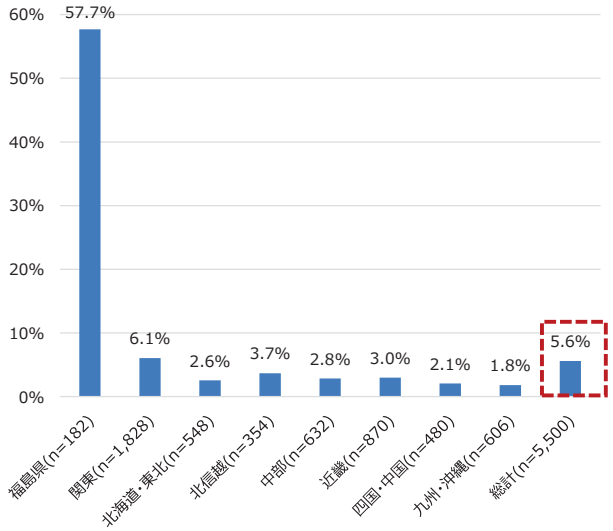
福島県産しいたけをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産しいたけを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.6%であった。

福島県産しいたけを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産しいたけの購買経験率

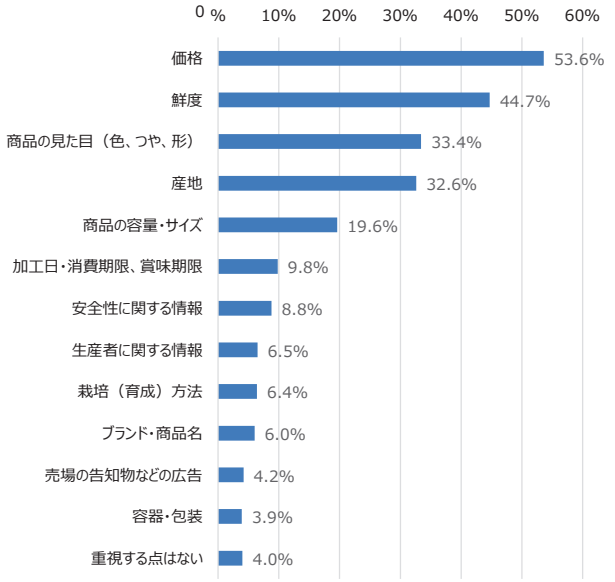


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

しいたけ購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

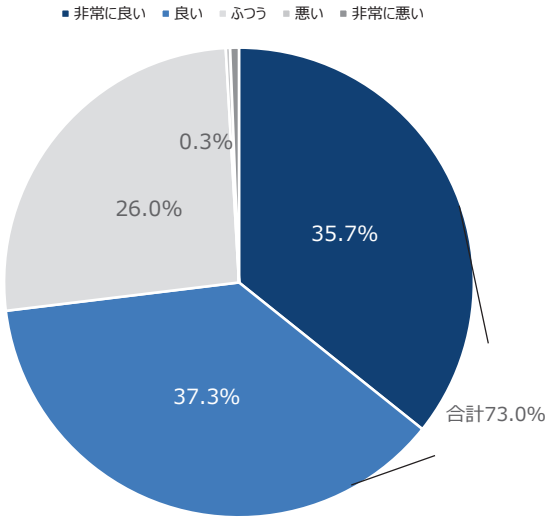
福島県産に限らず、しいたけ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産しいたけの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が73.0%であった。

しいたけ購買時の重視点（n=3,699、複数回答）



※しいたけ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上しいたけを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産しいたけ購買者の評価（n=308）

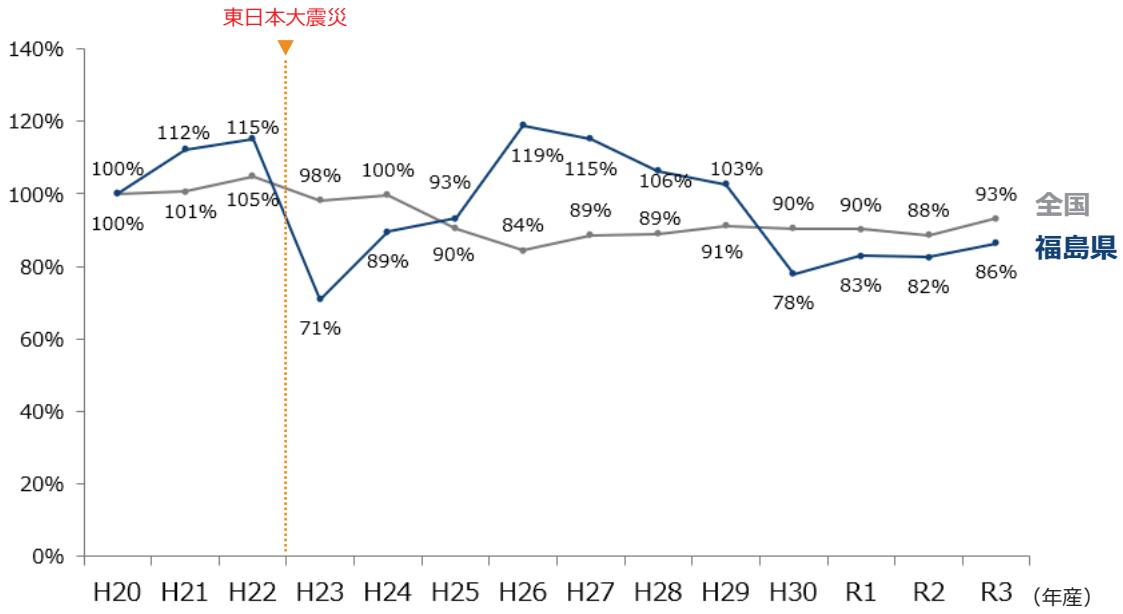


※福島県産しいたけを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移

全国的になめこの生産量が減少している中、福島県産なめこの生産量は震災後回復してきていたが、平成30年産以降は全国平均を下回っている。

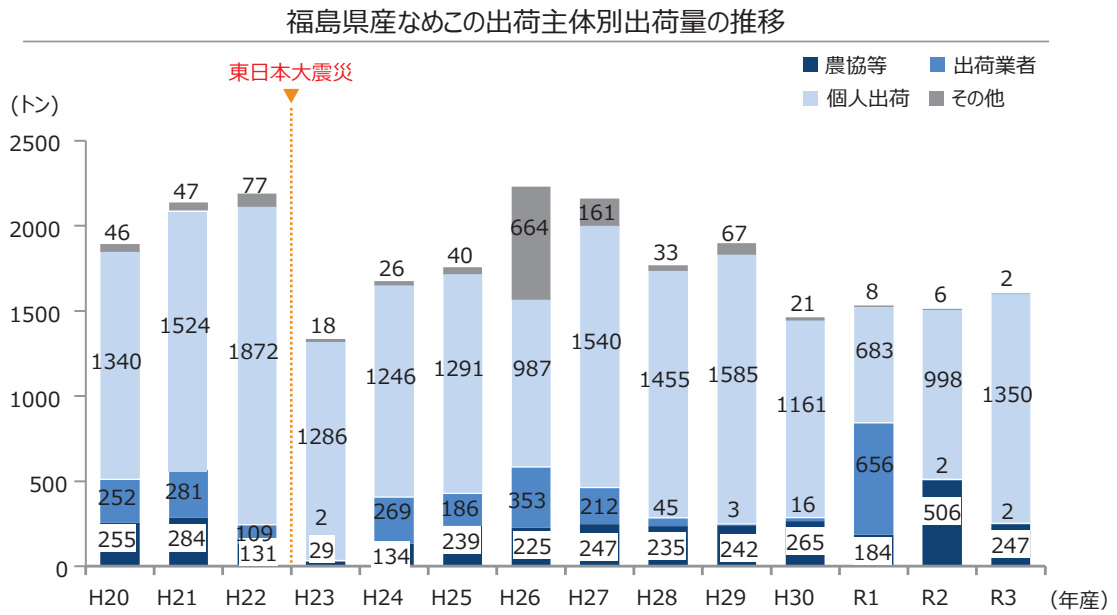
全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)



データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

福島県産なめこの出荷主体別出荷量の推移

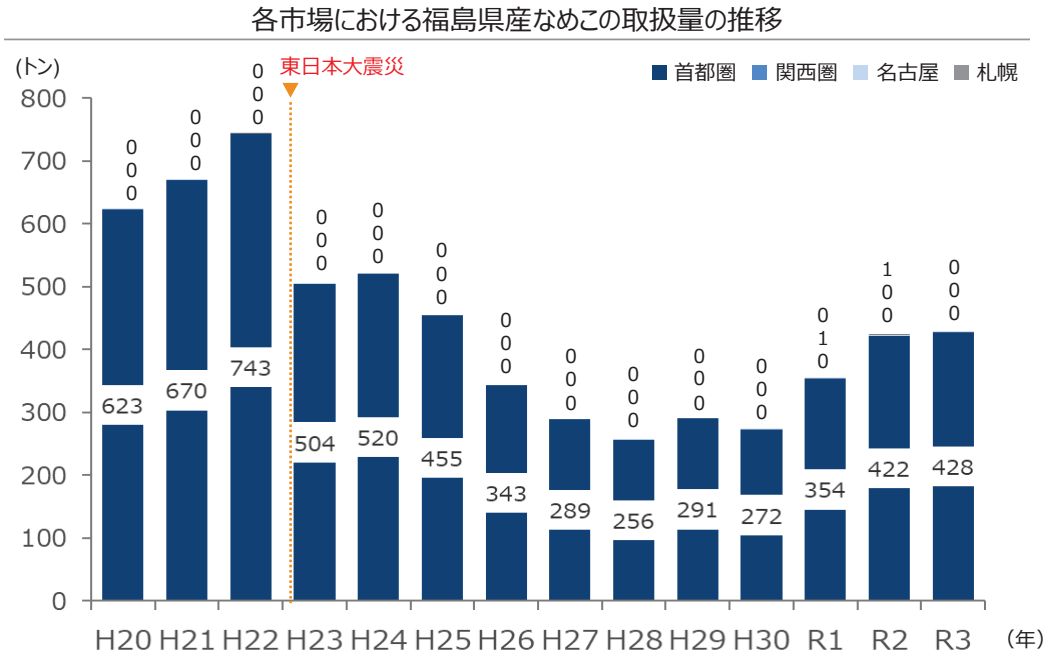
福島県産なめこの出荷量は震災直後に減少し、平成26年産・平成27年産では一時的に震災前の水準に戻ったが、平成28年産以降は再び減少した。令和元年には出荷業者の割合が大きかったが、令和2年産以降は再び個人出荷の割合が増えた。



データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

各市場における福島県産なめこの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産なめこは、令和元年の名古屋・令和2年の札幌を除き首都圏のみで取り扱われている。震災以降取扱量は減少傾向にあったものの、令和元年以降は増加している。



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるなめこの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では1月から6月においてシェア３位であった。横浜市中央卸売市場では年間を通して福島県産なめこの取扱いがあった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	14%	17%	15%	15%	15%	14%	12%	10%	9%	9%	9%	9%	376
山形	28%	29%	27%	28%	28%	29%	28%	31%	30%	29%	30%	30%	887
長野	27%	24%	27%	27%	25%	25%	24%	27%	31%	30%	31%	31%	840
群馬	11%	12%	11%	12%	12%	12%	9%	9%	12%	13%	11%	11%	345
新潟	10%	10%	12%	10%	11%	12%	13%	11%	12%	9%	10%	11%	339
総量	**245**	**237**	**274**	**264**	**243**	**253**	**287**	**240**	**227**	**268**	**269**	**274**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	5%	5%	6%	6%	6%	6%	5%	5%	5%	6%	5%	6%	52
長野	47%	46%	51%	51%	52%	48%	43%	49%	50%	50%	48%	47%	461
山形	31%	25%	24%	24%	26%	23%	19%	24%	21%	24%	22%	22%	225
群馬	11%	11%	12%	13%	11%	12%	11%	10%	12%	14%	13%	14%	115
新潟	4%	10%	5%	4%	3%	10%	20%	8%	10%	3%	9%	10%	77
総量	**85**	**82**	**82**	**84**	**76**	**78**	**87**	**67**	**82**	**73**	**82**	**74**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるなめこの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産なめこの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	75%	77%	67%	68%	47%	48%	50%	54%	56%	56%	56%	53%	229
長野	15%	12%	23%	22%	43%	44%	41%	37%	34%	36%	35%	36%	125
和歌山	9%	10%	9%	10%	9%	8%	8%	9%	10%	8%	8%	10%	35
山形	1%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2
総量	**29**	**29**	**31**	**31**	**32**	**32**	**36**	**34**	**31**	**37**	**37**	**34**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	94%	84%	94%	92%	94%	94%	89%	95%	92%	93%	94%	95%	119
和歌山	6%	16%	6%	8%	6%	6%	11%	5%	8%	7%	5%	5%	10
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**9**	**8**	**10**	**11**	**11**	**10**	**14**	**11**	**9**	**11**	**12**	**12**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるなめこの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して福島県産なめこの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	66%	64%	65%	58%	59%	63%	67%	72%	68%	60%	69%	70%	441
長野	33%	35%	34%	40%	40%	36%	31%	27%	31%	38%	30%	29%	229
新潟	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	1%	1%	1%	6
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
愛知	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**52**	**53**	**57**	**55**	**56**	**60**	**55**	**49**	**59**	**65**	**59**	**58**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	99%	99%	100%	100%	99%	99%	99%	100%	99%	99%	270
山形	0%	0%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	0%	1%	1%	1
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0
群馬	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**25**	**25**	**24**	**25**	**23**	**21**	**21**	**20**	**22**	**22**	**22**	**21**	

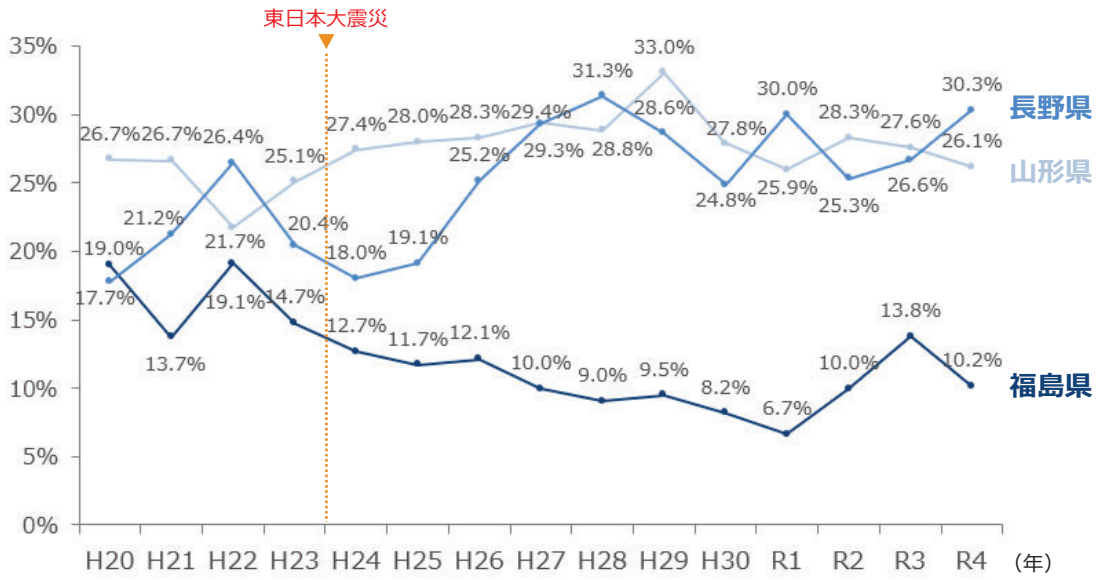
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン(札幌のみキログラム)。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

東京都中央卸売市場における福島県産なめこのシェアの推移

東京都中央卸売市場の1月の福島県産なめこは、令和元年までシェアが縮小傾向にあったが、近年は10%前後で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(1月)

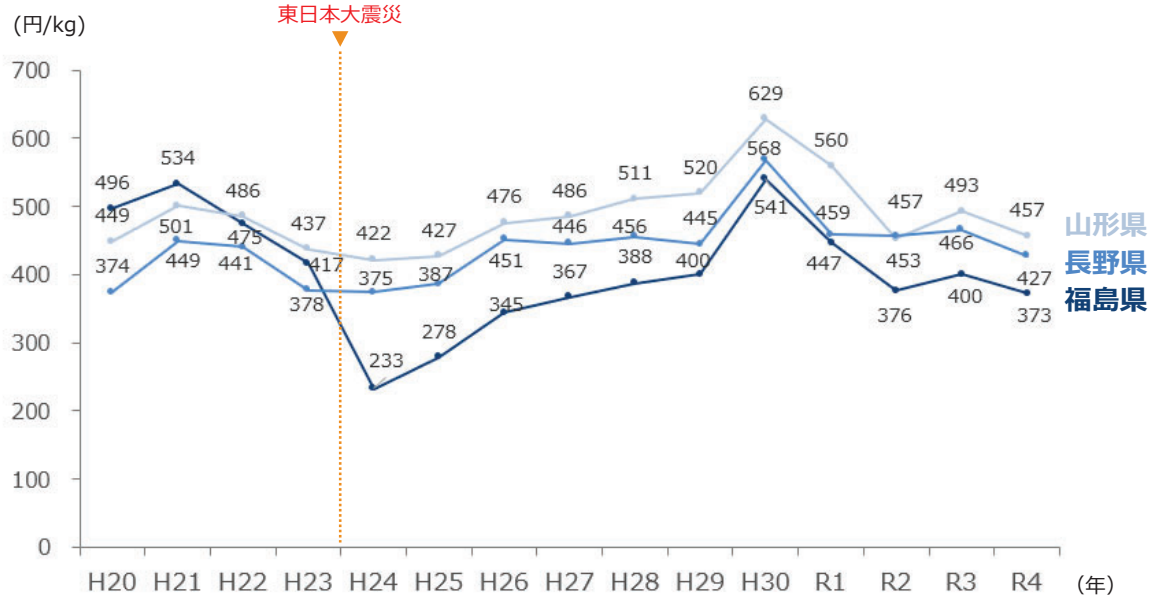


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産なめこの単価の推移

東京都中央卸売市場の1月の福島県産なめこの平均単価は、震災後大きく下落し、山形県産や長野県産を下回った。平成25年から平成30年にかけて単価は上昇したものの、令和元年以降は下落傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(1月)

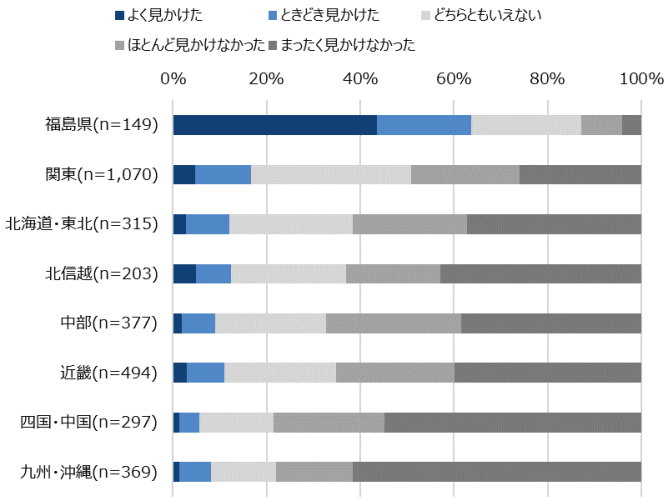


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産なめこを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

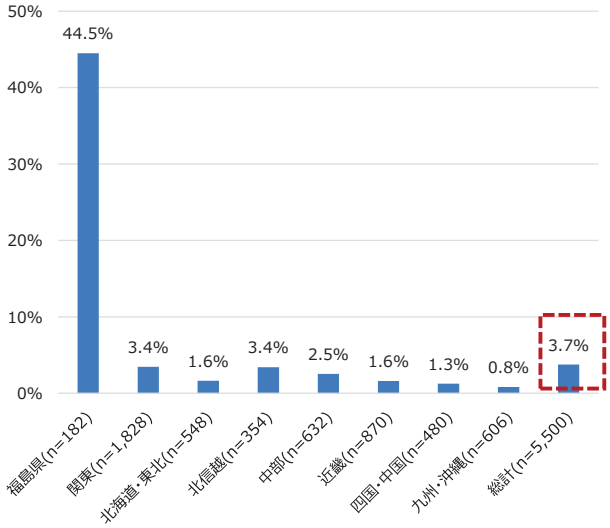
福島県産なめこをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産なめこを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.7%であった。

福島県産なめこを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産なめこを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産なめこの購買経験率

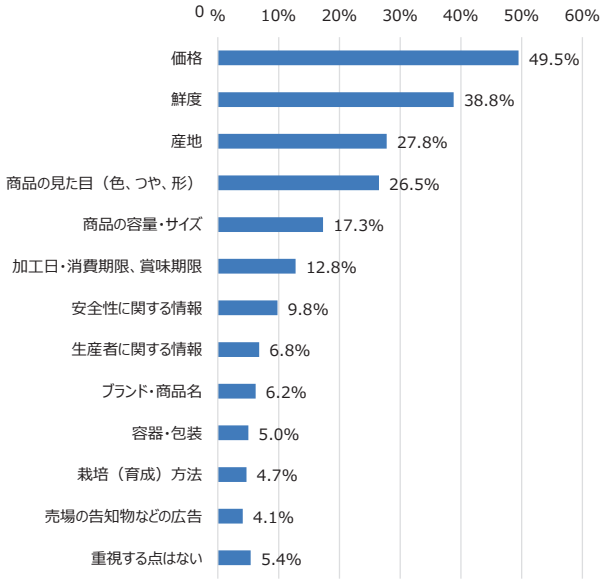


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

なめこ購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

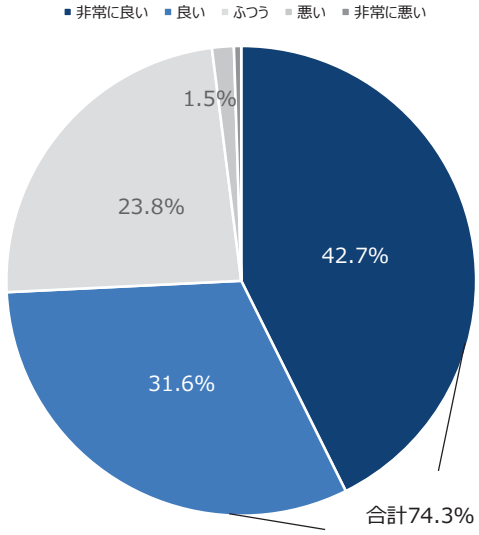
福島県産に限らず、なめこ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産なめこの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.3%であった。

なめこ購買時の重視点（n=2,742、複数回答）



※なめこ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上なめこを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産なめこ購買者の評価（n=206）

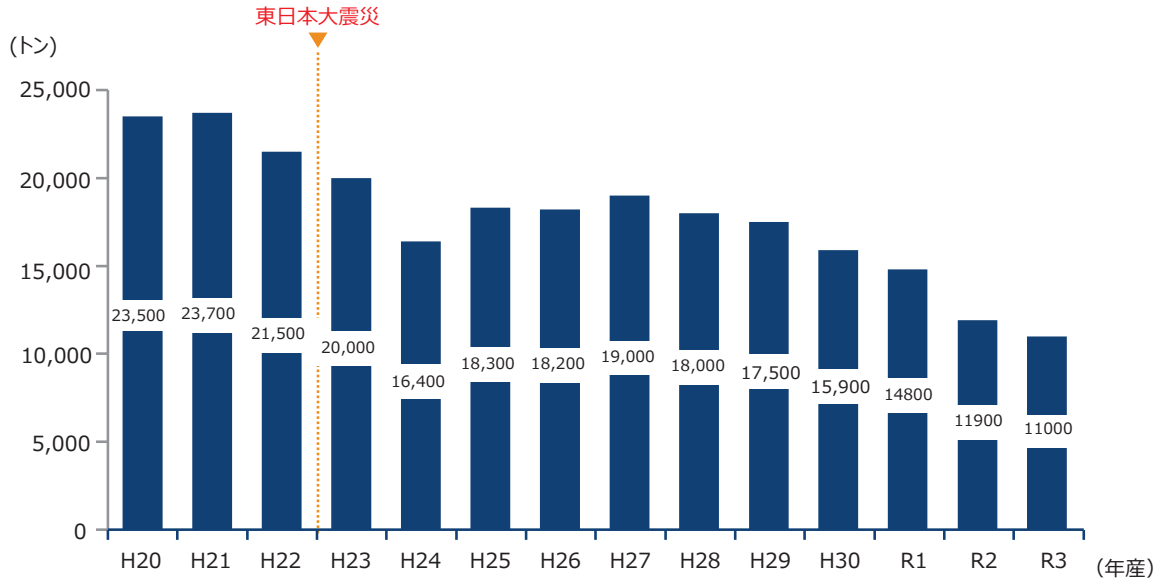


※福島県産なめこを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産日本梨の出荷量の推移

福島県産日本梨の出荷量は、平成22年産から平成24年産にかけて大きく減少した後、平成27年産まで増加していたが、それ以降再び減少傾向である。令和2年産は天候不順による着果不良や病害、令和3年産は霜害の影響もあり、特に出荷量が少なくなった。

福島県産日本梨の出荷量の推移

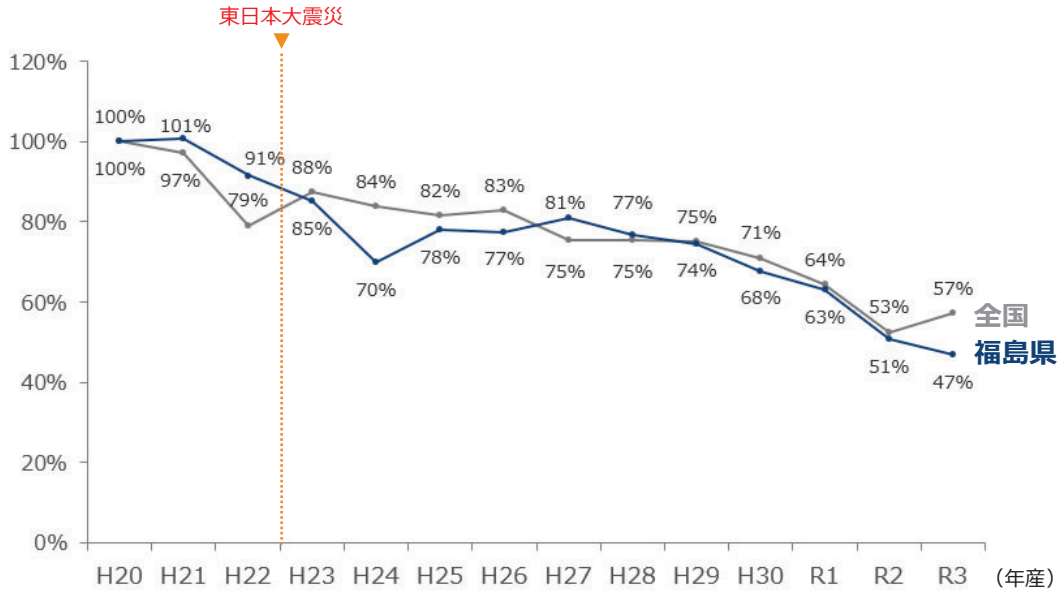


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移

全国の日本梨の出荷量については、平成24年産以降減少傾向にある。福島県産日本梨も震災前から減少しており、令和3年産の出荷量は、平成20年産の約47%であった。

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

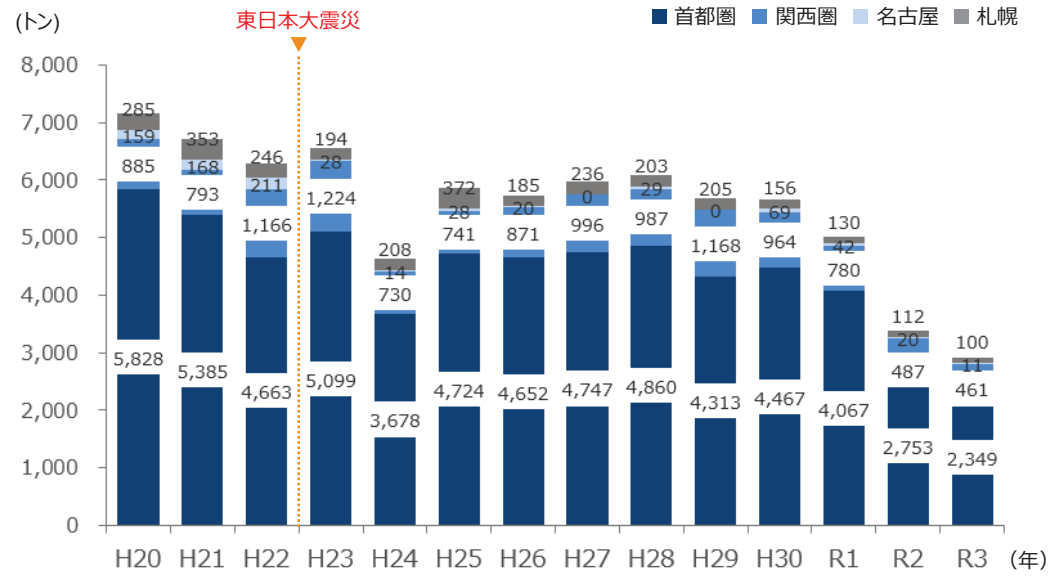


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産梨の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産梨の取扱量は、震災前から継続して首都圏での取扱いが最も多い。また、震災後の取扱量は、平成24年以外は震災前に近い水準で推移していたが、令和2年と令和3年は気象条件や病害の影響もあり少なくなっている。

各市場における福島県産梨の取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における梨の産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場においては、9月と10月にシェア3位と2位であった。1月から3月にはシェア1位であるが、量はわずかである。横浜市中央卸売市場においては9月にシェアが2位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	98%	50%	82%	-	-	0%	0%	9%	17%	15%	5%	4%	2,107
栃木	0%	0%	0%	-	-	19%	1%	23%	32%	41%	45%	48%	4,827
茨城	0%	0%	0%	-	-	0%	19%	25%	18%	8%	3%	2%	3,419
千葉	0%	0%	0%	-	-	0%	18%	26%	15%	6%	3%	1%	3,228
長野	0%	0%	0%	-	-	0%	0%	3%	8%	7%	2%	0%	858
総量	**18**	**3**	**3**	**0**	**0**	**16**	**1,590**	**6,626**	**6,833**	**2,041**	**376**	**64**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	-	-	0%	8%	15%	11%	4%	0%	242
茨城	-	-	-	-	-	-	34%	57%	46%	30%	0%	0%	1,062
栃木	-	-	-	-	-	-	0%	14%	12%	14%	42%	0%	285
千葉	-	-	-	-	-	-	3%	10%	8%	0%	0%	0%	170
新潟	-	-	-	-	-	-	0%	4%	5%	16%	44%	0%	141
総量	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**169**	**906**	**906**	**266**	**35**	**16**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場における梨の産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場においては、10月に福島県産梨のシェアは２位であった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産梨の取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	98%	-	0%	-	-	0%	0%	6%	17%	18%	12%	0%	460
徳島	0%	-	0%	-	-	0%	28%	42%	4%	0%	0%	0%	1,025
鳥取	0%	-	0%	-	-	0%	0%	17%	25%	1%	18%	9%	741
長野	0%	-	0%	-	-	0%	0%	5%	24%	12%	0%	0%	526
大分	0%	-	0%	-	-	0%	9%	7%	5%	14%	64%	58%	326
総量	**8**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**383**	**2,032**	**1,531**	**437**	**11**	**4**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	-	-	-	-	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
長野	0%	-	-	-	-	0%	0%	13%	41%	28%	0%	0%	234
鳥取	39%	-	-	-	-	0%	2%	22%	20%	7%	32%	63%	199
徳島	0%	-	-	-	-	0%	45%	40%	2%	0%	0%	0%	179
京都	0%	-	-	-	-	0%	0%	3%	17%	48%	58%	11%	150
富山	0%	-	-	-	-	0%	0%	13%	12%	15%	0%	0%	111
総量	**6**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**36**	**384**	**398**	**78**	**49**	**18**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場における梨の産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では福島県産梨の取扱いはほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、８月～９月に主力産地の一つとなっており、また、取扱量は少ないものの12月～２月のシェアは高かった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	-	-	0%	0%	0%	0%	1%	0%	14%	11
長野	100%	29%	0%	-	-	0%	0%	55%	71%	49%	29%	4%	1,756
佐賀	0%	0%	0%	-	-	0%	91%	11%	0%	0%	0%	0%	533
愛知	0%	0%	0%	-	-	0%	9%	15%	10%	8%	17%	50%	391
新潟	0%	57%	100%	-	-	0%	0%	9%	8%	22%	34%	0%	320
富山	0%	0%	0%	-	-	0%	0%	7%	3%	2%	0%	0%	135
総量	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**453**	**1,132**	**1,320**	**362**	**84**	**14**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	90%	100%	-	-	-	0%	0%	12%	13%	4%	0%	89%	100
新潟	0%	0%	-	-	-	0%	0%	44%	52%	75%	97%	0%	441
茨城	0%	0%	-	-	-	0%	38%	35%	25%	8%	2%	0%	177
福島	90%	100%	-	-	-	0%	0%	12%	13%	4%	0%	89%	100
長野	0%	0%	-	-	-	0%	0%	2%	5%	3%	0%	0%	29
栃木	0%	0%	-	-	-	0%	0%	2%	3%	2%	1%	0%	19
総量	**11**	**5**	**0**	**0**	**0**	**0**	**14**	**218**	**326**	**169**	**49**	**11**	

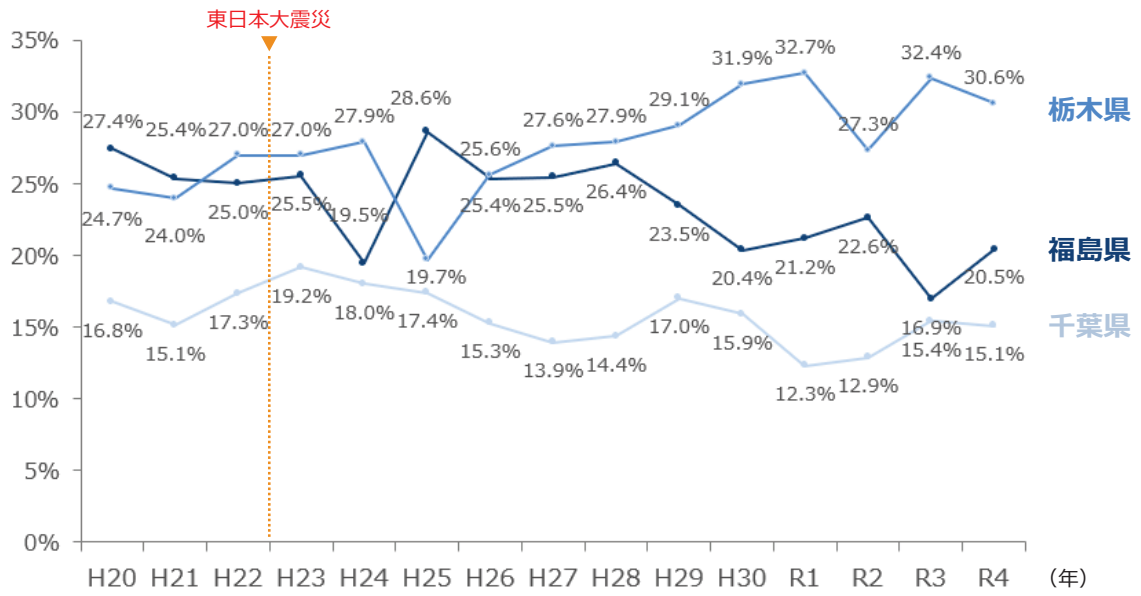
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産梨のシェアは、平成25年に震災前を上回るシェアとなったものの、その後は縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

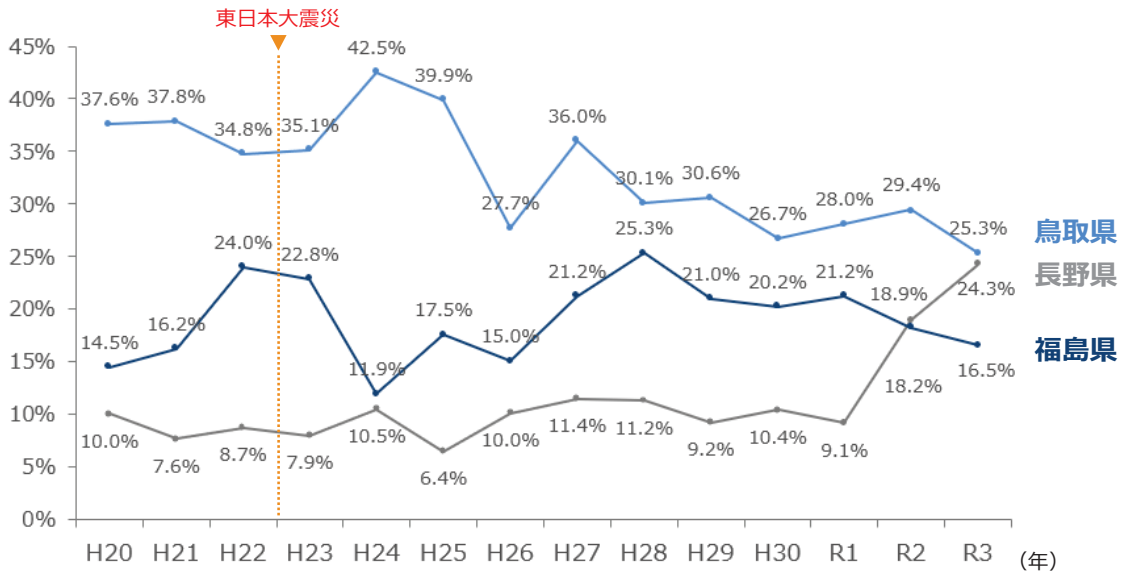


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

大阪市中央卸売市場の9月の福島県産梨は、平成24年にシェアが大きく縮小したが、以降は回復傾向にあり、震災前に近い水準を維持していた。しかし、令和２年以降は縮小傾向にある。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

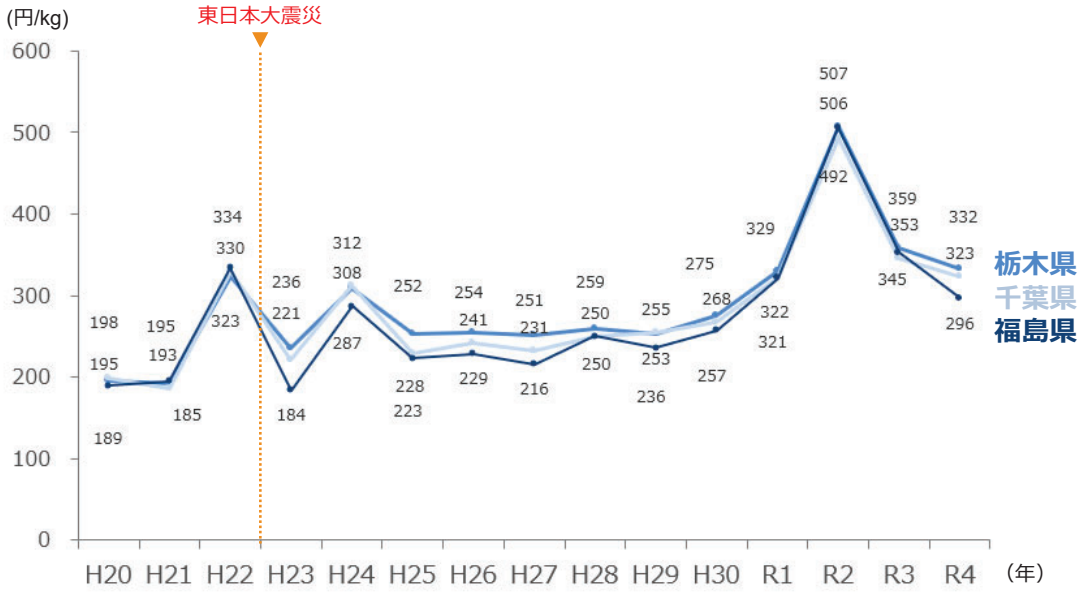


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

東京都中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産梨の平均単価は、震災後、千葉県産や栃木県産よりも低い水準で推移していたものの、令和元年以降はほぼ同水準となっている。ただし、令和4年は再び千葉県産や栃木県産よりも低い水準となった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

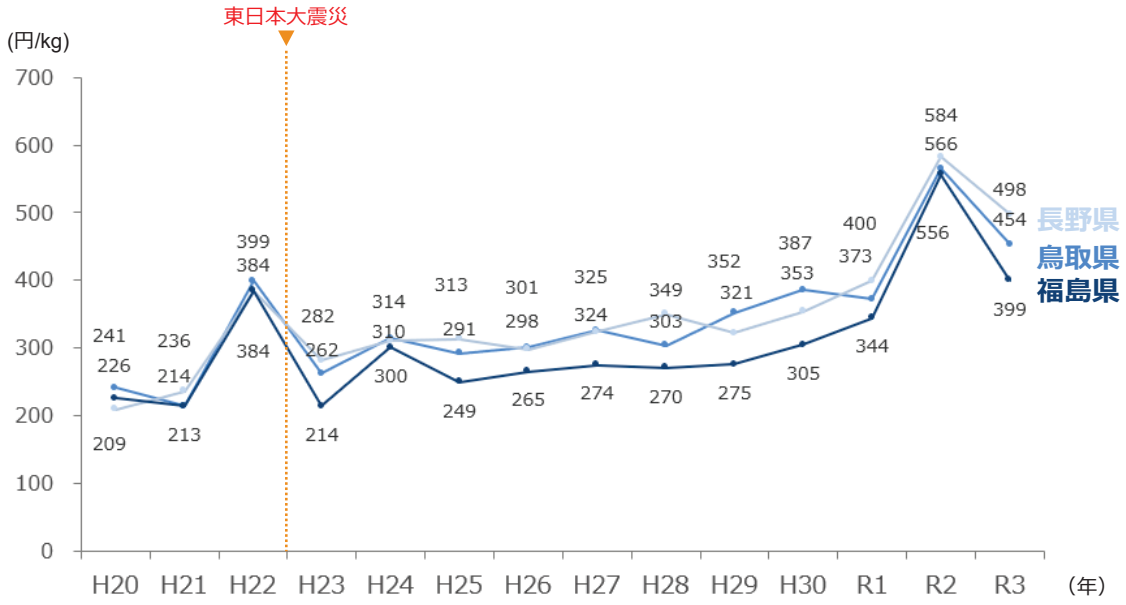


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

大阪市中央卸売市場の9月の福島県産梨の平均単価は、震災後、鳥取県産や長野県産との差が拡大していたが、令和2年はその差が縮小した。令和3年はその差が再び拡大した。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

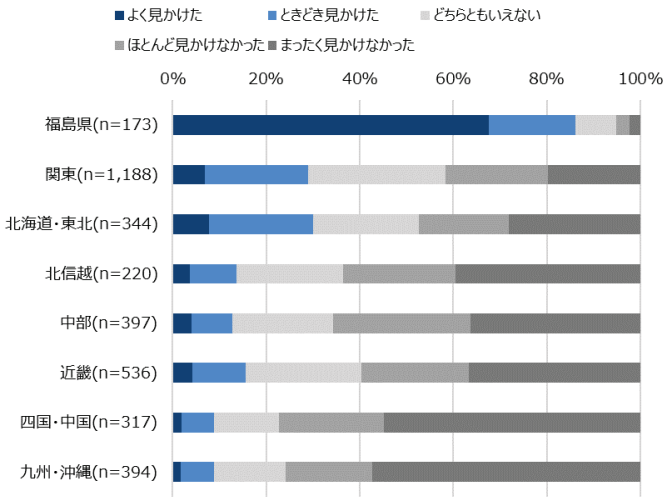


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

福島県産梨を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

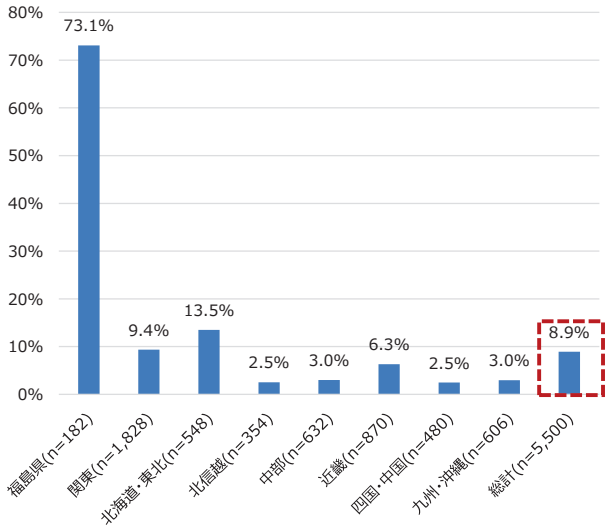
福島県産梨をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産梨を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では8.9%であった。

福島県産梨を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産梨の購買経験率

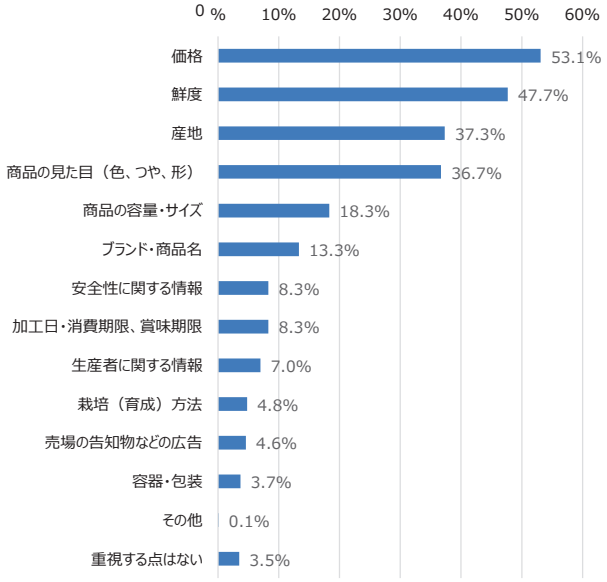


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

梨購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

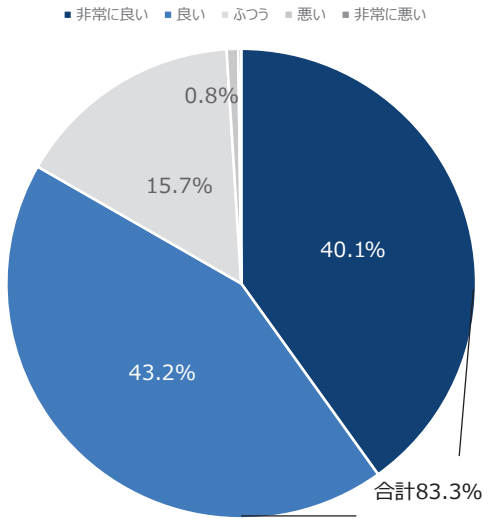
福島県産に限らず、梨購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産梨の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が83.3%であった。

梨購買時の重視点（n=3,259、複数回答）



※梨購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上梨を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産梨購買者の評価（n=491）

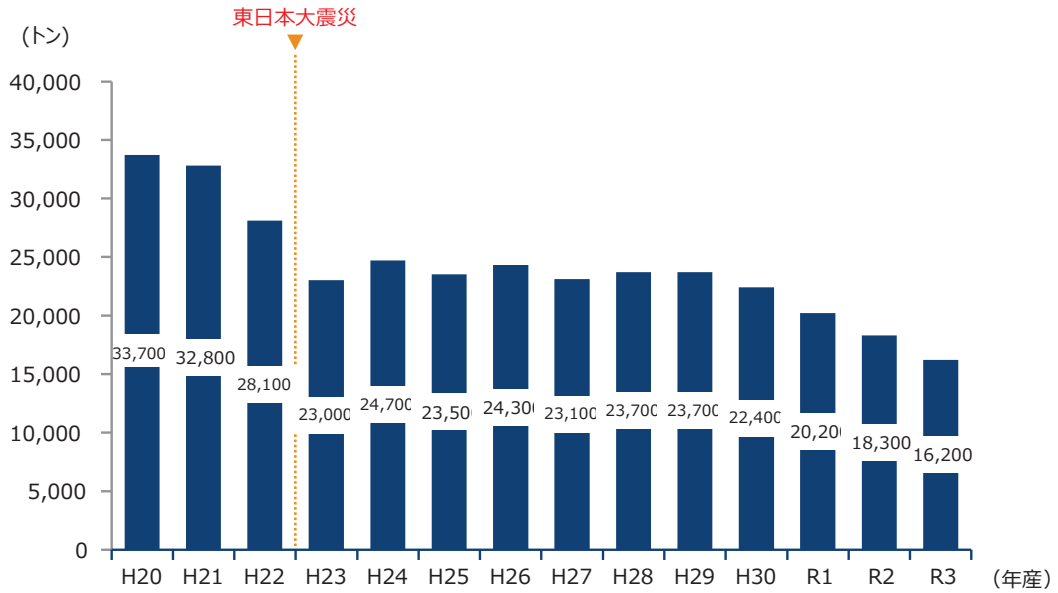


※福島県梨を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産に減少し、その後はおおむね横ばいで推移していたが、平成30年産以降は減少傾向にある。令和3年産は霜害の影響もあり、特に少ない出荷量となった。

福島県産りんごの出荷量の推移

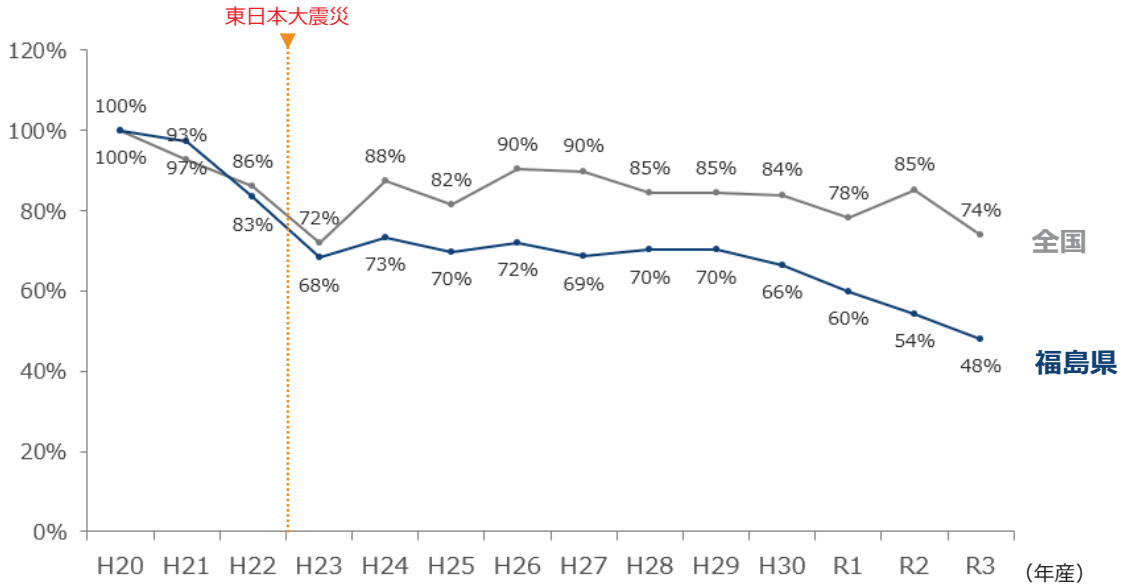


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産まで、全国のりんごと同様に減少していた。全国の出荷量が平成26年産以降横ばいもしくは微減で推移する一方で、福島県産りんごは平成30年産以降減少傾向にある。

全国・福島県産りんごの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

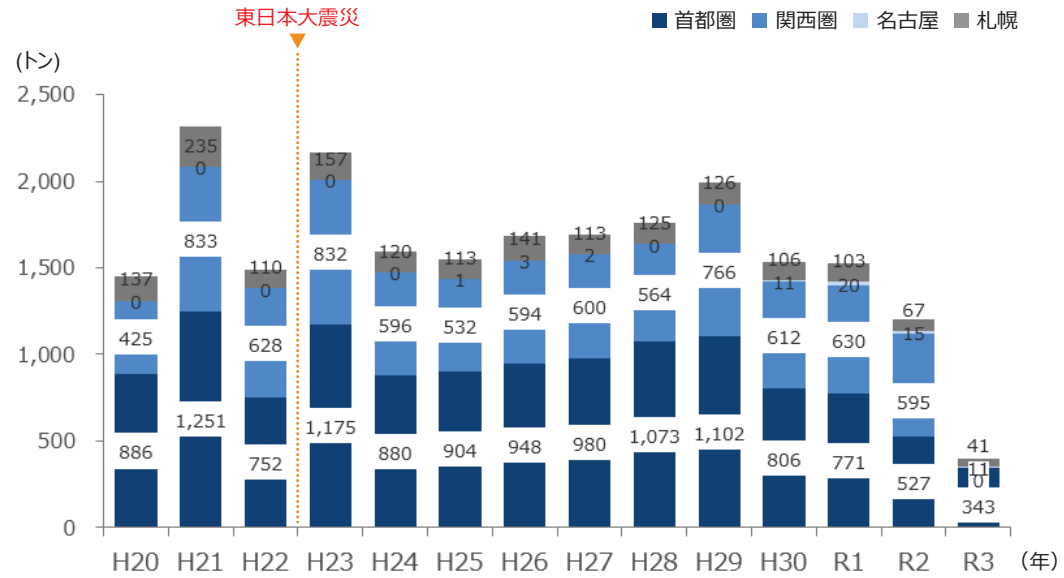


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産りんごは、主に首都圏、関西圏で取り扱われているが、首都圏の取扱量は、平成30年以降減少傾向にあり、令和3年は関西圏の取扱いは見られなかった。

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるりんごの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、8月と10月～12月に福島県産りんごのシェアが全体の１%から３%程度を占めていた。横浜市中央卸売市場では、福島県産りんごの取扱いはほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	3%	1%	341
青森	90%	96%	98%	99%	99%	99%	97%	52%	71%	61%	55%	72%	51,264
長野	2%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	31%	11%	20%	14%	5%	4,025
山形	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	10%	10%	13%	20%	10%	3,790
岩手	4%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	7%	4%	6%	10%	1,820
秋田	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	527
総量	**6,026**	**7,009**	**7,531**	**6,281**	**4,372**	**2,919**	**2,463**	**2,561**	**5,043**	**6,417**	**6,376**	**5,050**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
青森	63%	84%	99%	100%	100%	100%	99%	64%	66%	50%	39%	34%	6,851
岩手	16%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	18%	19%	24%	33%	1,103
秋田	20%	12%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	14%	13%	19%	801
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21%	10%	12%	19%	11%	590
長野	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	1%	6%	5%	3%	198
総量	**988**	**980**	**1,008**	**809**	**643**	**509**	**363**	**355**	**880**	**1,144**	**1,047**	**864**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるりんごの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産りんごの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
青森	95%	100%	100%	99%	97%	93%	92%	81%	88%	75%	82%	83%	4,946
長野	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	2%	21%	10%	6%	215
ニュージーランド	0%	0%	0%	1%	3%	7%	8%	8%	9%	2%	0%	0%	127
秋田	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	61
総量	**593**	**501**	**574**	**592**	**508**	**364**	**279**	**279**	**273**	**458**	**522**	**480**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
青森	86%	95%	100%	100%	99%	98%	97%	35%	77%	49%	59%	62%	5,517
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	61%	18%	34%	28%	16%	709
岩手	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	10%	8%	13%	244
秋田	7%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	6%	3%	8%	184
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	1%	2%	3%	4%	2%	0%	0%	0%	38
総量	**554**	**724**	**862**	**776**	**551**	**387**	**256**	**205**	**499**	**568**	**723**	**620**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるりんごの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産りんごの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、7,11,12月に福島県産りんごが市場シェア3位以内であったが、量はわずかである。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11
青森	96%	98%	99%	100%	100%	100%	96%	33%	66%	45%	46%	50%	12,702
長野	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	63%	32%	51%	49%	40%	3,198
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	4%	4%	9%	284
秋田	2%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	116
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	0%	0%	0%	0%	56
総量	**1,670**	**1,929**	**1,945**	**1,544**	**1,109**	**727**	**563**	**696**	**1,399**	**1,883**	**1,616**	**1,298**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	1%	7%	41
青森	76%	82%	91%	99%	97%	99%	97%	89%	48%	29%	47%	70%	4,114
北海道	21%	16%	9%	1%	0%	0%	0%	7%	51%	69%	49%	20%	1,222
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	1%	7%	41
秋田	3%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	31
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	3%	1%	2%	2%	0%	0%	0%	0%	30
総量	**403**	**567**	**647**	**657**	**455**	**344**	**224**	**242**	**437**	**613**	**486**	**394**	

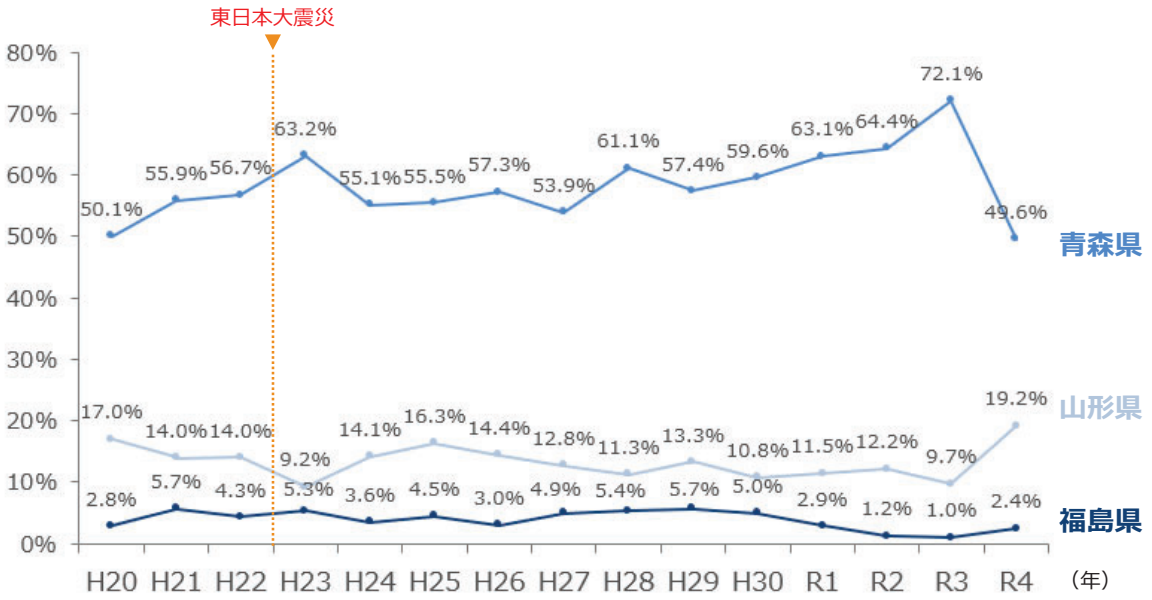
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産りんごのシェアの推移

東京都中央卸売市場の12月の福島県産りんごは、平成21年～平成30年まで５％程度のシェアを維持していたが、近年縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(12月)

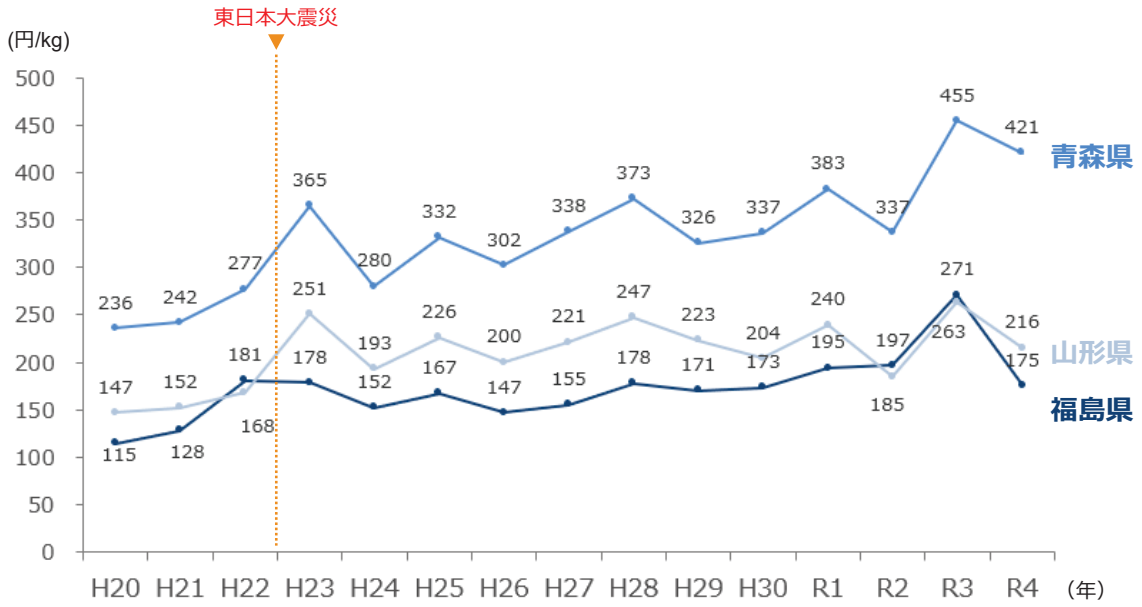


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産りんごの単価の推移

東京都中央卸売市場の12月の福島県産りんごの平均単価は、平成28年から上昇傾向にあり、170円/Kg以上の水準で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(12月)

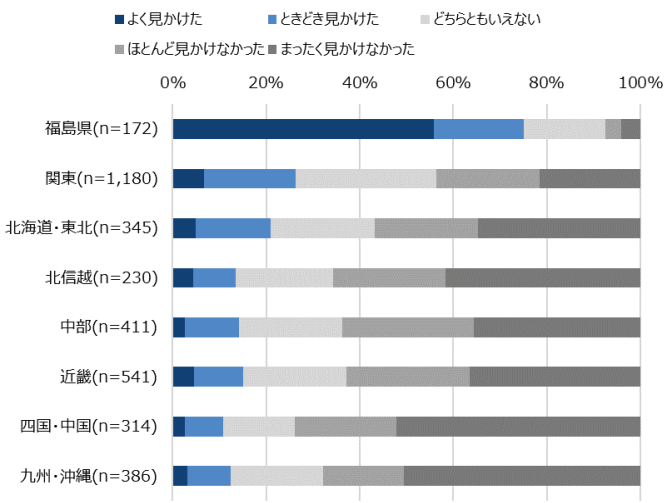


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産りんごを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

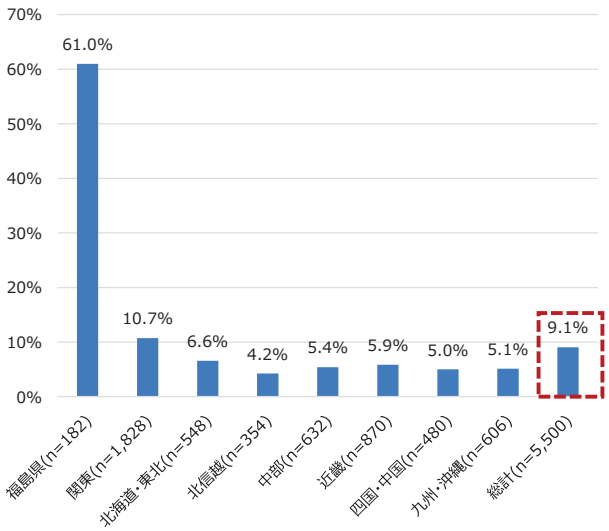
福島県産りんごをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産りんごを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では9.1%であった。

福島県産りんごを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産りんごの購買経験率

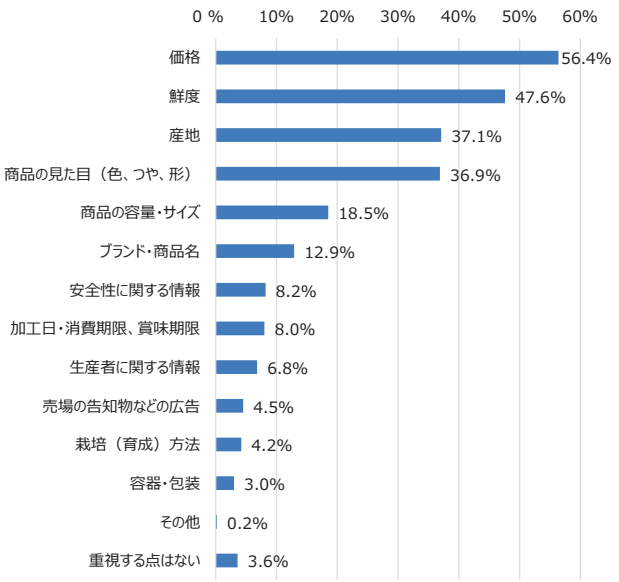


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

りんご購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

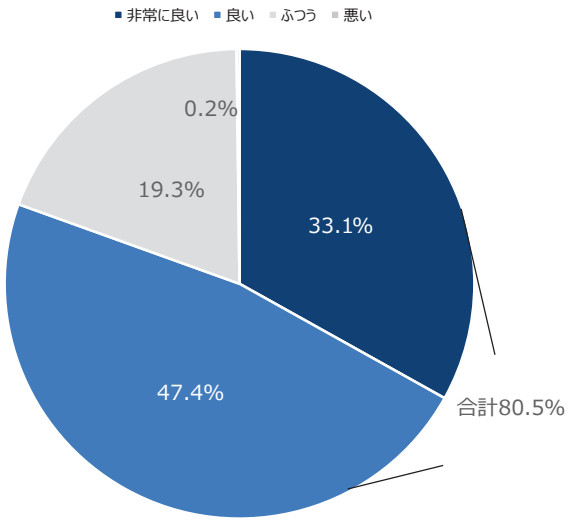
福島県産に限らず、りんご購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産りんごの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が80.5%であった。

りんご購買時の重視点（n=4,352、複数回答）



※りんご購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上りんごを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんご購買者の評価（n=498）

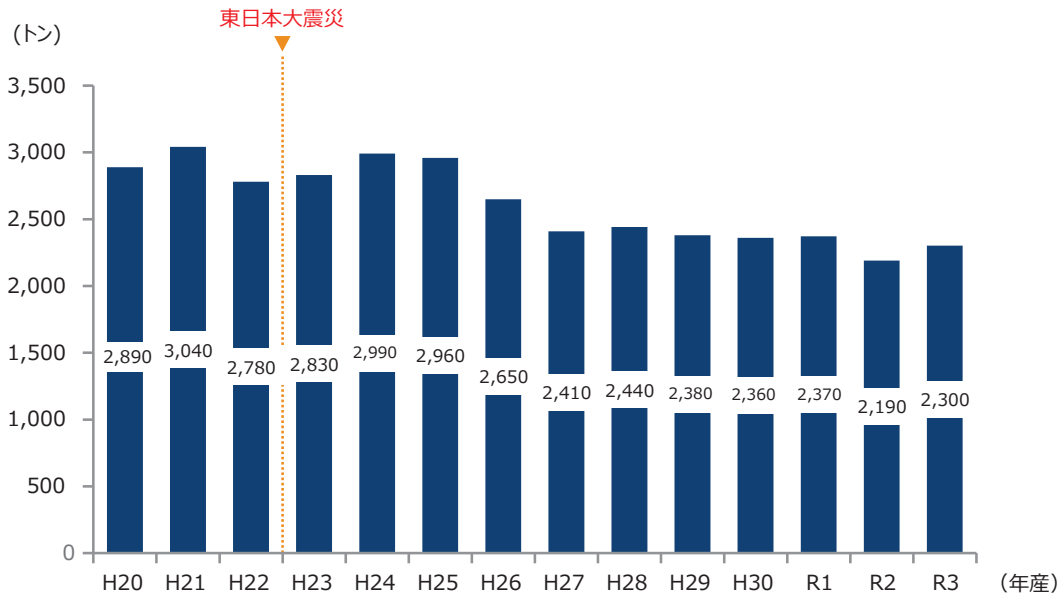


※福島県産りんごを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産から平成27年産にかけて減少した後、近年はおおむね横ばいで推移している。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

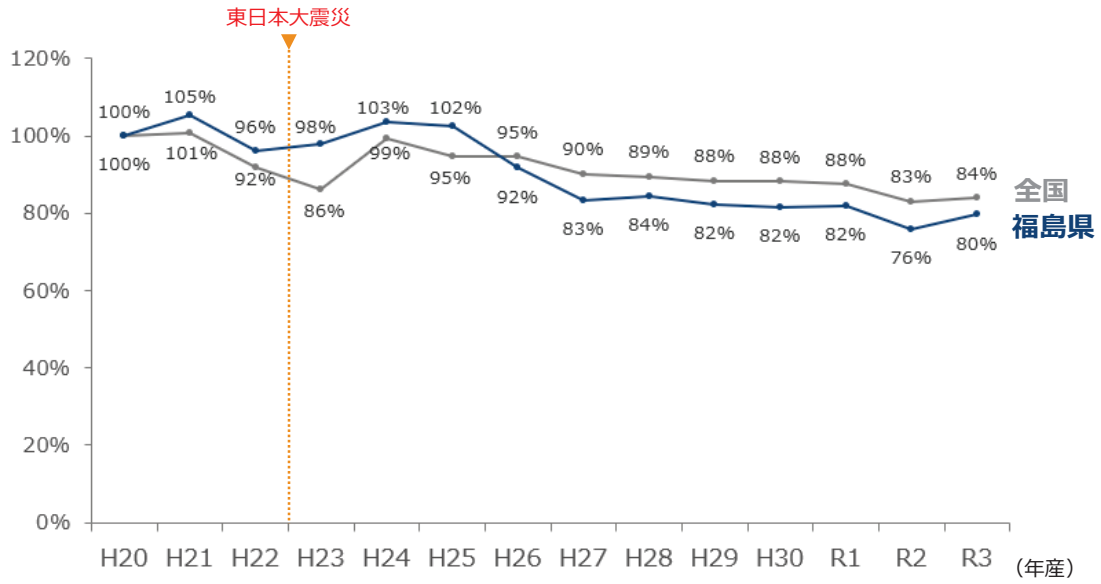


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移

全国のぶどうの出荷量は、平成24年産に増加した以降は減少傾向にある。福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産・平成27年産に大幅に減少した後、横ばいで推移していたが、令和2年産で再び減少し、令和3年産は平成20年産の80%となっている。

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

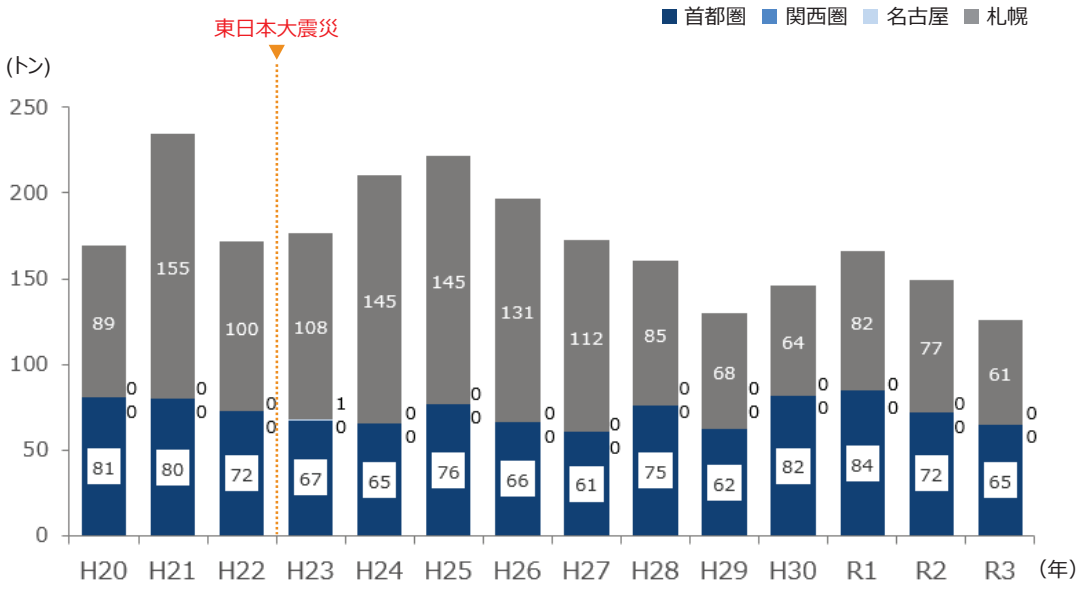


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産ぶどうは、首都圏や札幌に多く出荷されており、関西圏、名古屋においては平成23年を除き、取り扱っていない。

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産ぶどうの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	0%	62
山梨	0%	0%	0%	1%	11%	15%	26%	63%	56%	29%	5%	3%	5,730
長野	35%	5%	0%	0%	3%	4%	6%	8%	24%	47%	67%	64%	3,312
山形	2%	0%	0%	0%	0%	2%	43%	21%	8%	6%	4%	5%	1,784
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	4%	8%	5%	10%	12%	4%	3%	1,062
チリ	3%	36%	86%	87%	43%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	451
総量	**154**	**140**	**134**	**162**	**207**	**504**	**1,259**	**3,342**	**4,300**	**2,536**	**640**	**345**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3
山梨	0%	0%	0%	0%	3%	13%	31%	64%	62%	37%	4%	0%	655
長野	10%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	5%	20%	38%	51%	38%	257
山形	0%	0%	0%	0%	0%	2%	44%	25%	6%	2%	0%	3%	199
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	4%	8%	11%	9%	6%	98
他外国	2%	59%	71%	56%	47%	16%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	93
総量	**22**	**26**	**30**	**49**	**36**	**53**	**152**	**389**	**422**	**235**	**81**	**36**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産ぶどうの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
アメリカ	84%	21%	3%	0%	0%	0%	0%	58%	85%	94%	99%	100%	730
チリ	16%	79%	91%	74%	83%	84%	21%	1%	0%	0%	0%	0%	692
オーストラリア	0%	0%	6%	26%	17%	15%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	120
メキシコ	0%	0%	0%	0%	0%	1%	62%	25%	6%	0%	1%	0%	54
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	0%	0%	9
総量	**101**	**95**	**172**	**173**	**211**	**153**	**57**	**44**	**84**	**130**	**232**	**172**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	1%	14%	49%	38%	8%	0%	0%	140
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	1%	7%	6%	44%	55%	8%	4%	107
米国	65%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	12%	31%	84%	94%	89
チリ	30%	93%	65%	39%	40%	17%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	73
福岡	0%	0%	0%	0%	5%	24%	28%	16%	2%	0%	2%	0%	71
総量	**7**	**11**	**27**	**32**	**43**	**62**	**98**	**150**	**124**	**62**	**25**	**19**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ぶどうの取扱いが見られなかった。札幌市中央卸売市場では、9月の福島県産ぶどうのシェアは3位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	38%	6%	0%	0%	2%	2%	6%	8%	51%	79%	65%	61%	922
山梨	0%	0%	0%	0%	2%	6%	16%	49%	45%	16%	1%	1%	716
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	44%	32%	2%	0%	0%	0%	326
島根	0%	0%	0%	1%	37%	56%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	188
オーストラリア	0%	0%	16%	67%	39%	16%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	132
総量	**27**	**19**	**46**	**77**	**98**	**201**	**285**	**603**	**640**	**461**	**131**	**97**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	9%	11%	9%	8%	61
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	30%	55%	45%	32%	0%	286
チリ	12%	69%	92%	98%	96%	71%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	266
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	5%	25%	39%	21%	12%	0%	0%	149
長野	5%	2%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	6%	22%	19%	21%	91
青森	43%	25%	8%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	17%	30%	72
総量	**37**	**30**	**39**	**73**	**85**	**68**	**49**	**151**	**249**	**172**	**84**	**65**	

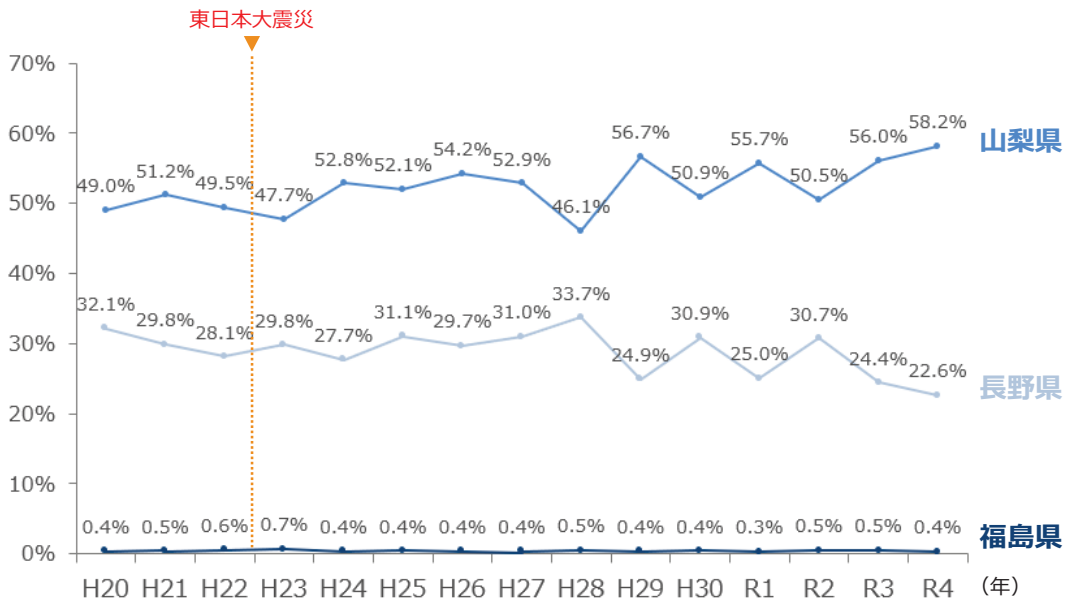
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうのシェアの推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産ぶどうは、震災前から0.5%前後で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

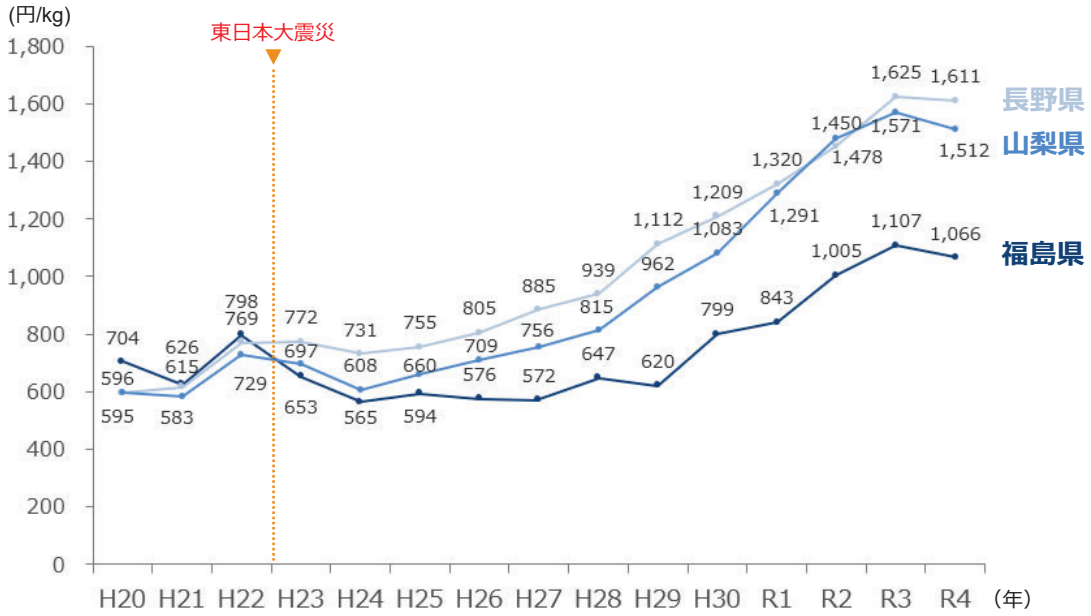


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうの単価の推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産ぶどうの平均単価は、震災直後に下がったが平成25年から平成29年にかけて横ばいから微増となり、平成30年以降は大きく上がり、震災前の水準を超えている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

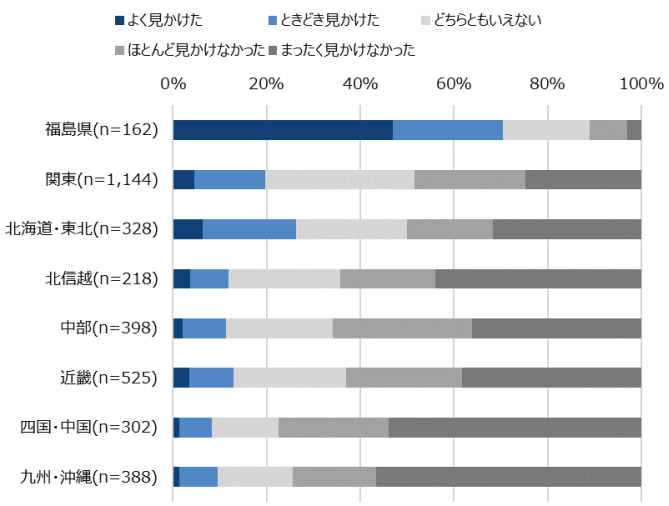


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産ぶどうを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

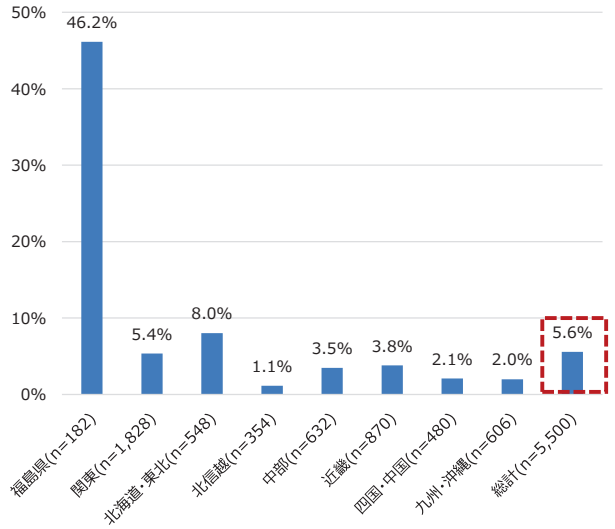
福島県産ぶどうをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ぶどうを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.6%であった。

福島県産ぶどうを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ぶどうの購買経験率

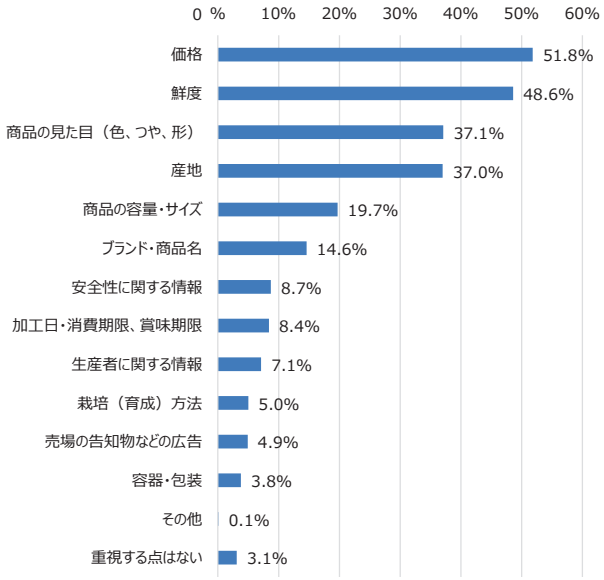


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

ぶどう購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

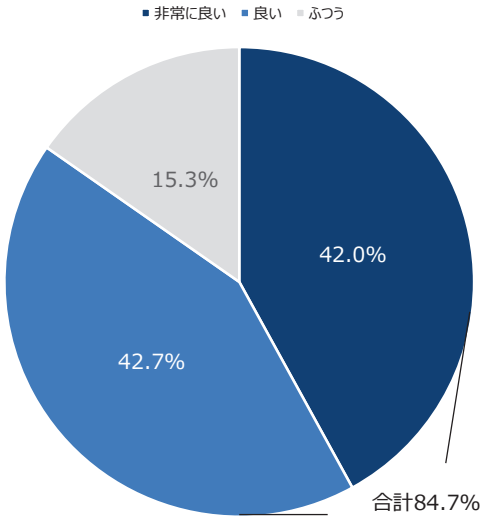
福島県産に限らず、ぶどう購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産ぶどうの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が84.7%であった。

ぶどう購買時の重視点（n=3,003、複数回答）



※ぶどう購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ぶどうを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどう購買者の評価（n=307）

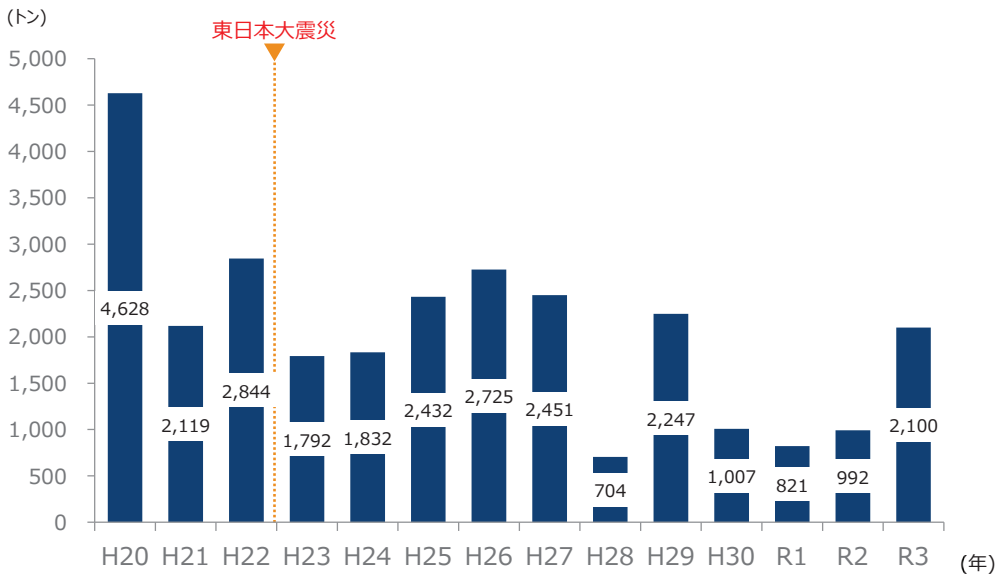


※福島県産ぶどうを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移

福島県内の漁協に所属する船によるカツオの漁獲量は、平成28年に大きく減少した後、平成29年には一時的に回復したが、平成30年には再度大きく減少した。以降は1,000トン前後を推移したが、令和3年には再び2,000トン以上となった。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移

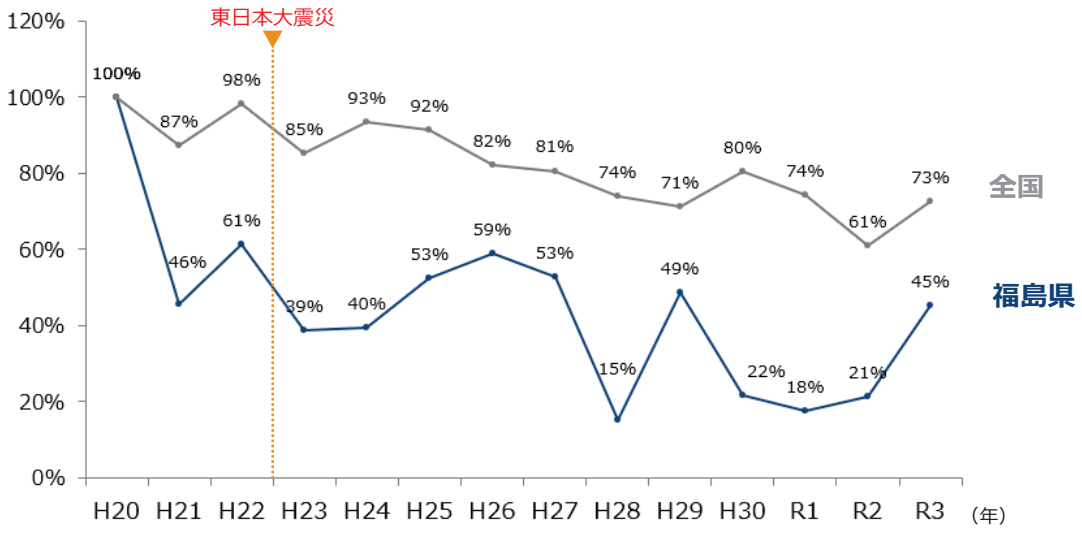


※数値は属人(福島県内の漁協に所属する船による)の漁獲量
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移

全国のカツオの漁獲量は、平成30年を除き、平成24年以降減少傾向にある。福島県内の漁協に所属する船による漁獲量は、毎年大きく変動しつつ、令和3年は平成21年と同程度となった。

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）

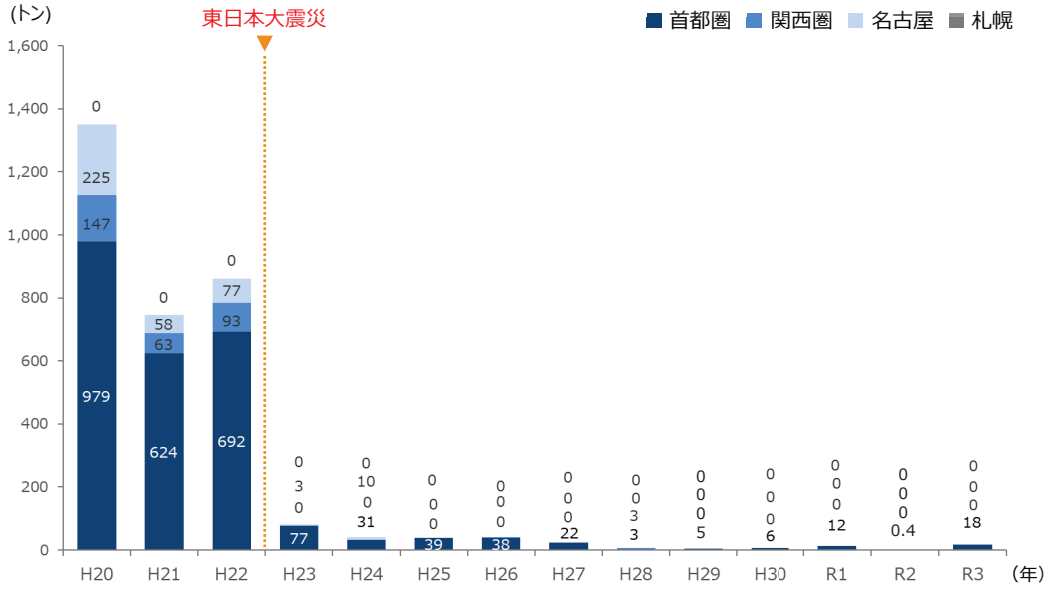


データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産カツオは、震災前には首都圏、関西圏、名古屋で取り扱われていたが、震災後は出荷が大きく減少し、近年では取扱いがほとんどない。

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカツオの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、年間を通して、福島県産カツオの取扱いがほとんど見られなかった。横浜市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産カツオの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	18
宮城	1%	0%	0%	0%	0%	51%	69%	75%	82%	63%	32%	0%	3,687
千葉	9%	10%	6%	28%	73%	35%	6%	4%	2%	7%	21%	10%	1,584
東京	6%	12%	16%	10%	4%	4%	4%	5%	6%	7%	5%	6%	517
宮崎	1%	40%	38%	21%	2%	0%	0%	1%	1%	3%	4%	4%	512
鹿児島	9%	17%	23%	18%	4%	0%	1%	3%	0%	2%	7%	12%	431
総量	**42**	**198**	**616**	**640**	**882**	**1,248**	**1,220**	**994**	**1,082**	**746**	**333**	**190**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	5%	26%	45%	79%	79%	70%	35%	0%	236
千葉	12%	21%	10%	45%	83%	58%	14%	12%	4%	10%	35%	28%	202
三重	60%	28%	24%	8%	5%	7%	26%	5%	1%	0%	0%	0%	58
神奈川	1%	0%	1%	2%	2%	7%	12%	0%	13%	16%	19%	8%	46
鹿児島	17%	20%	29%	23%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	5%	15%	28
総量	**1**	**10**	**42**	**41**	**83**	**117**	**100**	**69**	**73**	**53**	**19**	**10**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカツオの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産カツオの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
高知	15%	4%	19%	34%	54%	75%	68%	45%	24%	40%	37%	16%	911
宮城	0%	0%	0%	0%	1%	5%	7%	22%	53%	37%	22%	0%	276
鹿児島	7%	14%	25%	27%	8%	0%	0%	12%	6%	7%	11%	21%	177
和歌山	60%	27%	23%	9%	4%	8%	17%	6%	1%	1%	0%	1%	174
千葉	0%	6%	1%	2%	22%	8%	2%	3%	5%	4%	15%	4%	123
総量	**10**	**43**	**155**	**168**	**224**	**316**	**309**	**214**	**197**	**185**	**78**	**35**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
高知	6%	7%	36%	38%	38%	34%	27%	35%	12%	19%	13%	5%	110
三重	0%	0%	3%	3%	37%	40%	40%	8%	15%	0%	1%	0%	95
静岡	76%	40%	14%	9%	5%	5%	10%	22%	15%	11%	12%	24%	45
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	3%	3%	15%	34%	42%	14%	0%	41
千葉	0%	26%	5%	11%	15%	7%	3%	7%	9%	8%	27%	6%	35
総量	**2**	**3**	**15**	**23**	**53**	**72**	**88**	**37**	**43**	**33**	**19**	**8**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカツオの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産カツオの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
高知	14%	3%	22%	45%	52%	70%	56%	24%	9%	39%	43%	20%	847
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	3%	14%	48%	77%	39%	14%	0%	439
宮崎	12%	71%	34%	25%	11%	2%	1%	3%	2%	2%	3%	4%	206
和歌山	26%	13%	20%	8%	4%	8%	16%	5%	1%	2%	1%	2%	169
鹿児島	9%	6%	12%	12%	8%	0%	1%	10%	4%	9%	15%	26%	142
総量	**15**	**62**	**172**	**180**	**259**	**311**	**330**	**230**	**245**	**189**	**71**	**46**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	32%	50%	69%	82%	78%	49%	0%	33
東京	0%	58%	56%	70%	73%	24%	28%	10%	3%	6%	17%	57%	20
青森	0%	0%	0%	0%	0%	30%	14%	14%	10%	0%	0%	0%	8
福岡	42%	8%	2%	3%	3%	6%	3%	3%	2%	12%	25%	30%	4
千葉	42%	27%	4%	2%	20%	5%	0%	1%	0%	2%	4%	8%	3
総量	**0**	**1**	**4**	**5**	**6**	**11**	**12**	**13**	**12**	**5**	**2**	**2**	

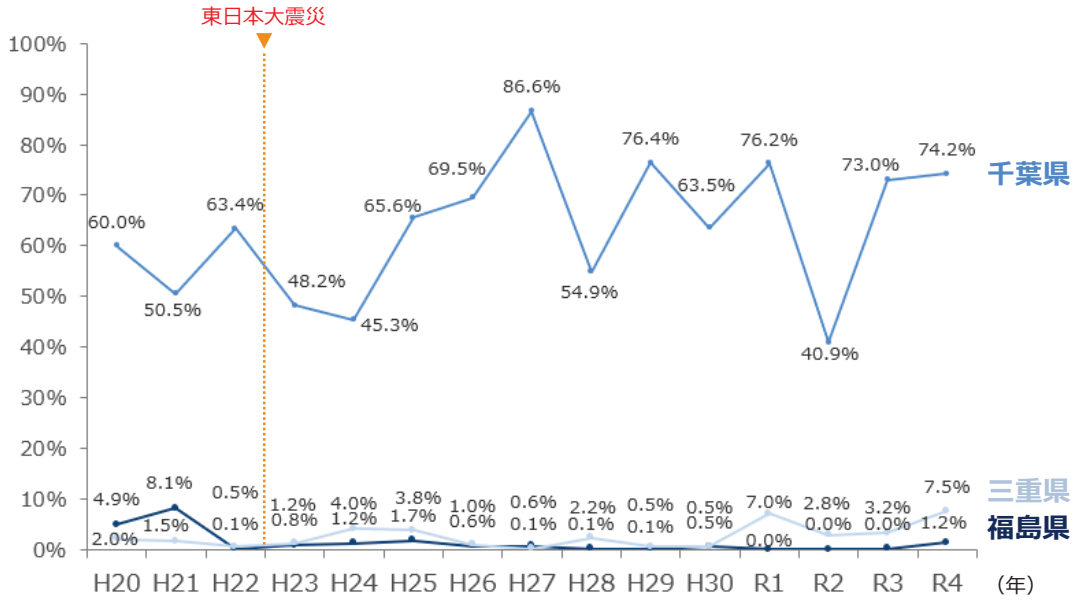
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産カツオのシェアの推移

東京都中央卸売市場の5月の福島県産カツオは、震災前から低いシェアで推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(5月)

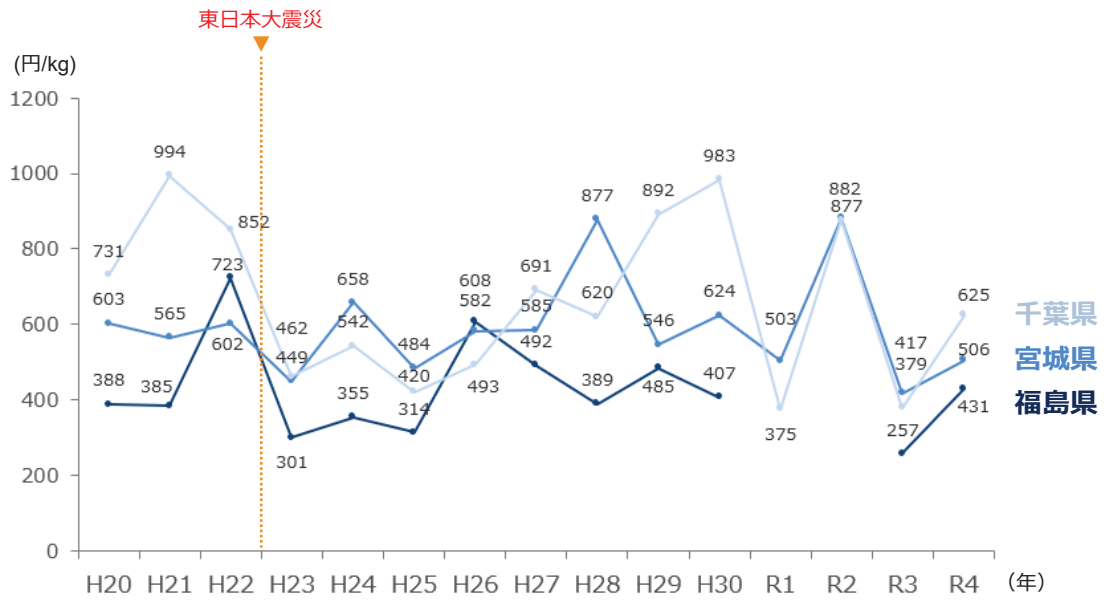


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産カツオの単価の推移

東京都中央卸売市場の5月の福島県産カツオの平均単価は、震災直後に大幅に下がり、その後は上昇と下落を繰り返している。令和4年は震災前の平成20年・平成21年よりやや高い水準であった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(5月)



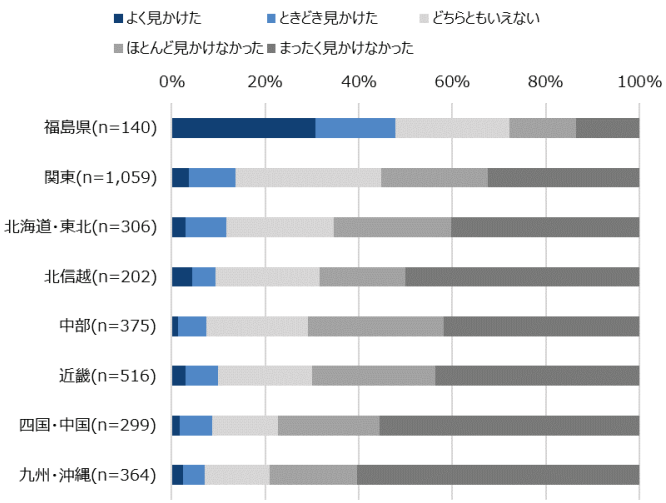
※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産カツオを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

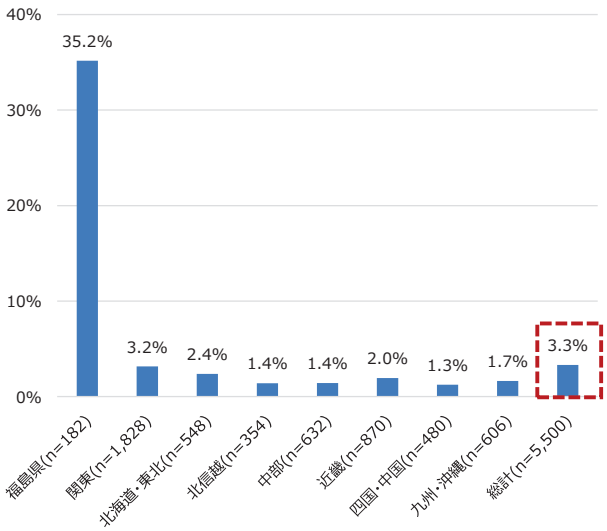
福島県産カツオをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産カツオを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.3%であった。

福島県産カツオを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産カツオを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カツオの購買経験率

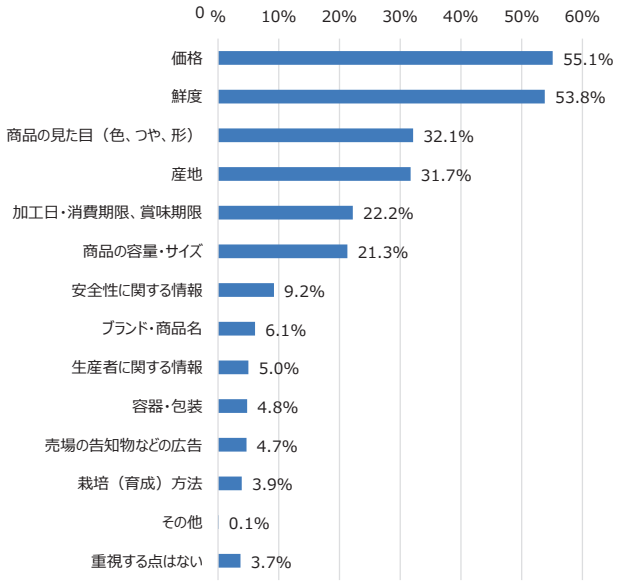


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

カツオ購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

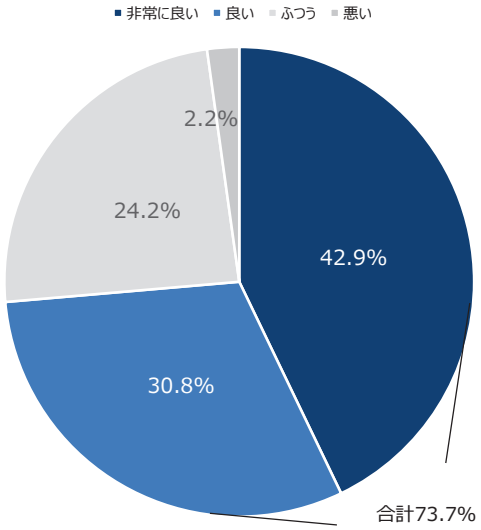
福島県産に限らず、カツオ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産カツオの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が73.7%であった。

カツオ購買時の重視点（n=2,981、複数回答）



※カツオ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上カツオを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カツオ購買者の評価（n=182）

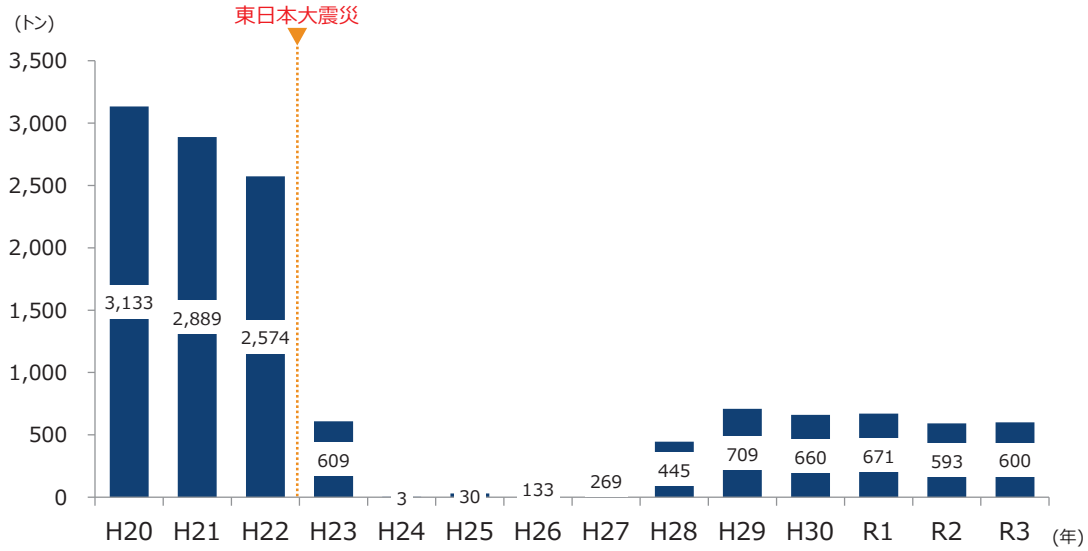


※福島県産カツオを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

福島県におけるカレイ類の漁獲量は、震災後の平成23年・平成24年に大幅に減少した。平成25年以降は回復傾向にあったものの、令和2年・令和3年は600トン前後で推移している。

福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

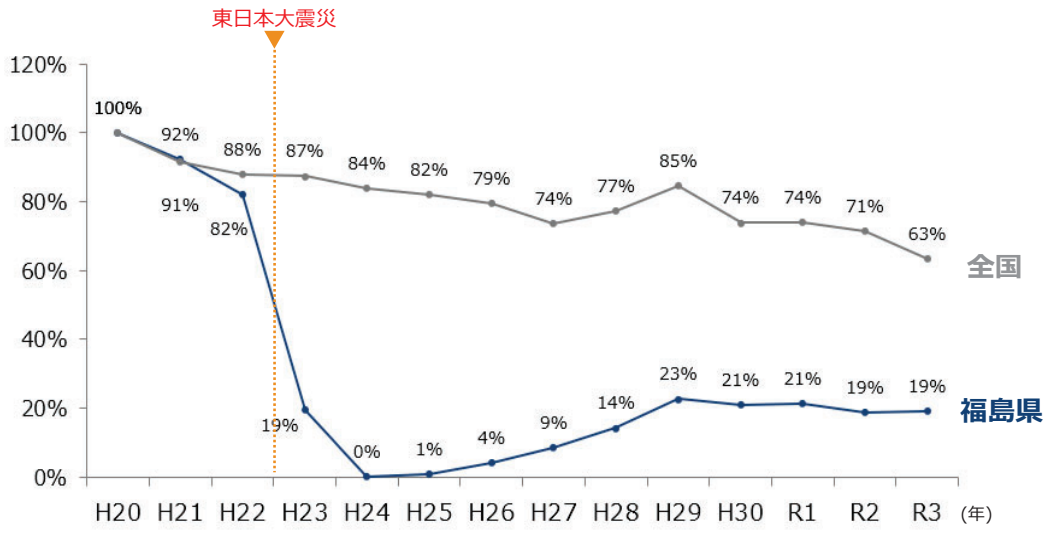


データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

全国・福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

カレイ類の漁獲量は、全国的には平成28年と平成29年を除き減少傾向にある。福島県産カレイ類は、平成25年以降緩やかな回復傾向で推移していたが、平成30年以降ほぼ横ばいで推移している。

全国・福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）

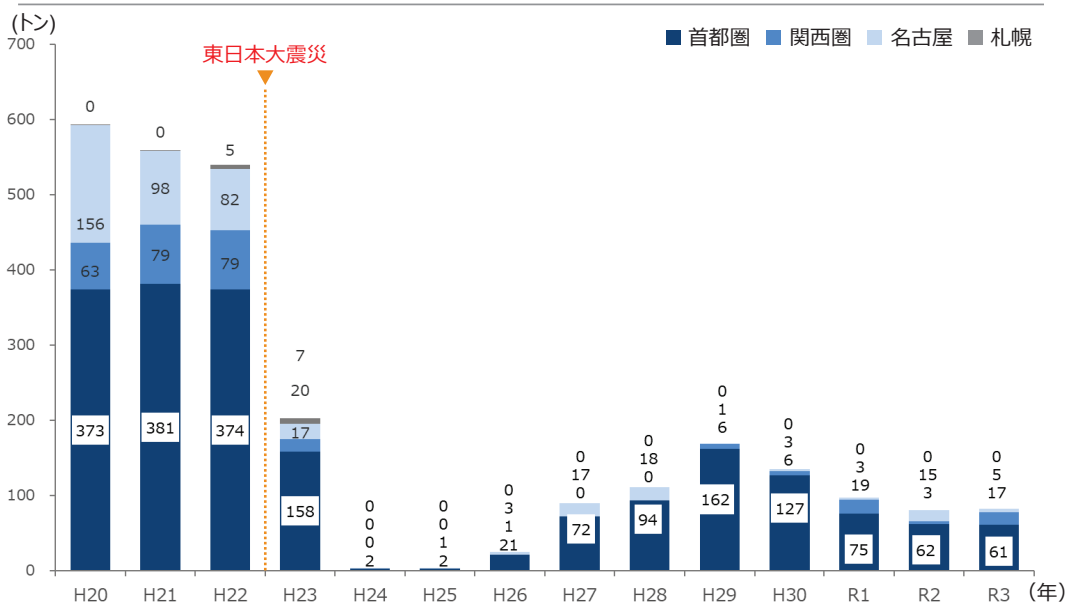


データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産カレイ類は、震災前は首都圏、関西圏及び名古屋を中心に取り扱われていたが、震災後は首都圏以外での取扱いがわずかとなっている。

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、福島県産カレイ類は、7月・8月以外は年間を通して少量ながら取り扱われていた。横浜市中央卸売市場においても、年間を通して少量ながら流通が見られた。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	2%	2%	1%	1%	1%	0%	0%	1%	2%	2%	1%	41
北海道	75%	31%	62%	80%	77%	66%	77%	65%	72%	75%	81%	87%	2,814
宮城	3%	6%	8%	5%	9%	9%	4%	9%	5%	6%	4%	1%	218
青森	2%	9%	6%	4%	2%	3%	4%	7%	8%	5%	2%	1%	160
鳥取	8%	30%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	158
東京	4%	4%	3%	3%	5%	6%	3%	7%	3%	5%	4%	4%	157
総量	**355**	**288**	**473**	**464**	**361**	**294**	**341**	**156**	**216**	**179**	**271**	**519**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	6%	8%	7%	3%	5%	6%	7%	13%	6%	5%	2%	4%	20
北海道	52%	21%	36%	65%	52%	48%	43%	30%	42%	65%	77%	84%	198
宮城	12%	26%	22%	15%	26%	17%	15%	16%	21%	13%	7%	4%	61
青森	6%	11%	4%	5%	6%	9%	13%	16%	12%	5%	5%	3%	26
岩手	7%	8%	12%	7%	7%	8%	4%	2%	3%	2%	1%	1%	23
総量	**39**	**33**	**47**	**54**	**41**	**30**	**18**	**9**	**18**	**20**	**27**	**38**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、少量ながら福島県産カレイ類の流通が見られた。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	3%	10%	3%	2%	0%	0%	1%	1%	2%	4%	17
鳥取	25%	45%	37%	32%	26%	2%	2%	0%	19%	27%	9%	1%	154
兵庫	24%	12%	21%	17%	17%	4%	0%	0%	35%	27%	30%	49%	133
北海道	2%	1%	3%	7%	13%	70%	81%	83%	12%	17%	18%	15%	119
福井	26%	29%	12%	21%	16%	1%	0%	0%	15%	10%	16%	12%	100
島根	8%	6%	7%	2%	2%	0%	0%	0%	10%	12%	14%	7%	37
総量	**48**	**77**	**91**	**78**	**84**	**41**	**24**	**28**	**56**	**45**	**38**	**41**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
石川	29%	27%	34%	32%	25%	34%	42%	12%	29%	23%	17%	12%	93
青森	13%	22%	20%	25%	18%	12%	5%	1%	4%	8%	5%	12%	49
宮城	10%	5%	6%	7%	16%	15%	14%	16%	17%	16%	27%	28%	45
兵庫	4%	6%	10%	9%	18%	4%	4%	3%	16%	26%	16%	8%	37
北海道	7%	2%	2%	3%	3%	14%	24%	63%	8%	1%	2%	2%	25
総量	**26**	**41**	**51**	**42**	**32**	**20**	**18**	**15**	**24**	**29**	**23**	**21**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場は、1月～4月と10月に、少量ながら福島県産カレイ類の取扱いが見られた。札幌市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	5
北海道	39%	23%	53%	47%	48%	53%	38%	63%	56%	72%	78%	80%	683
東京	1%	0%	0%	19%	20%	26%	38%	11%	5%	6%	6%	5%	156
宮城	13%	8%	6%	7%	10%	8%	10%	12%	6%	9%	8%	5%	105
石川	7%	16%	8%	7%	3%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	59
福井	1%	12%	9%	7%	6%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	53
総量	**75**	**114**	**164**	**172**	**147**	**127**	**90**	**46**	**68**	**65**	**104**	**114**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	100%	99%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	2,976
青森	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
愛媛	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福岡	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	**193**	**136**	**325**	**452**	**302**	**258**	**208**	**146**	**142**	**141**	**334**	**342**	

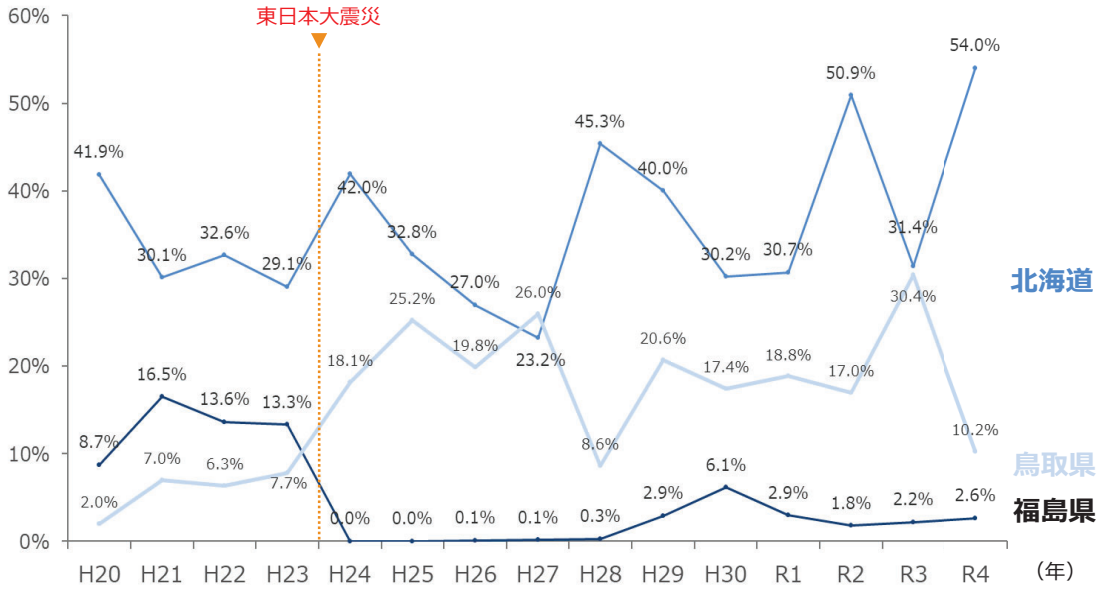
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類のシェアの推移

東京都中央卸売市場の２月の福島県産カレイ類は、震災前は10%以上のシェアを占めていたが、現在は２%程度である。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(２月)

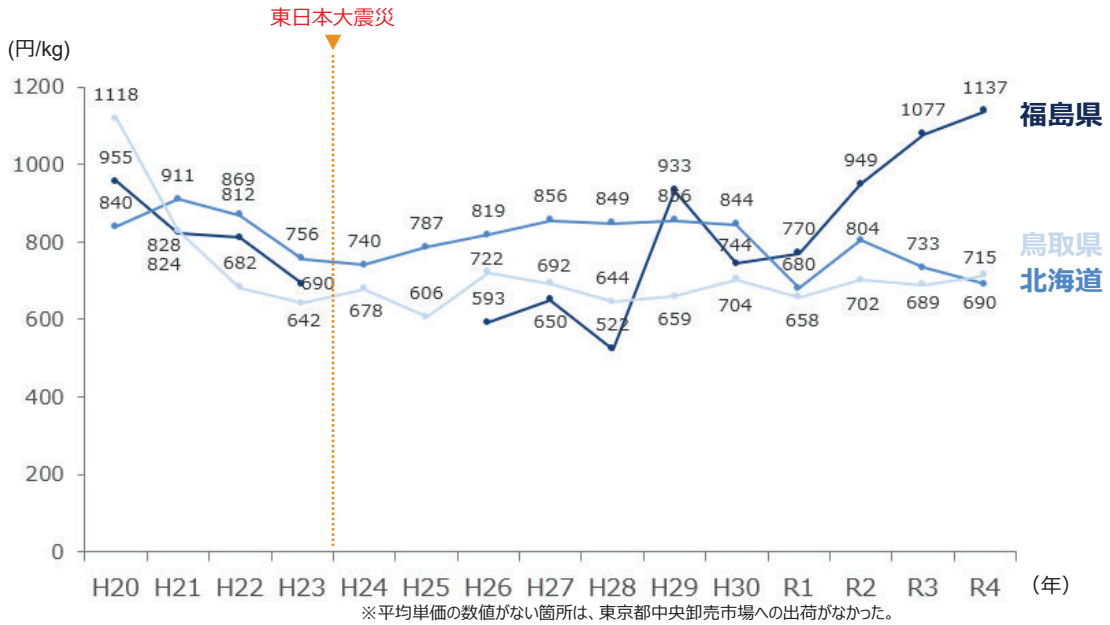


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類の単価の推移

東京都中央卸売市場の２月の福島県産カレイ類の平均単価は、震災前は北海道を下回っていたが、令和元年以降は継続して北海道・鳥取県を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(２月)



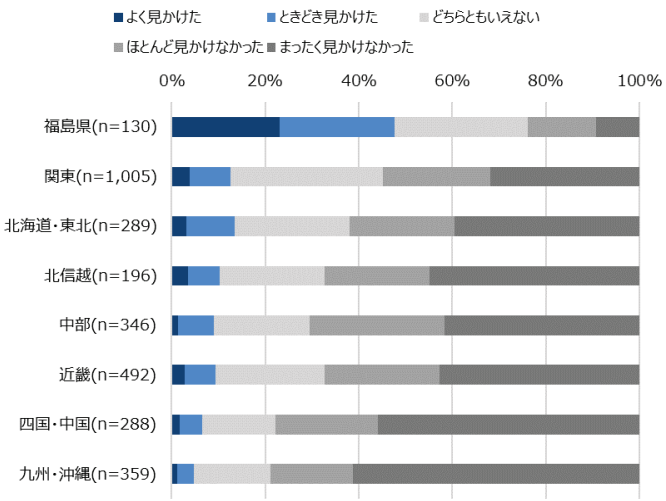
※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。
※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、市場での取り扱いはなかった。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産カレイ類を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

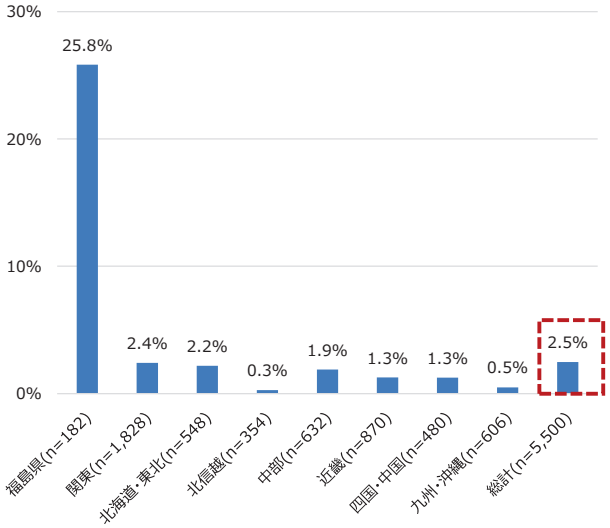
福島県産カレイ類をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５％に満たない。福島県産カレイ類を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では2.5%であった。

福島県産カレイ類を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カレイ類の購買経験率

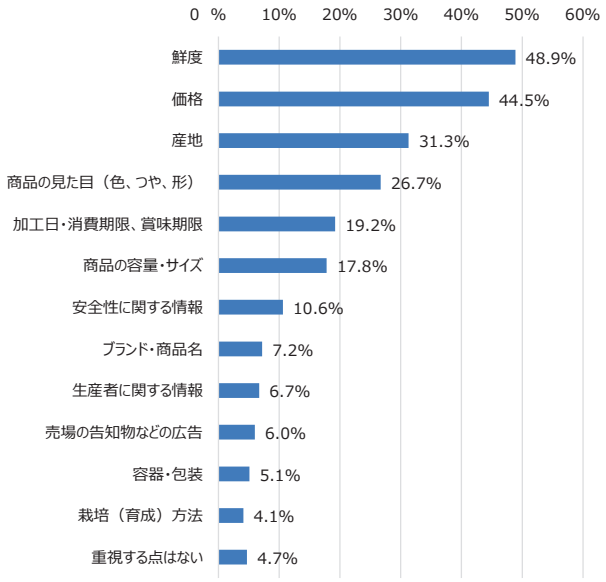


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

カレイ類購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

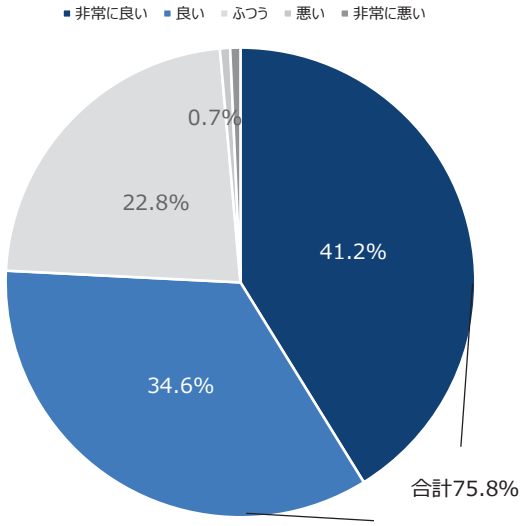
福島県産に限らず、カレイ類購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産カレイ類の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.8%であった。

カレイ類購買時の重視点（n=1,394、複数回答）



※カレイ類購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上カレイ類を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カレイ類購買者の評価（n=136）

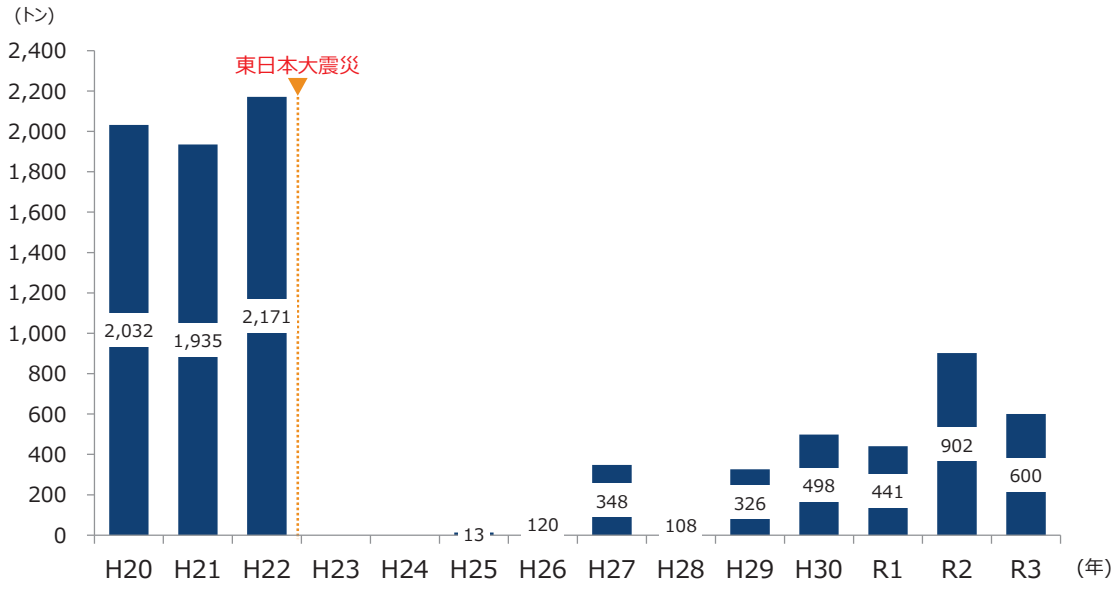


※福島県産カレイ類を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県におけるシラスの漁獲量の推移

福島県のシラスの漁獲量は、近年徐々に回復している。ただし、震災後で最も水揚量が多かった令和2年でも、震災前の半分以下の水準である。

福島県におけるシラスの漁獲量の推移

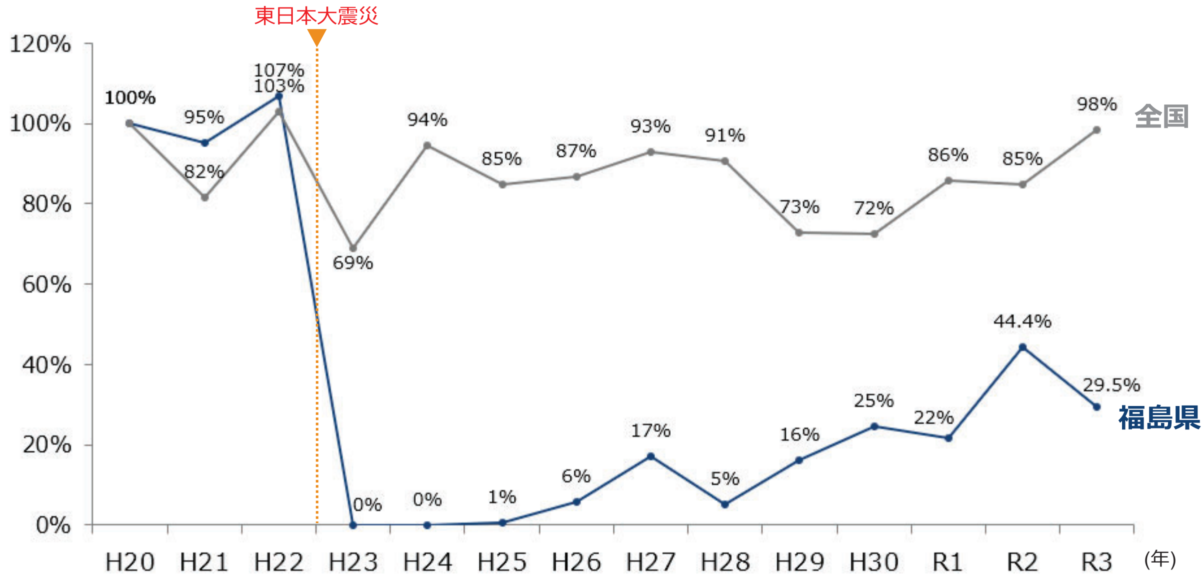


データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

全国・福島県におけるシラスの漁獲量の推移

全国のシラスの漁獲量は、年によって変動が大きく、令和3年は震災前と同程度となっている。福島県産シラスの漁獲量は、令和3年には平成20年の29.5%となった。

全国・福島県におけるシラスの漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）

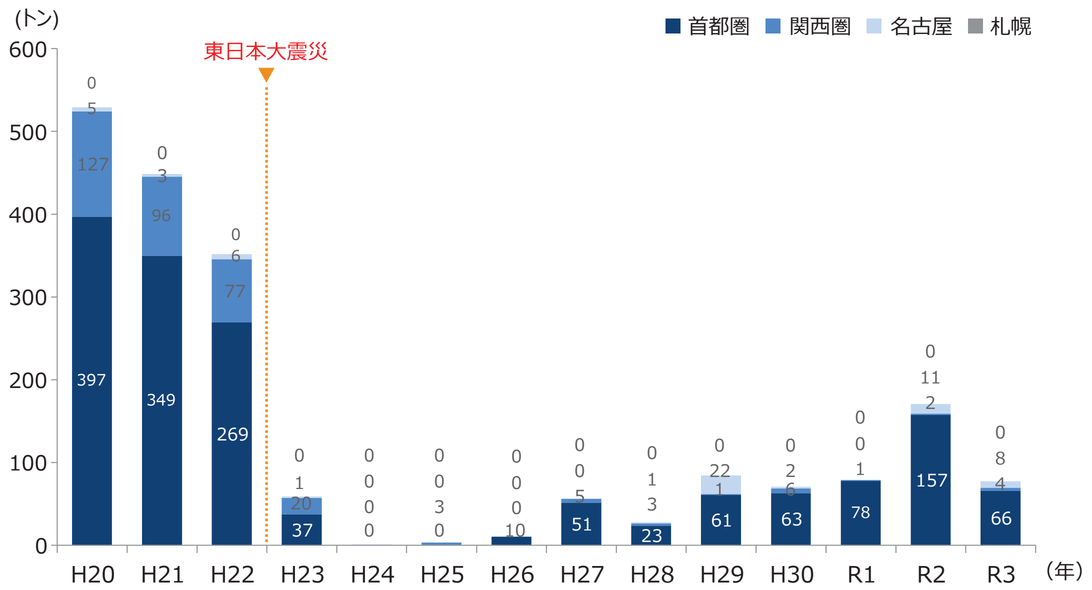


データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産シラスの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産シラスは、震災前後を通じて、首都圏を中心に取り扱われている。

各市場における福島県産シラスの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

※シラスは、平成25年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

各市場におけるシラスの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、福島県産シラスは１年のうち3月～5月、8月～9月に少量ながら取り扱われていた。横浜市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産シラスの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	1%	1%	1%	0%	0%	3%	2%	0%	0%	0%	66
兵庫	30%	19%	12%	19%	16%	43%	39%	34%	41%	43%	29%	26%	2,789
和歌山	16%	20%	18%	8%	12%	9%	12%	10%	10%	8%	10%	10%	1,024
高知	11%	16%	20%	14%	5%	3%	3%	5%	3%	3%	8%	9%	708
徳島	9%	7%	4%	6%	8%	7%	6%	13%	10%	5%	8%	7%	691
愛知	3%	4%	5%	10%	12%	7%	6%	2%	6%	10%	11%	8%	669
総量	**531**	**448**	**573**	**1,134**	**713**	**865**	**752**	**789**	**943**	**1,069**	**761**	**574**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
静岡	35%	40%	39%	29%	26%	52%	54%	22%	23%	19%	22%	23%	108
宮城	0%	0%	27%	26%	30%	23%	20%	29%	27%	29%	23%	22%	76
東京	9%	13%	17%	26%	10%	8%	7%	13%	12%	12%	15%	12%	46
和歌山	2%	1%	1%	2%	0%	0%	1%	22%	19%	16%	1%	1%	19
茨城	33%	28%	0%	0%	0%	2%	3%	0%	2%	1%	0%	0%	16
総量	**22**	**25**	**35**	**38**	**31**	**29**	**26**	**31**	**27**	**28**	**27**	**24**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるシラスの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産シラスの取扱いがほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産シラスの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4
兵庫	33%	23%	20%	15%	34%	76%	74%	54%	64%	64%	43%	38%	1,104
高知	11%	27%	26%	36%	6%	0%	2%	10%	5%	3%	12%	15%	272
徳島	6%	6%	4%	6%	9%	3%	1%	10%	14%	9%	7%	5%	156
宮崎	3%	9%	14%	11%	4%	1%	1%	4%	2%	0%	14%	9%	130
鹿児島	5%	5%	4%	5%	4%	1%	1%	2%	1%	9%	4%	9%	91
総量	**96**	**125**	**166**	**240**	**169**	**250**	**228**	**170**	**278**	**229**	**183**	**166**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	20%	19%	12%	19%	21%	25%	29%	59%	47%	40%	33%	21%	246
兵庫	17%	8%	4%	3%	10%	36%	21%	13%	15%	18%	11%	16%	120
和歌山	17%	20%	23%	13%	15%	10%	11%	7%	7%	8%	7%	8%	93
大阪	10%	8%	18%	9%	10%	11%	11%	4%	5%	6%	9%	12%	75
愛知	6%	2%	3%	17%	13%	7%	6%	1%	14%	10%	13%	11%	73
総量	**40**	**43**	**59**	**88**	**65**	**86**	**64**	**85**	**80**	**69**	**75**	**58**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるシラスの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産シラスは7,9月に少量ながら取り扱われていた。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産シラスの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	2%	0%	0%	0%	8
愛知	55%	59%	63%	64%	84%	61%	70%	52%	61%	77%	83%	86%	1,548
兵庫	19%	12%	10%	9%	6%	24%	16%	33%	26%	14%	3%	4%	327
徳島	9%	8%	1%	4%	2%	4%	5%	6%	3%	3%	1%	1%	78
三重	2%	0%	4%	1%	2%	3%	2%	2%	2%	4%	11%	4%	71
東京	9%	13%	7%	2%	1%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	2%	50
総量	**103**	**112**	**120**	**259**	**168**	**196**	**178**	**156**	**261**	**283**	**199**	**201**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
東京	82%	84%	82%	90%	88%	87%	88%	89%	87%	87%	88%	88%	223
北海道	13%	11%	13%	6%	9%	9%	8%	8%	9%	8%	8%	8%	23
福岡	2%	2%	2%	3%	1%	2%	2%	1%	2%	3%	1%	2%	5
香川	1%	2%	2%	1%	1%	2%	2%	1%	2%	1%	1%	1%	4
兵庫	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
総量	**16**	**16**	**17**	**28**	**36**	**20**	**22**	**23**	**19**	**19**	**23**	**17**	

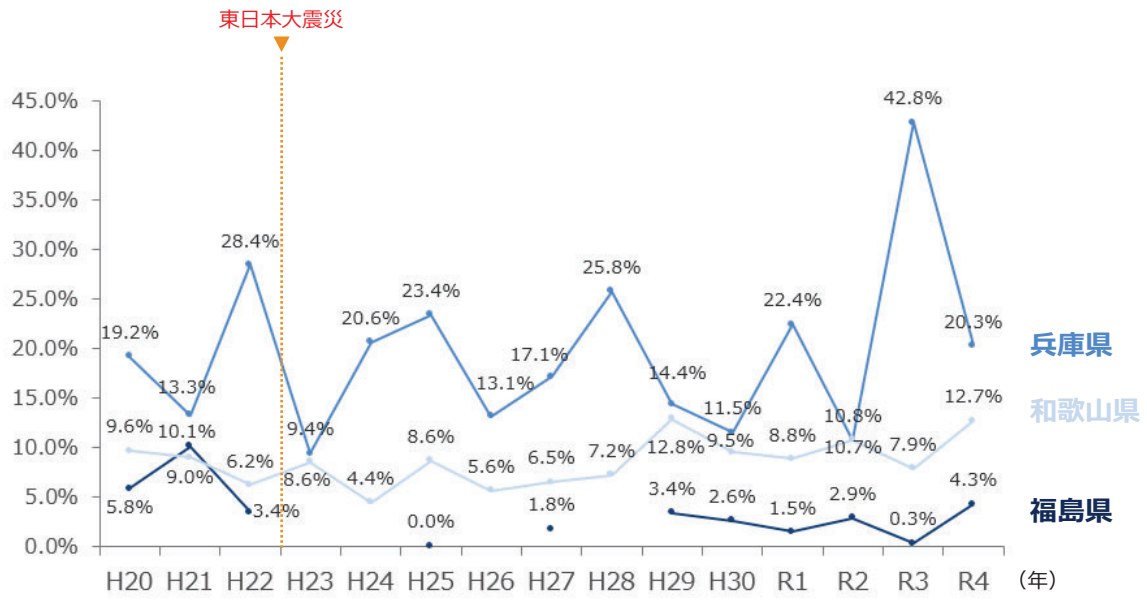
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産シラスのシェアの推移

東京都中央卸売市場の10月の福島県産シラスは、震災後に一度取扱いがなくなった後にシェアの拡大と縮小を繰り返している。令和4年は、震災前の平成22年よりやや高い水準であった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(10月)

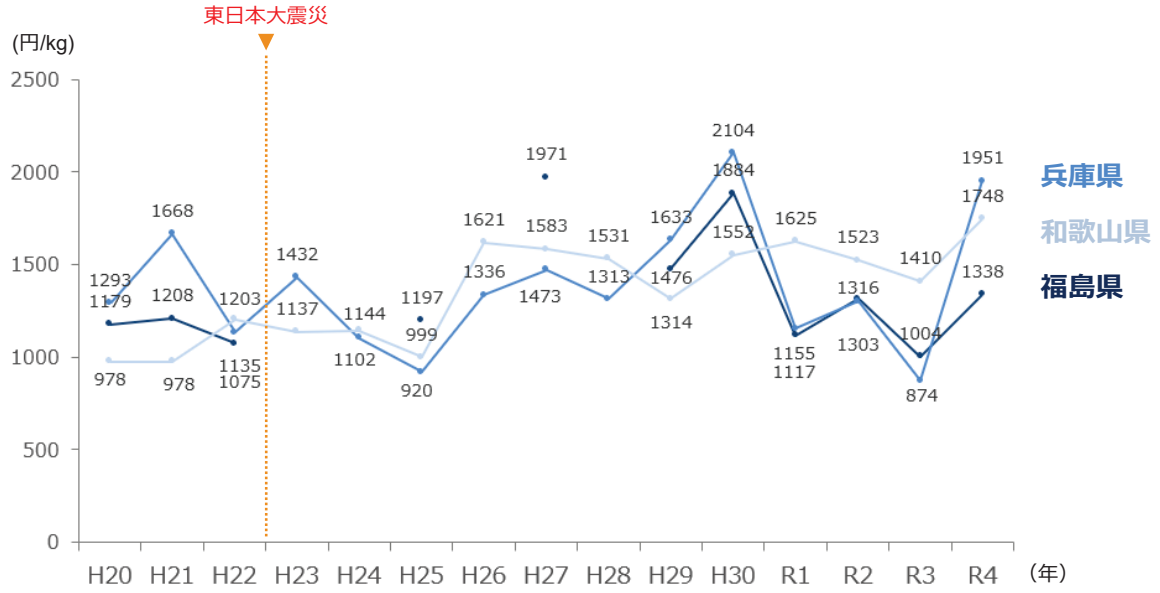


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

東京都中央卸売市場における福島県産シラスの単価の推移

東京都中央卸売市場の10月の福島県産シラスの平均単価は、震災前より高い価格で推移している。ただし、令和4年は兵庫県産・和歌山県産の価格を下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(10月)

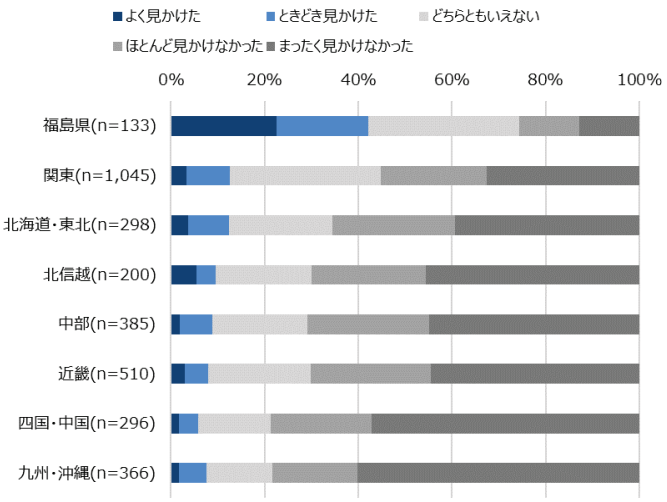


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

福島県産シラスを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

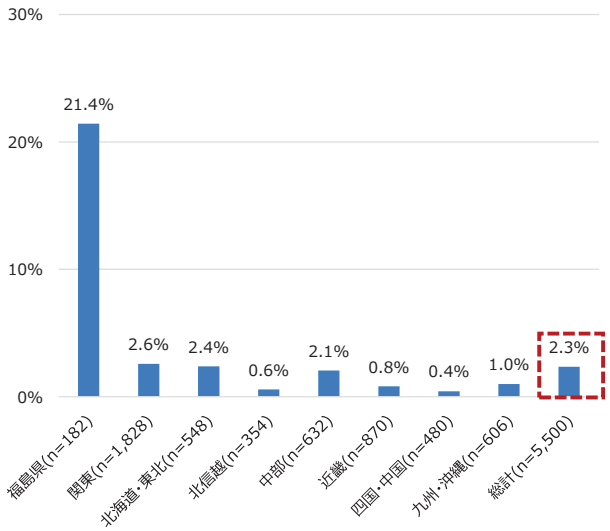
福島県産シラスをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産シラスを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では2.3%であった。

福島県産シラスを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産シラスを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産シラスの購買経験率

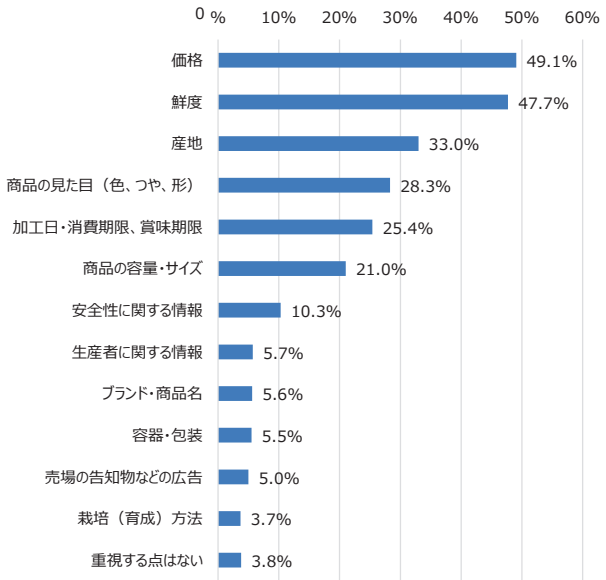


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

シラス購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

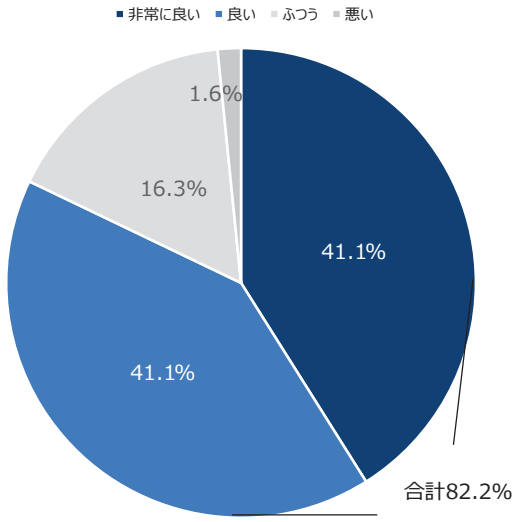
福島県産に限らず、シラス購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産シラスの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が82.2%であった。

シラス購買時の重視点（n=2,717、複数回答）



※シラス購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上シラスを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産シラス購買者の評価（n=129）

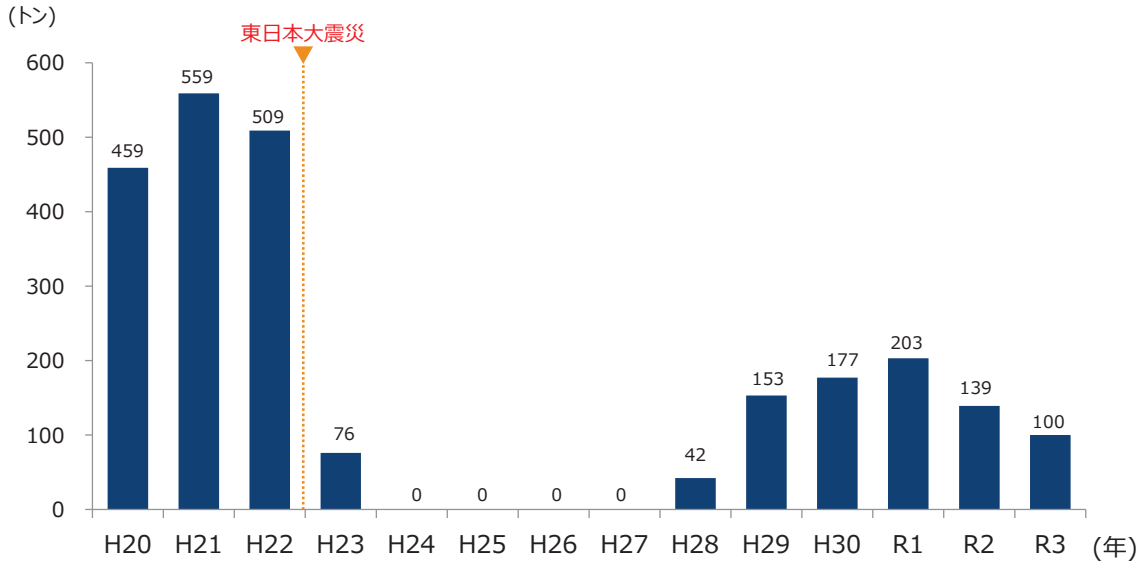


※福島県産シラスを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県におけるアナゴの漁獲量の推移

福島県におけるアナゴの漁獲量については、平成28年から令和元年まで回復傾向にあったが、令和２年以降は減少傾向にある。

福島県におけるアナゴの漁獲量の推移



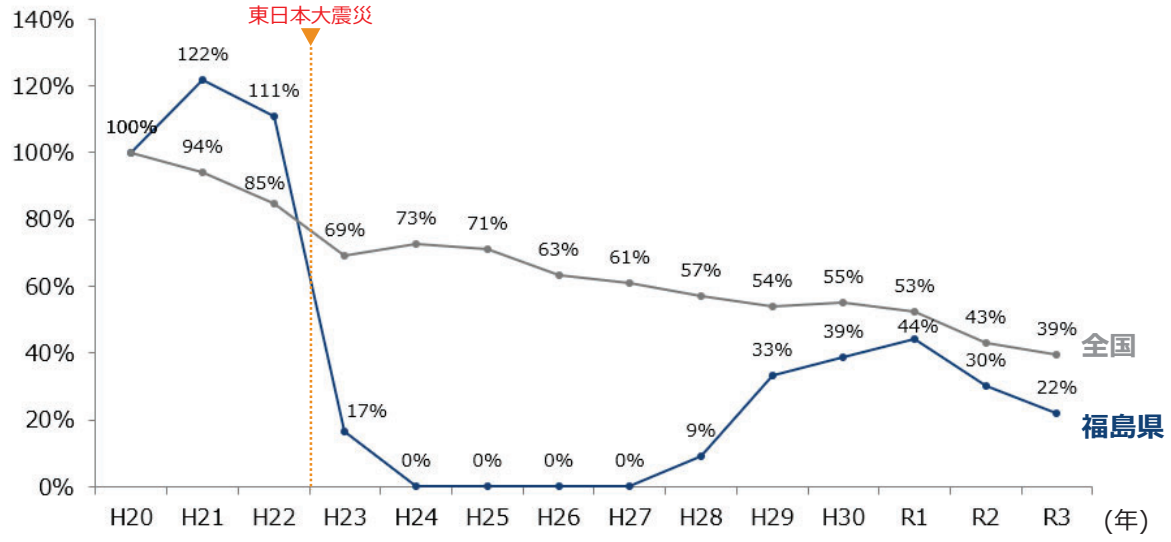
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※「アナゴ」のデータ（マアナゴ以外のアナゴ類も一部含む）。

全国と福島県におけるアナゴの漁獲量の推移

アナゴの漁獲量は、全国では減少傾向にあり、近年では平成20年の50%以下となっている。福島県においては平成24年から平成27年まで漁獲がなかったが、平成28年から令和元年にかけて回復傾向にあった。しかし、令和２年以降は減少している。

全国・福島県におけるアナゴの漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



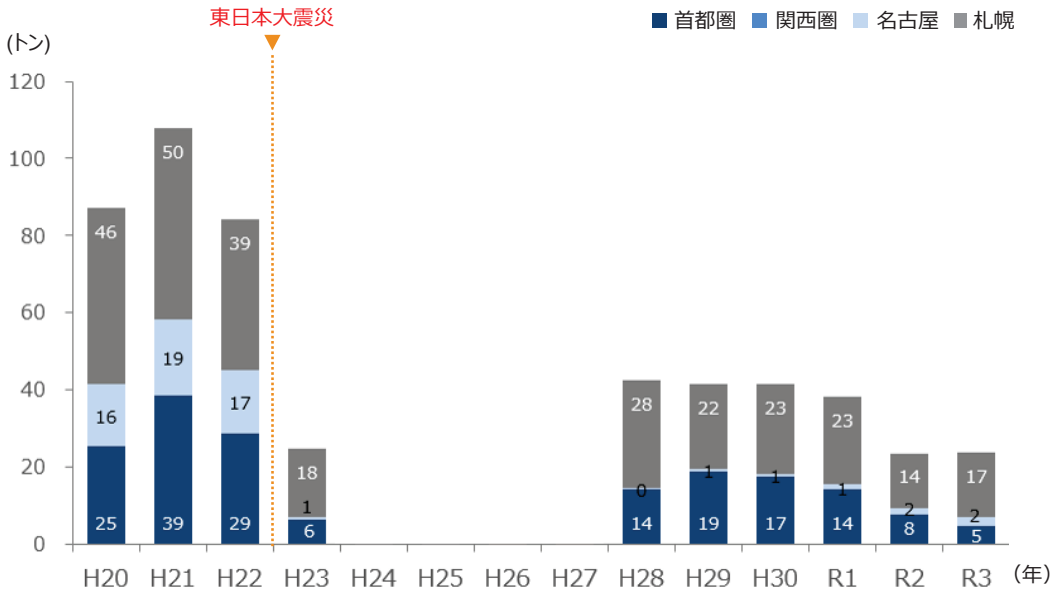
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※「アナゴ」のデータ（マアナゴ以外のアナゴ類も一部含む）。

各市場における福島県産アナゴの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産アナゴは、震災前は札幌、首都圏及び名古屋に流通していたが、震災後は全体的に取扱量が減少している。近年は、名古屋における取扱いがわずかであり、令和２年以降は首都圏・札幌における取扱いも減少している。

各市場における福島県産アナゴの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

※首都圏は「マアナゴ」、それ以外は「アナゴ」のデータ。
※マアナゴは、平成28年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるアナゴの産地リレー(令和3年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、8~10月を除き年間を通して福島県産マアナゴの取扱いがあった。横浜市中央卸売市場では、7月と8月を除き年間を通して福島県産アナゴの取扱いがあった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場　マアナゴのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	2%	2%	2%	3%	2%	1%	2%	0%	0%	0%	1%	2%	3
大阪	37%	29%	31%	22%	15%	10%	31%	39%	30%	29%	16%	16%	36
東京	18%	18%	16%	28%	17%	23%	23%	26%	15%	17%	21%	20%	33
茨城	6%	11%	9%	8%	27%	35%	5%	1%	3%	3%	35%	38%	30
福岡	16%	11%	19%	11%	11%	9%	24%	23%	13%	12%	8%	12%	20
千葉	7%	14%	13%	10%	14%	12%	5%	3%	2%	3%	8%	6%	13
総量	**8**	**12**	**10**	**18**	**14**	**19**	**9**	**7**	**11**	**13**	**20**	**18**	

横浜市中央卸売市場　アナゴのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	5%	6%	13%	6%	3%	0%	0%	1%	1%	6%	7%	2
福岡	60%	41%	53%	30%	29%	34%	45%	53%	46%	39%	28%	40%	17
東京	7%	1%	14%	17%	11%	12%	16%	16%	13%	17%	10%	22%	6
千葉	11%	25%	11%	9%	13%	29%	3%	1%	8%	4%	17%	4%	5
茨城	7%	21%	9%	23%	29%	7%	4%	1%	4%	5%	12%	1%	5
宮城	0%	0%	0%	0%	3%	6%	9%	7%	7%	17%	14%	15%	3
総量	**2**	**3**	**3**	**5**	**5**	**5**	**3**	**3**	**3**	**4**	**5**	**3**	

※市場によって商品分類が異なるため、アナゴで集計した市場と、マアナゴで集計した市場がある。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるアナゴの産地リレー(令和3年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アナゴの取扱いがほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アナゴの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場　アナゴのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0
韓国	96%	96%	94%	96%	96%	97%	95%	96%	93%	91%	93%	95%	129
長崎	1%	3%	4%	2%	2%	2%	3%	3%	3%	4%	4%	2%	4
宮城	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	3%	4%	3%	2%	2
兵庫	0%	0%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福井	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0
総量	**11**	**11**	**11**	**13**	**11**	**12**	**11**	**11**	**11**	**12**	**11**	**12**	

京都市中央卸売市場　アナゴのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
大阪	48%	40%	39%	41%	48%	43%	50%	59%	32%	39%	39%	46%	26
宮城	15%	8%	1%	3%	12%	23%	22%	14%	14%	17%	23%	22%	9
兵庫	9%	8%	19%	23%	9%	7%	7%	9%	11%	20%	10%	4%	7
山口	7%	4%	9%	7%	9%	8%	9%	10%	4%	6%	4%	1%	4
福岡	10%	15%	6%	3%	3%	3%	4%	4%	3%	4%	4%	7%	3
総量	**4**	**5**	**5**	**6**	**4**	**5**	**4**	**3**	**6**	**5**	**6**	**6**	

※市場によって商品分類が異なるため、アナゴで集計した市場と、マアナゴで集計した市場がある。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるアナゴの産地リレー(令和3年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、8月を除き年間を通して、福島県産アナゴの取扱いが見られた。札幌市中央卸売市場では、8～10月を除き年間を通して、福島県産アナゴのシェアが1位であった。

各市場における産地リレー(令和3年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場　アナゴのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	2%	2%	2%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	1%	1%	2
大阪	50%	44%	38%	44%	45%	46%	42%	46%	44%	33%	38%	30%	74
福岡	27%	31%	36%	26%	27%	26%	18%	20%	12%	13%	14%	15%	40
兵庫	10%	9%	11%	8%	10%	12%	21%	19%	15%	31%	19%	17%	28
大分	4%	4%	3%	7%	3%	2%	10%	9%	13%	9%	14%	12%	14
山口	3%	2%	3%	3%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	3%	4
総量	**12**	**15**	**17**	**18**	**14**	**13**	**14**	**14**	**12**	**19**	**15**	**19**	

札幌市中央卸売市場　アナゴのデータ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	63%	80%	86%	87%	65%	53%	46%	33%	7%	8%	42%	35%	17
宮城	15%	5%	2%	6%	16%	15%	27%	14%	31%	20%	14%	8%	4
岩手	5%	1%	0%	1%	1%	5%	18%	38%	51%	57%	12%	2%	4
千葉	0%	12%	11%	4%	9%	23%	4%	0%	0%	0%	15%	27%	4
総量	**1**	**2**	**2**	**5**	**2**	**4**	**3**	**2**	**2**	**2**	**5**	**4**	

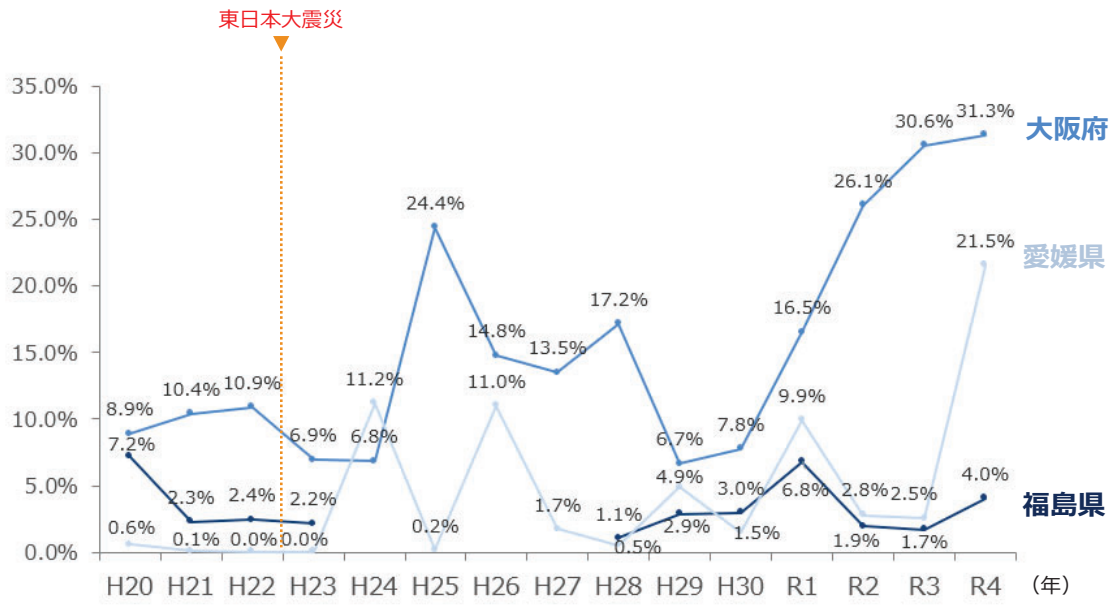
※市場によって商品分類が異なるため、アナゴで集計した市場と、マアナゴで集計した市場がある。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産マアナゴのシェアの推移

東京都中央卸売市場の3月の福島県産マアナゴのシェアは、平成28年から令和元年にかけて拡大したが、令和2年・令和3年は縮小した。令和4年は再び増加している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(3月)

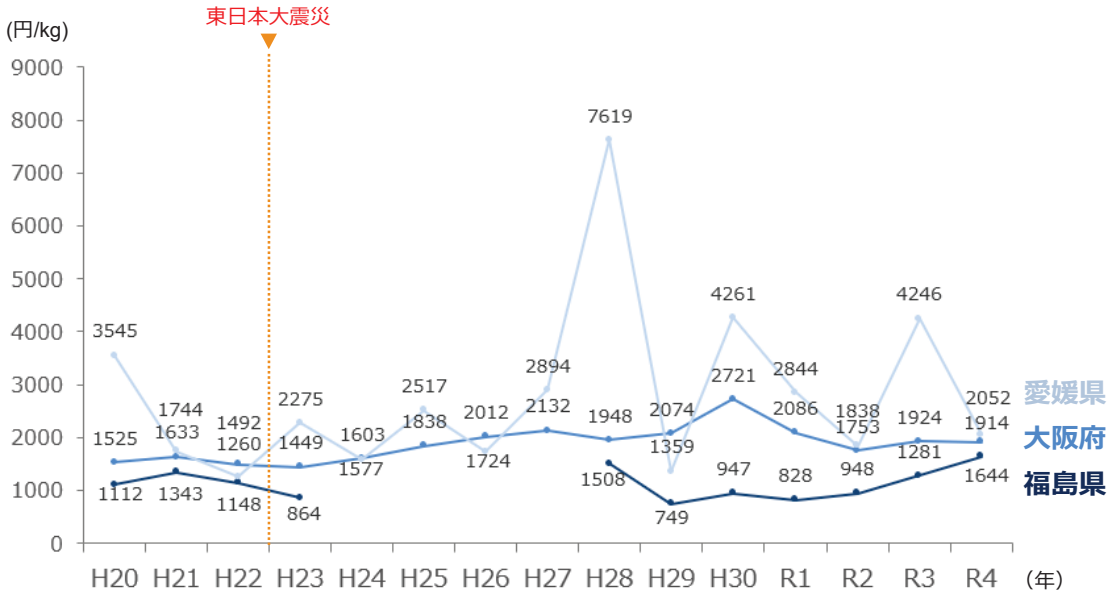


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※マアナゴは、平成28年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

東京都中央卸売市場における福島県産マアナゴの単価の推移

東京都中央卸売市場の3月の福島県産マアナゴの平均単価は、令和2年以降は増加傾向にある。ただし、震災前後を通じて、愛媛県産・大阪府産の価格を下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(3月)



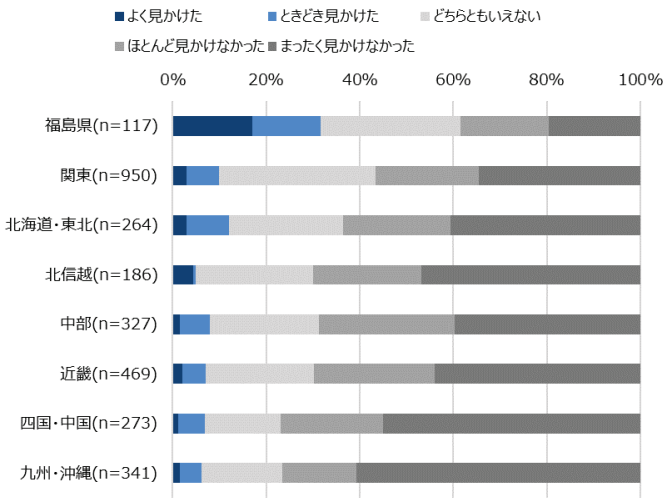
※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。
※マアナゴは、平成28年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産マアナゴを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

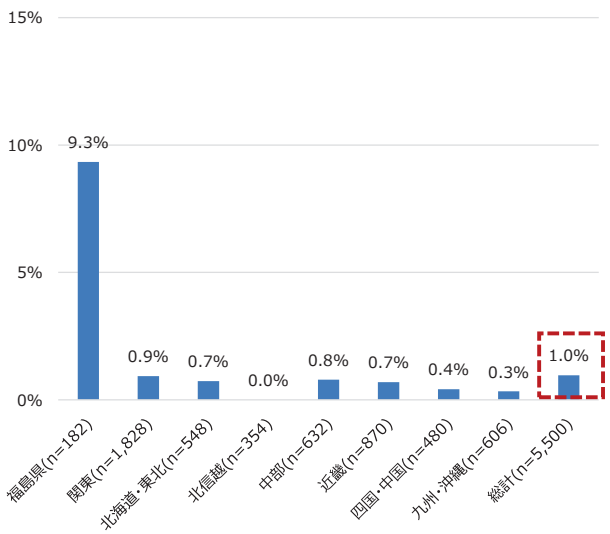
福島県産マアナゴをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産マアナゴを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では1.0%であった。

福島県産マアナゴを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産マアナゴを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産マアナゴの購買経験率

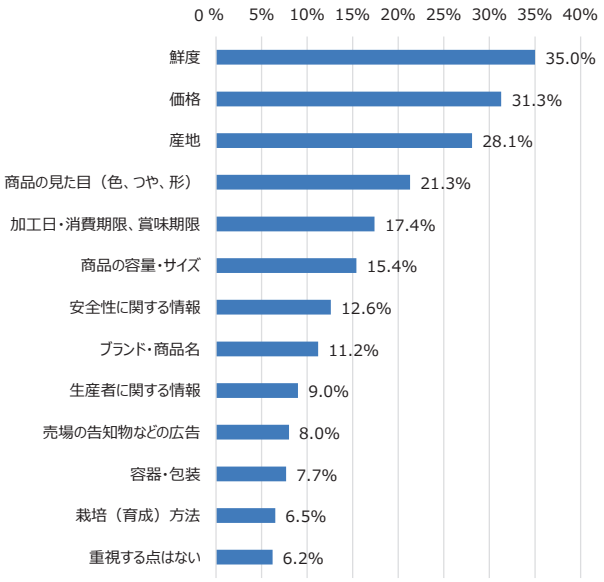


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

マアナゴ購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

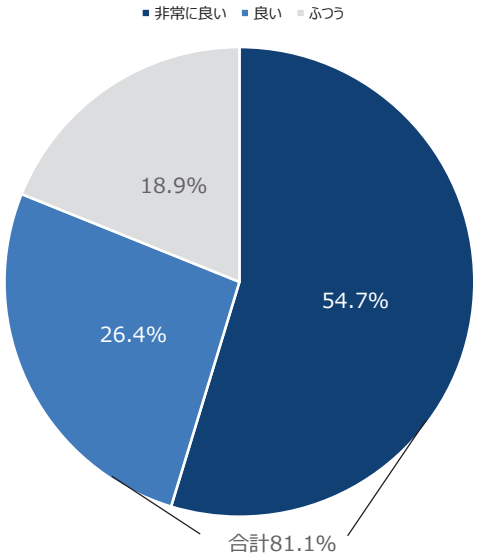
福島県産に限らず、マアナゴ購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産マアナゴの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.1%であった。

マアナゴ購買時の重視点（n=741、複数回答）



※マアナゴ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上マアナゴを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産マアナゴ購買者の評価（n=53）

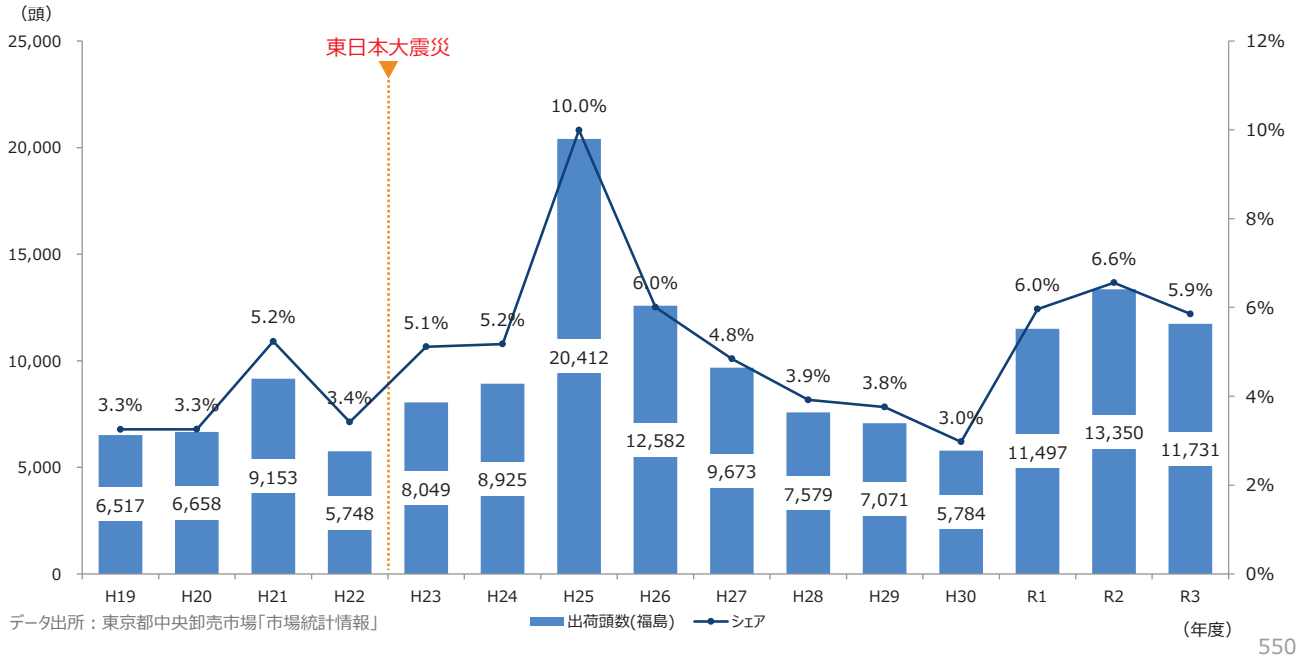


※福島県産マアナゴを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数とシェアは、震災後増加したものの、平成25年度をピークに縮小傾向にあったが、令和元年度以降は増加し、出荷頭数、シェア共に震災前以上の値となっている。

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移

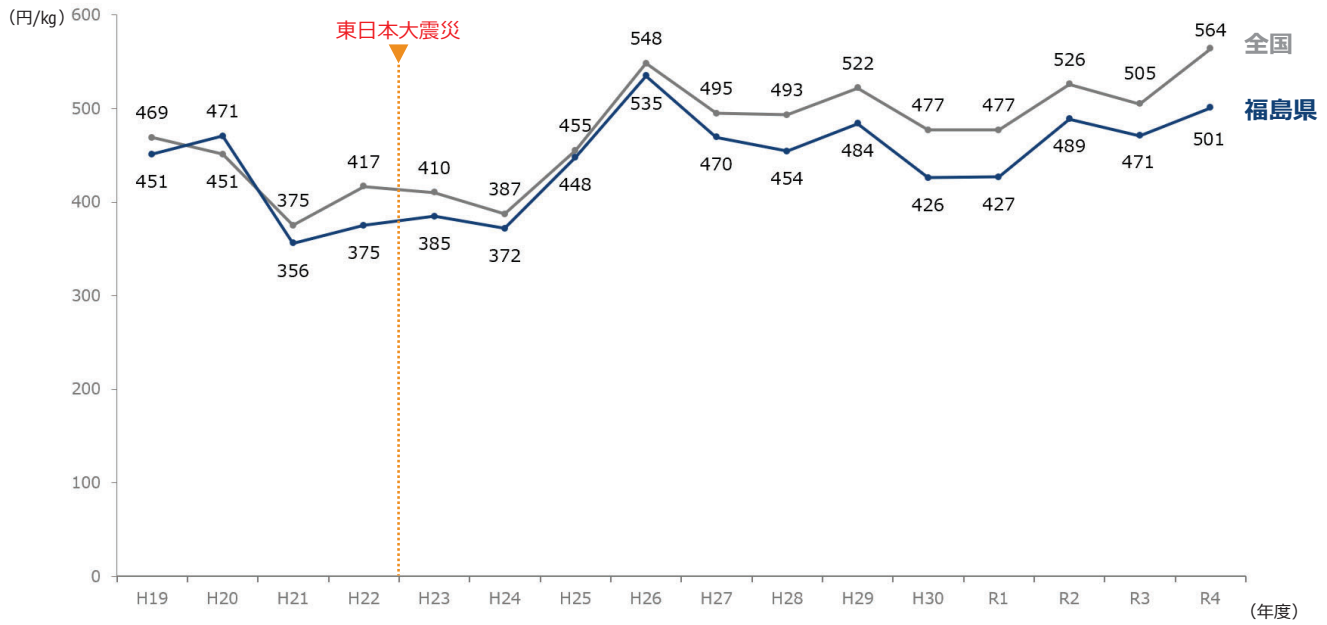


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の単価の推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の平均単価は、平成27年度以降、全国平均と比べて30円～50円/kg程度低い水準で推移しており、価格差が固定化している。

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の平均単価の推移

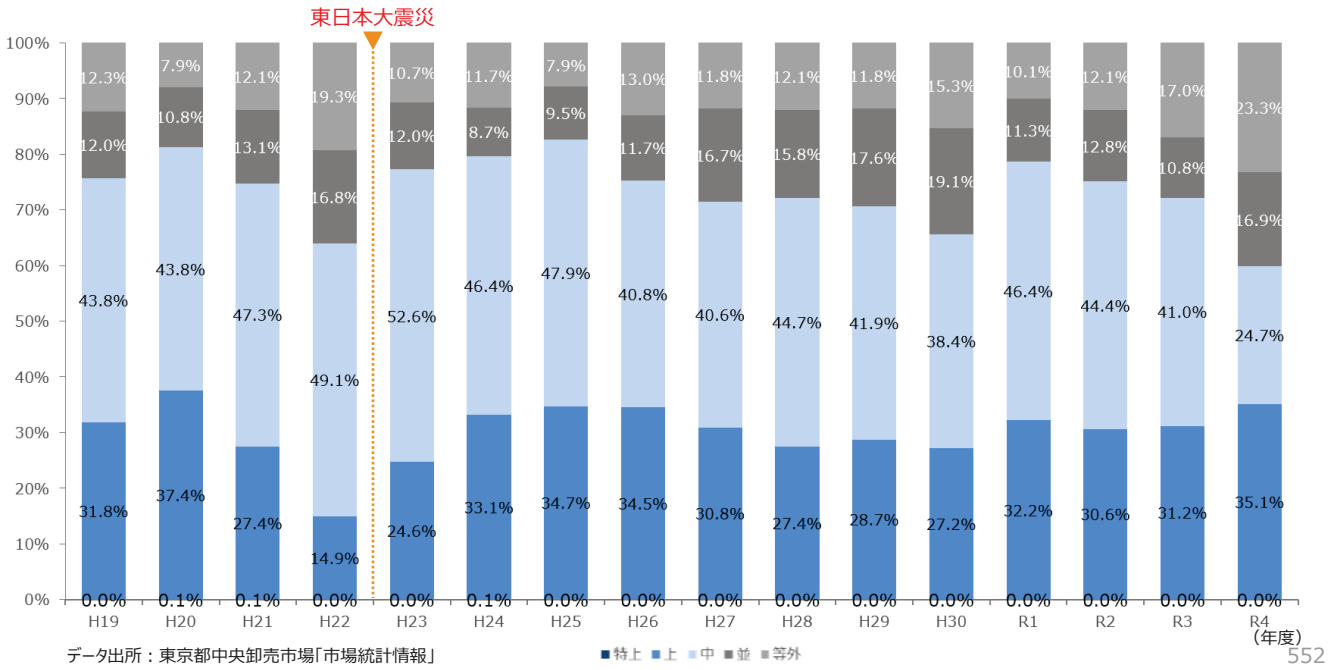


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」　※それぞれ年度単位の数値であり、令和４年度は令和４年12月までのデータを使用。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の等級別割合

福島県産豚肉の等級別の割合は、出荷年によってばらつきが大きい。令和4年度は、「上」の割合と「等外」の割合が、どちらも震災後で最大となった。

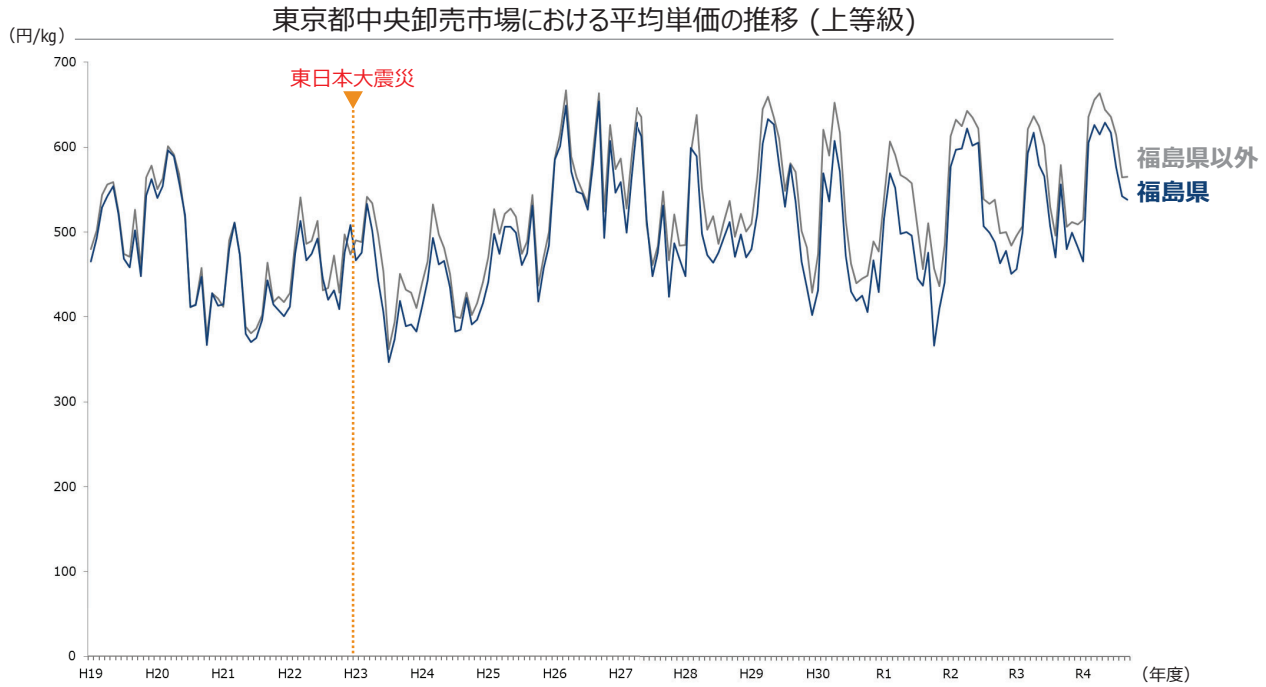
福島県産豚肉の等級別割合推移



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

《参考》福島県産豚肉の月別平均単価の推移（東京都中央卸売市場・等級別（上等級））

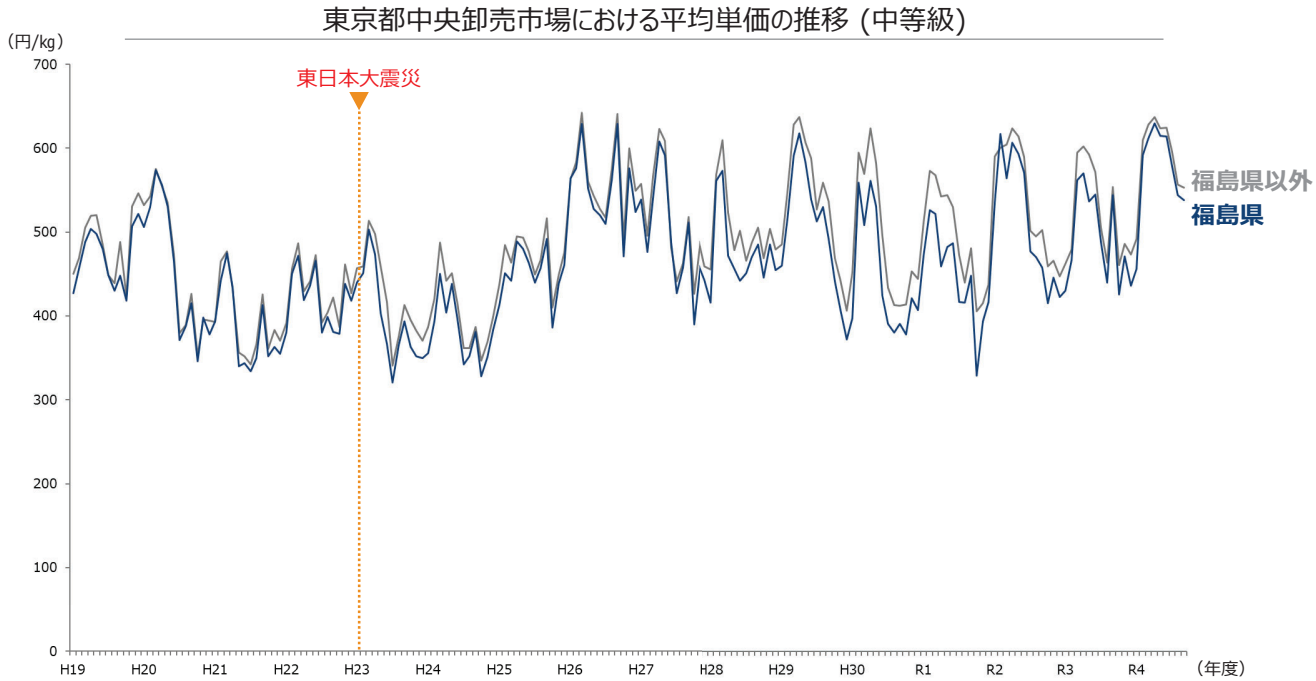
上等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均単価は、ほぼ同水準で推移しているが、平成28年度頃からは、福島県産以外の方が福島県産よりも若干高値で推移している。



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

《参考》福島県産豚肉の月別平均単価の推移（東京都中央卸売市場・等級別（中等級））

中等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均単価は、ほぼ同水準で推移しているが、平成28年度頃からは、福島県産以外の方が福島県産よりも若干高値で推移している。

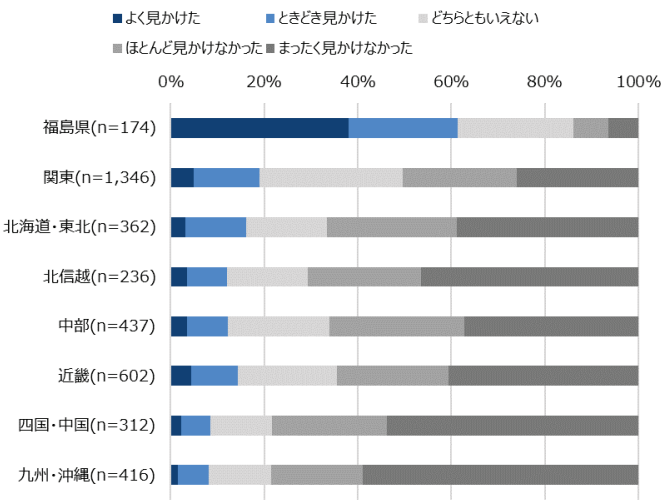


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産豚肉を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

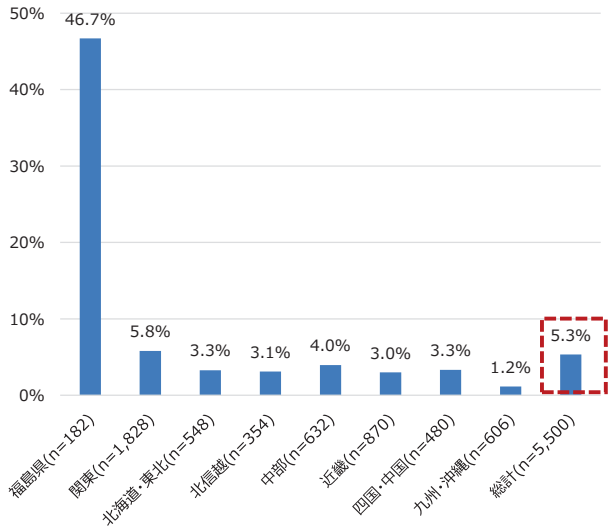
福島県産豚肉をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産豚肉を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.3%であった。

福島県産豚肉を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産豚肉を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産豚肉の購買経験率

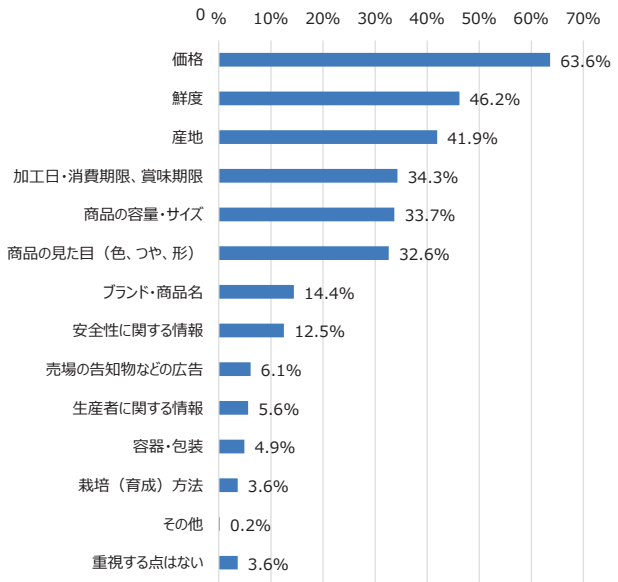


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

豚肉購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

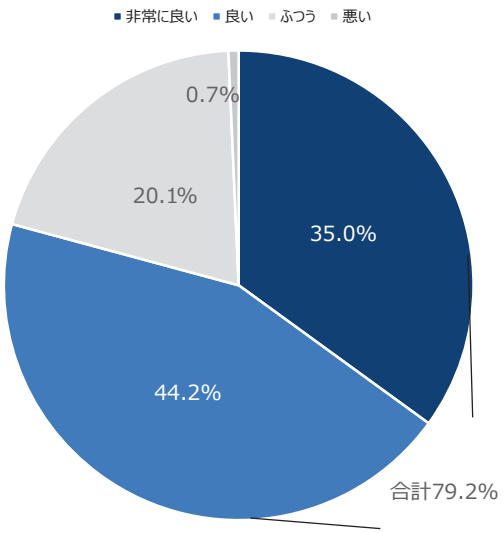
福島県産に限らず、豚肉購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」が上位にあがり、次いで「鮮度」と「産地」があがった。福島県産豚肉の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が79.2%であった。

豚肉購買時の重視点（n=5,156、複数回答）



※豚肉購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上豚肉を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産豚肉購買者の評価（n=294）

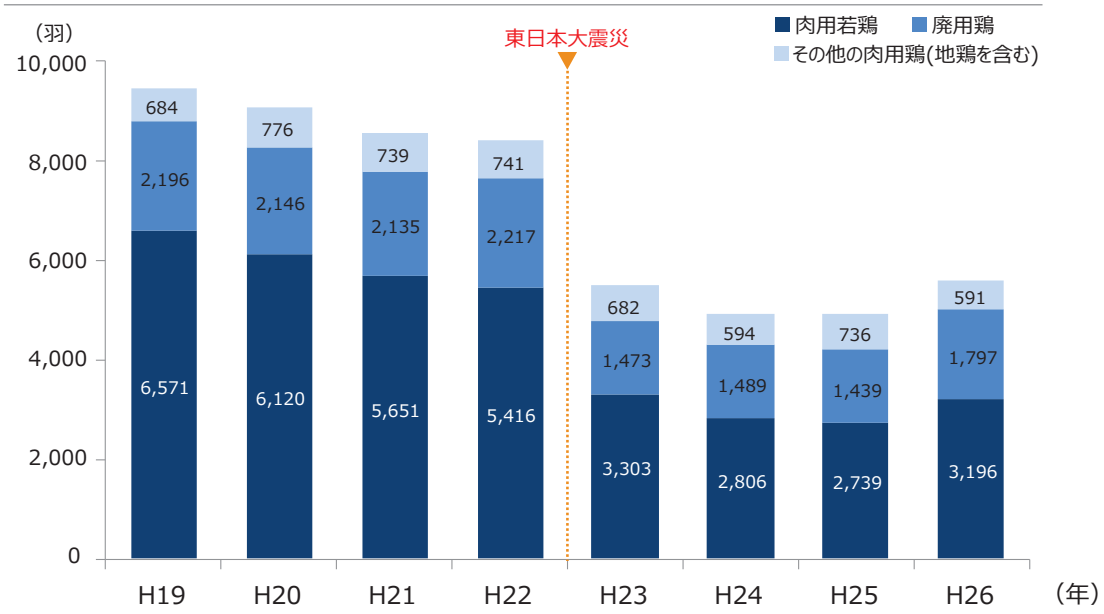


※福島県産豚肉を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産鶏の出荷羽数の推移

福島県産鶏の出荷羽数は、平成23年以降、肉用若鶏を中心に大幅に減少。ただし、最後に都道府県別統計が公表された平成26年は前年よりやや増加した。

福島県における鶏の出荷羽数



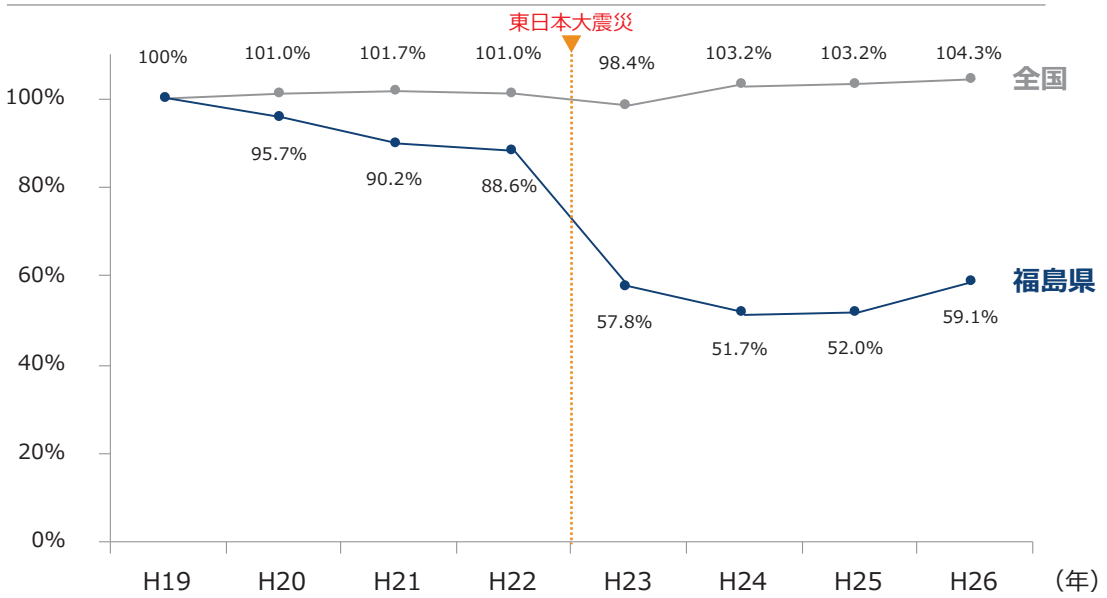
データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

全国・福島県における肉用若鶏の出荷羽数の推移

肉用若鶏の出荷羽数は、全国では微増傾向である一方、福島県の出荷羽数は震災後大幅に減少した後、平成19年比50～60%程度で推移している。

全国・福島県における肉用若鶏の出荷羽数（平成19年を100%とした値）



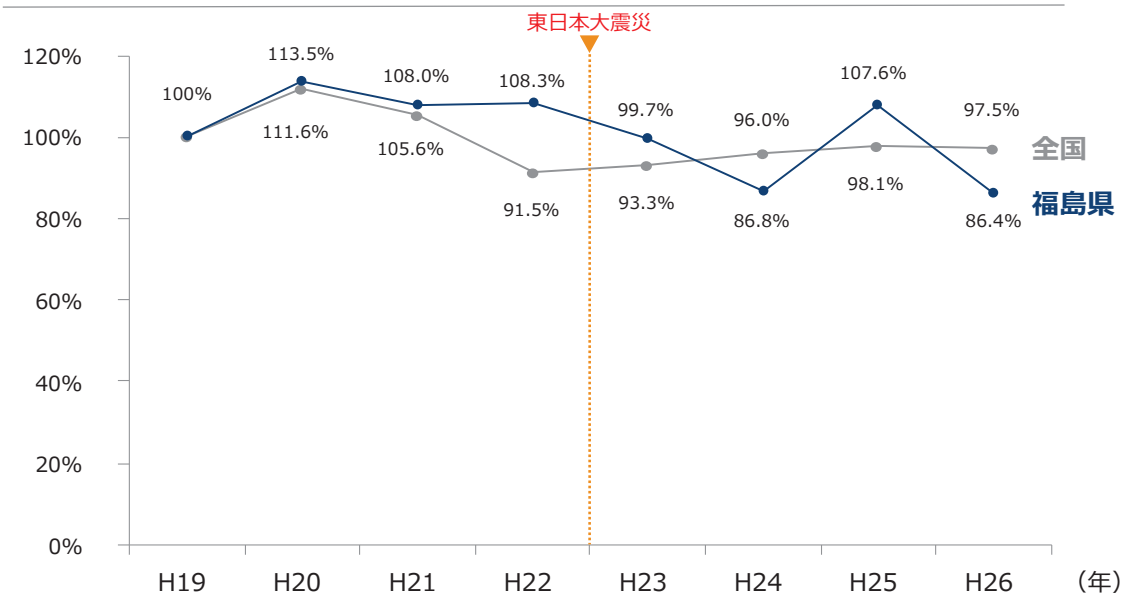
データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

全国・福島県におけるその他の肉用鶏（地鶏を含む）の出荷羽数の推移

福島県産の地鶏を含むその他の肉用鶏の出荷羽数は、震災後、２年連続で減少した後、平成25年に一時的に回復したものの、平成26年に再び減少している。

全国・福島県におけるその他の肉用鶏（地鶏を含む）の出荷羽数（平成19年を100%とした値）



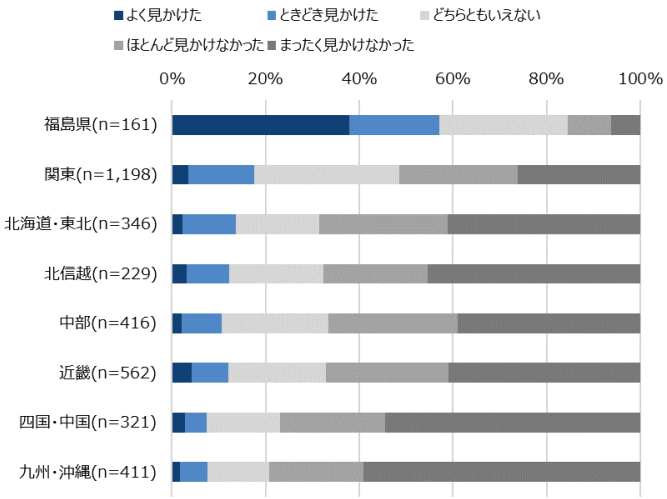
データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

福島県産鶏肉を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

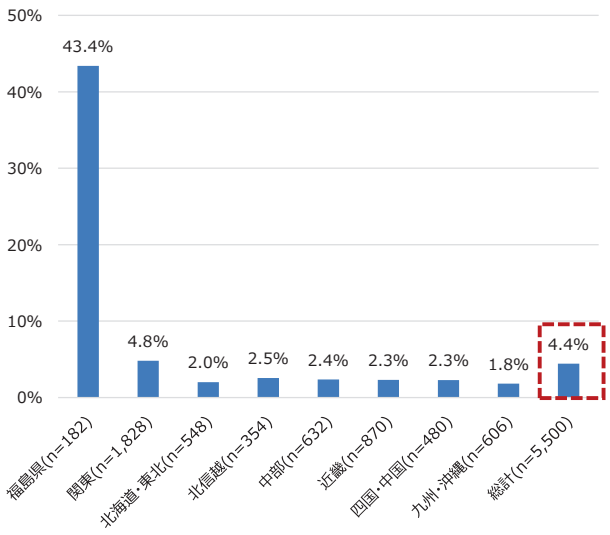
福島県産鶏肉をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産鶏肉を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.4%であった。

福島県産鶏肉を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産鶏肉を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産鶏肉の購買経験率

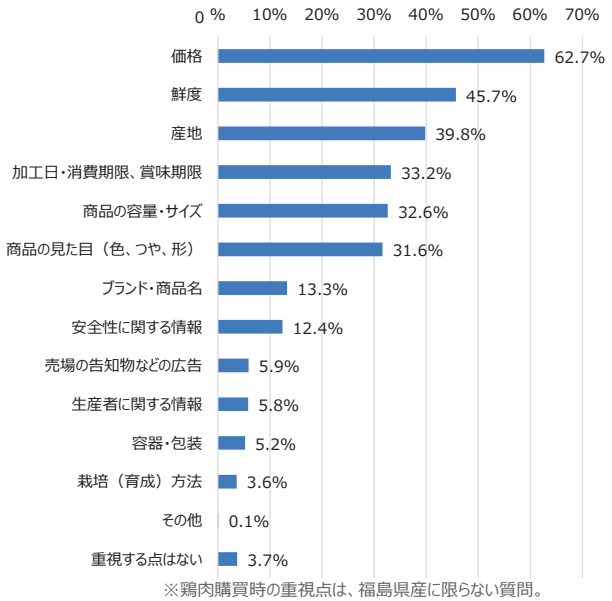


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

鶏肉購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

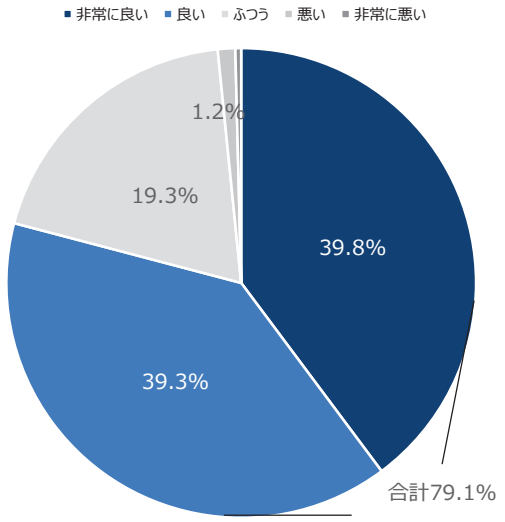
福島県産に限らず、鶏肉購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」が上位にあがり、次いで「鮮度」と「産地」があがった。福島県産鶏肉の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が79.1%であった。

鶏肉購買時の重視点（n=5,015、複数回答）



※鶏肉購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上鶏肉を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産鶏肉購買者の評価（n=244）

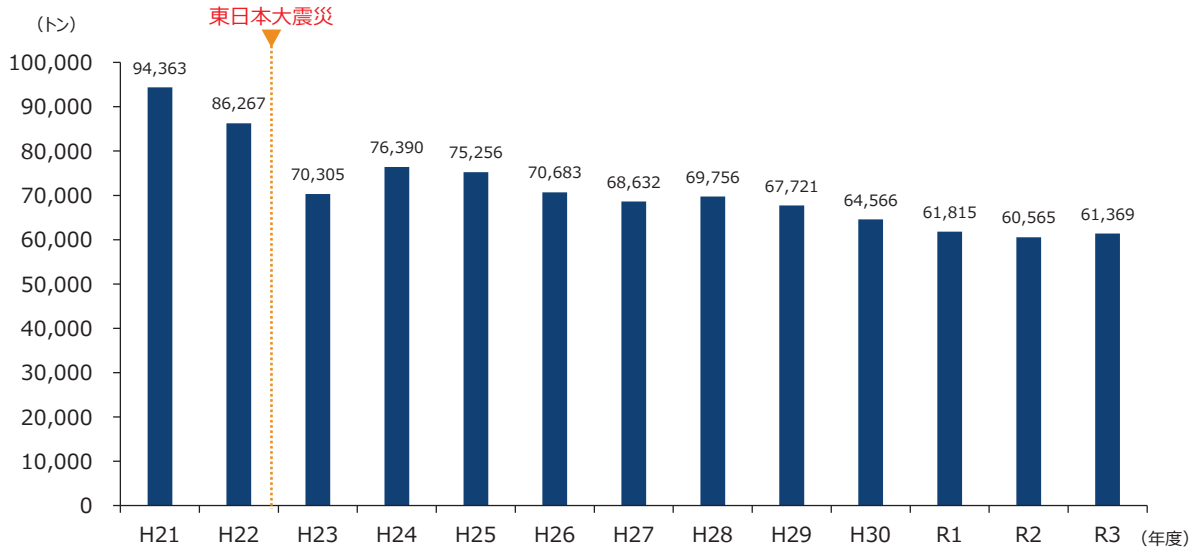


※福島県産鶏肉を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産生乳受託販売乳量の推移（指定生乳生産者団体）

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は平成23年度に大きく減少し、平成24年度に回復したものの、それ以降減少傾向で推移している。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳受販売乳量の推移

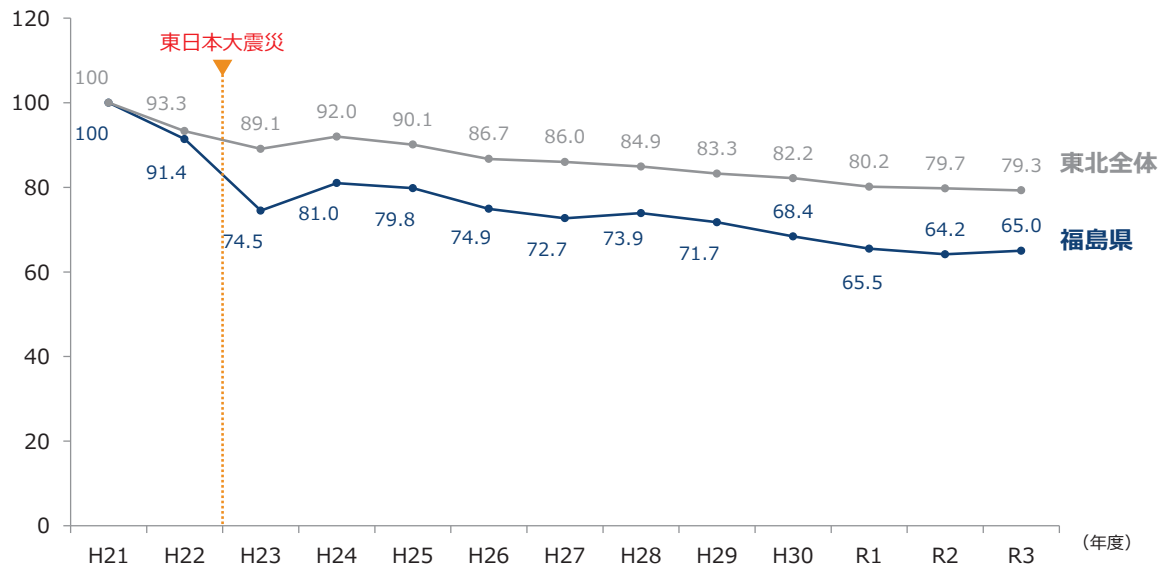


データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

東北全体・福島県での生乳受託販売乳量の推移（指定生乳生産者団体）

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は、震災前は東北全体と同程度の傾向で推移していたが、震災直後に大きく減少した。その後、平成24年度にやや回復したが、それ以降は減少傾向で推移している。

東北全体・福島県での指定生乳生産者団体における生乳受託販売乳量の推移
（平成21年度を100とした指数）

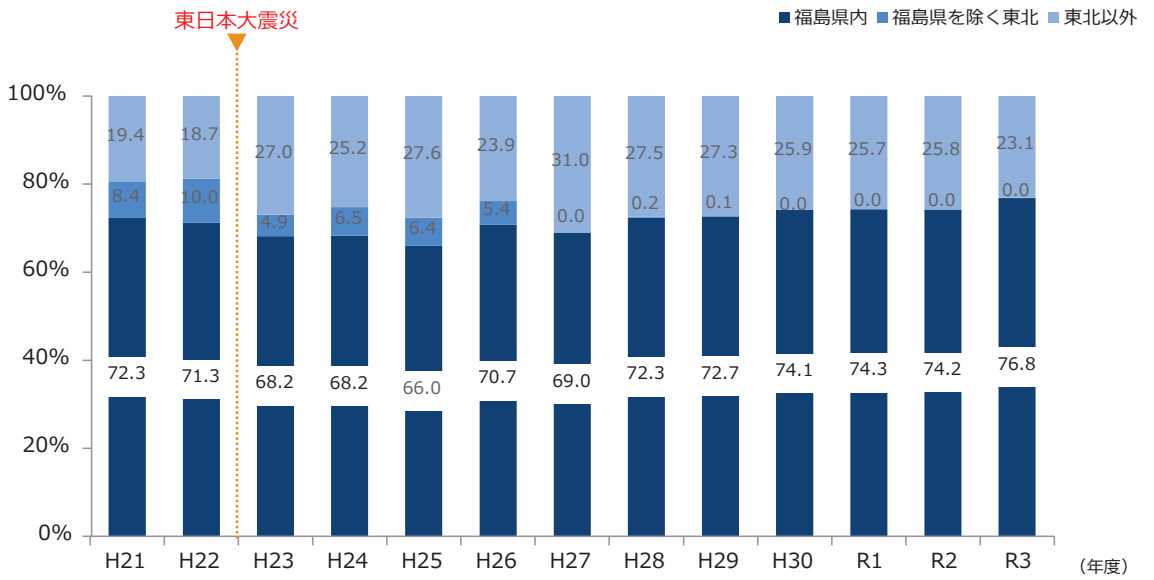


データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

福島県産生乳の供給先別シェアの推移

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の供給先としては、県内向けが中心であり、平成27年度以降は福島県以外の東北地域への供給はほぼなくなっている。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳供給先別シェアの推移

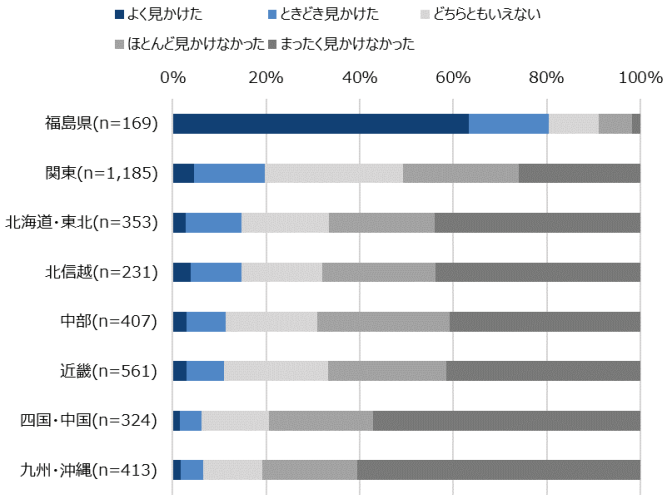


データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

福島県産牛乳を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

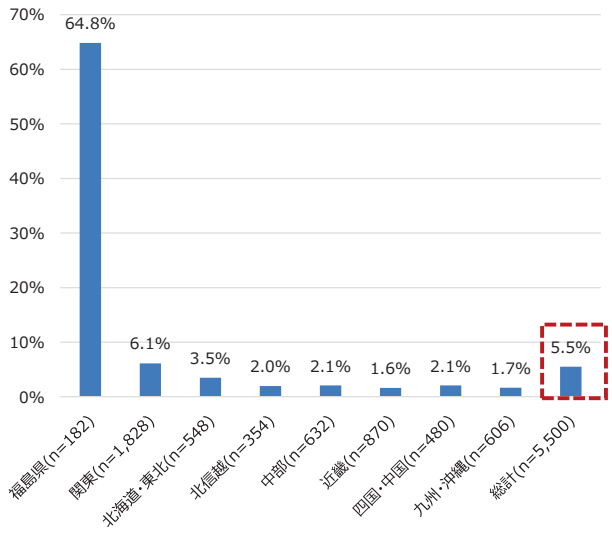
福島県産牛乳をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では５%に満たない。福島県産牛乳を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.5%であった。

福島県産牛乳を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産牛乳を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産牛乳の購買経験率

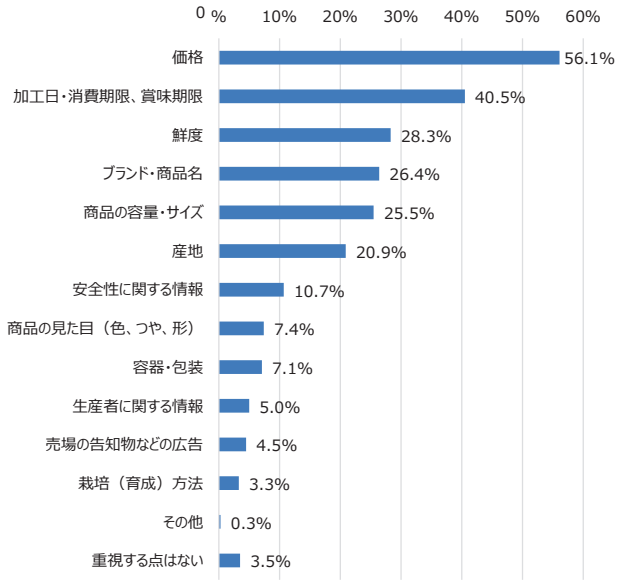


※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

牛乳購買時の重視点と購買者の評価（消費者アンケート）

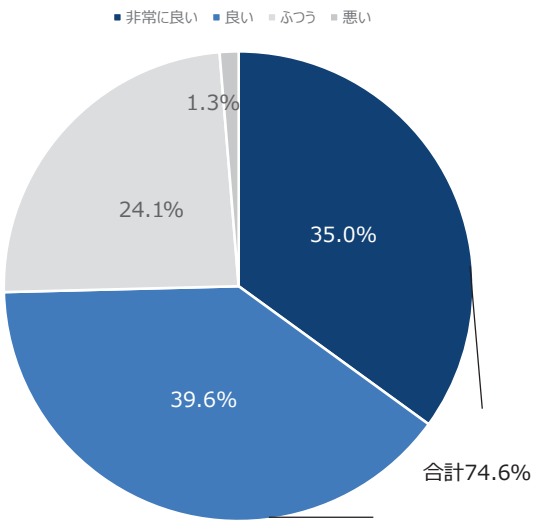
福島県産に限らず、牛乳購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「加工日・消費期限、賞味期限」が上位にあがり、次いで「鮮度」があがった。福島県産牛乳の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.6%であった。

牛乳購買時の重視点（n=4,581、複数回答）



※牛乳購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上牛乳を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産牛乳購買者の評価（n=303）



※福島県産牛乳を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。